

4. 大分市が行っている業務や個別の事業について

(1) 市民のまちづくりへの参加について

問 5 (1) 現在の大分市は、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。

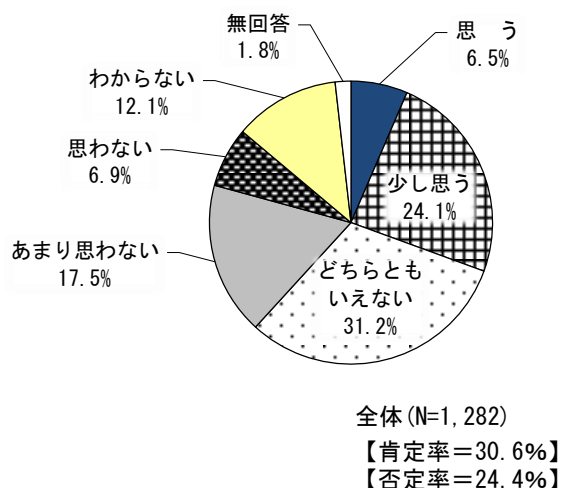
現在の大分市は市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うかについて、「思う」が 6.5%、「少し思う」が 24.1%で肯定率は 30.6%、「あまり思わない」が 17.5%、「思わない」が 6.9%で否定率は 24.4%となっています。

昨年調査結果と比較すると、肯定率は 4.2 ポイント低くなっています。

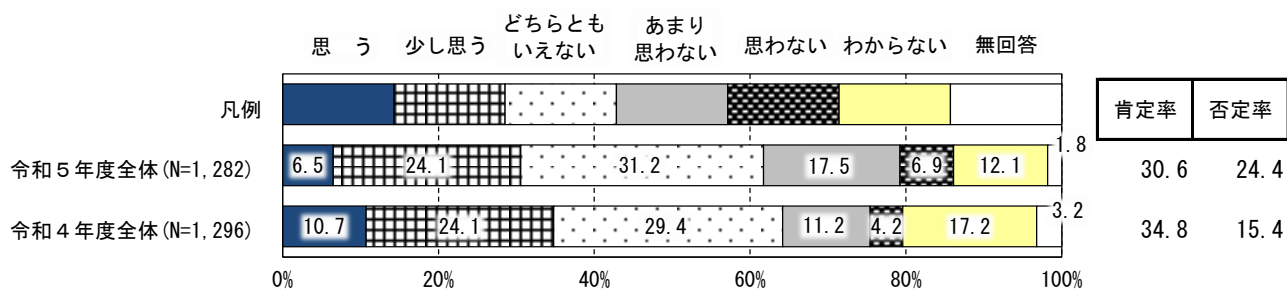
【属性別特徴】

●年齢別でみると、「肯定率」は「70 歳以上」が最も高く、「否定率」は「18・19 歳」が最も高くなっています。

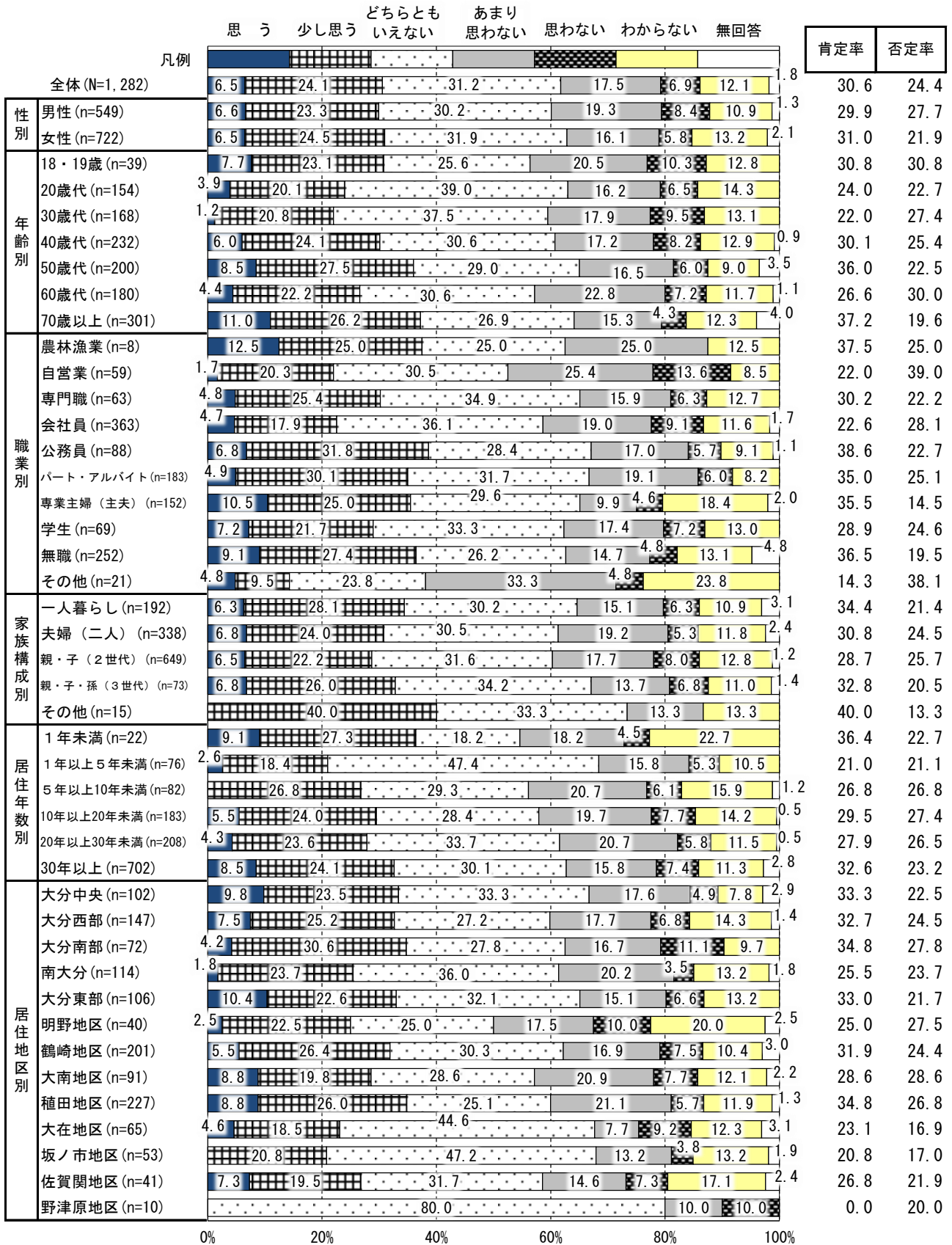
市民のまちづくりへの参加について（全体）



市民のまちづくりへの参加について（経年比較）



市民のまちづくりへの参加について（属性別）



(2) 男女共同参画社会について

①男女共同参画社会についての認知状況

問5(2)ア 「男女共同参画社会」について知っていますか。

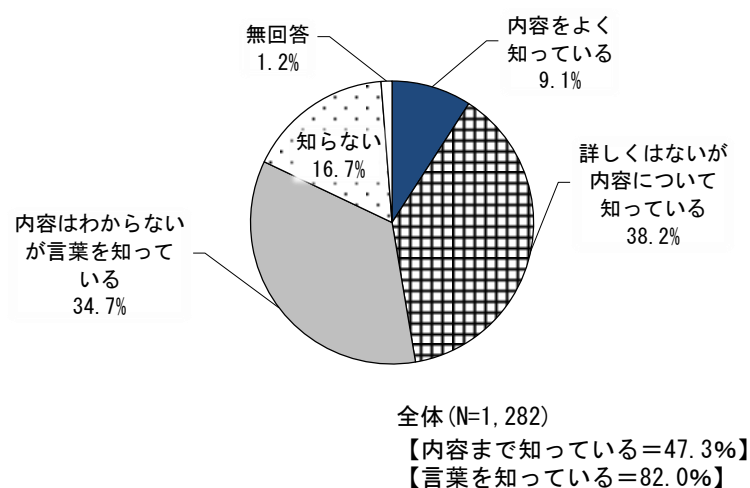
男女共同参画社会について、「内容をよく知っている」が9.1%、「詳しくはないが内容について知っている」が38.2%、「内容はわからないが言葉を知っている」が34.7%となっており、内容まで知っている割合は47.3%、言葉を知っている割合まで含めると82.0%となっています。

昨年調査結果と比較すると、内容まで知っている割合は高くなっています。

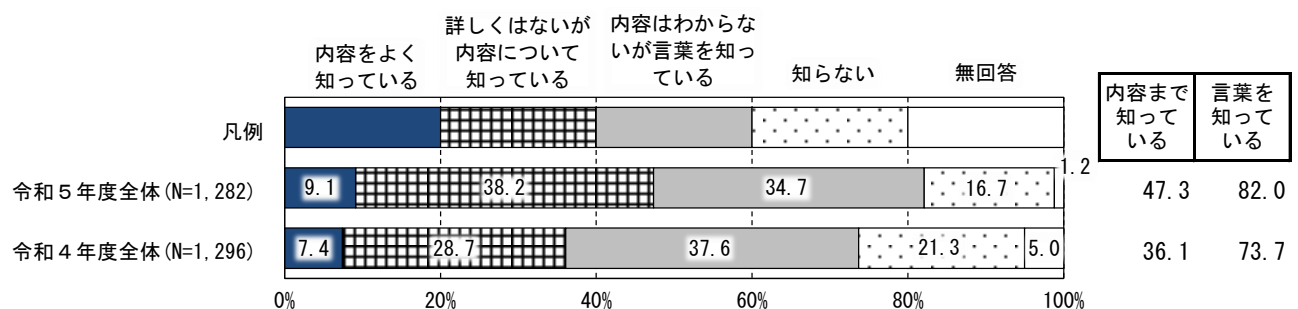
【属性別特徴】

- 性別でみると、「知らない」の割合は「女性」が「男性」と比べてやや高くなっています。
- 年齢別でみると、「知らない」の割合は「40歳代」が最も高くなっています。

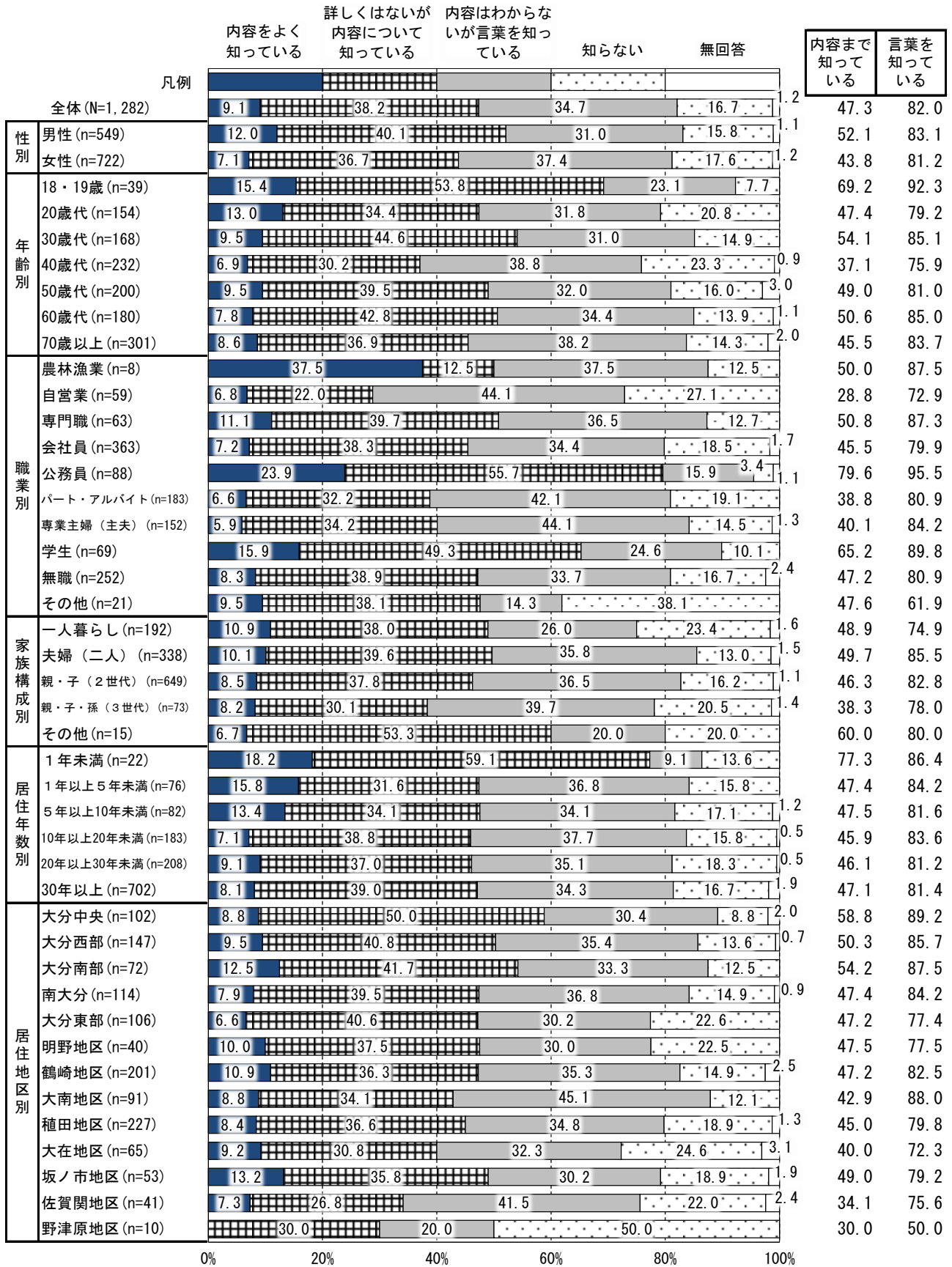
男女共同参画社会についての認知状況（全体）



男女共同参画社会についての認知状況（経年比較）



男女共同参画社会についての認知状況（属性別）



②「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについて

問 5 (2) イ 「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについてどうお考えですか。

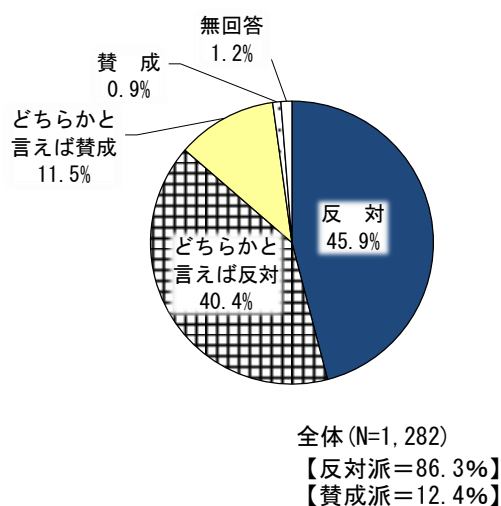
性別による固定した考え方について、「反対」が 45.9%、「どちらかと言えば反対」が 40.4%で「反対派」は 86.3%、「賛成」が 0.9%、「どちらかと言えば賛成」が 11.5%で「賛成派」は 12.4%となっています。

昨年調査結果と比較すると、「反対派」は高くなっており、「賛成派」はほぼ変化なしとなっています。

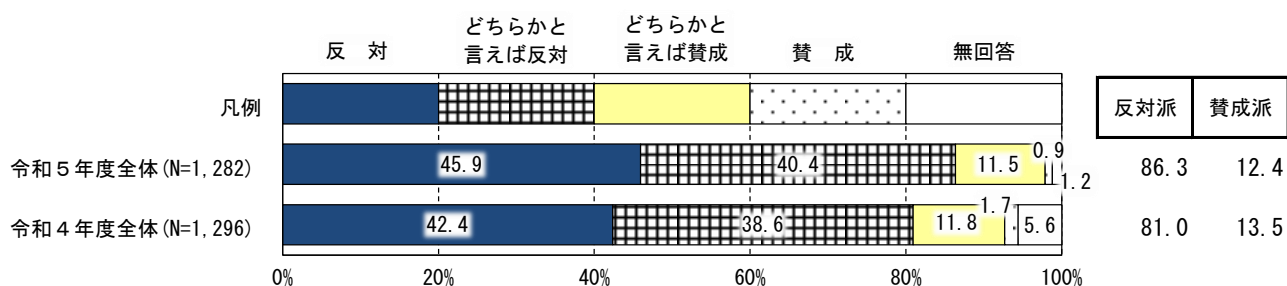
【属性別特徴】

- 性別でみると、「反対派」の割合は「女性」が「男性」と比べて高くなっています。
- 年齢別でみると、「反対派」の割合は「20 歳代」が最も高くなっています。

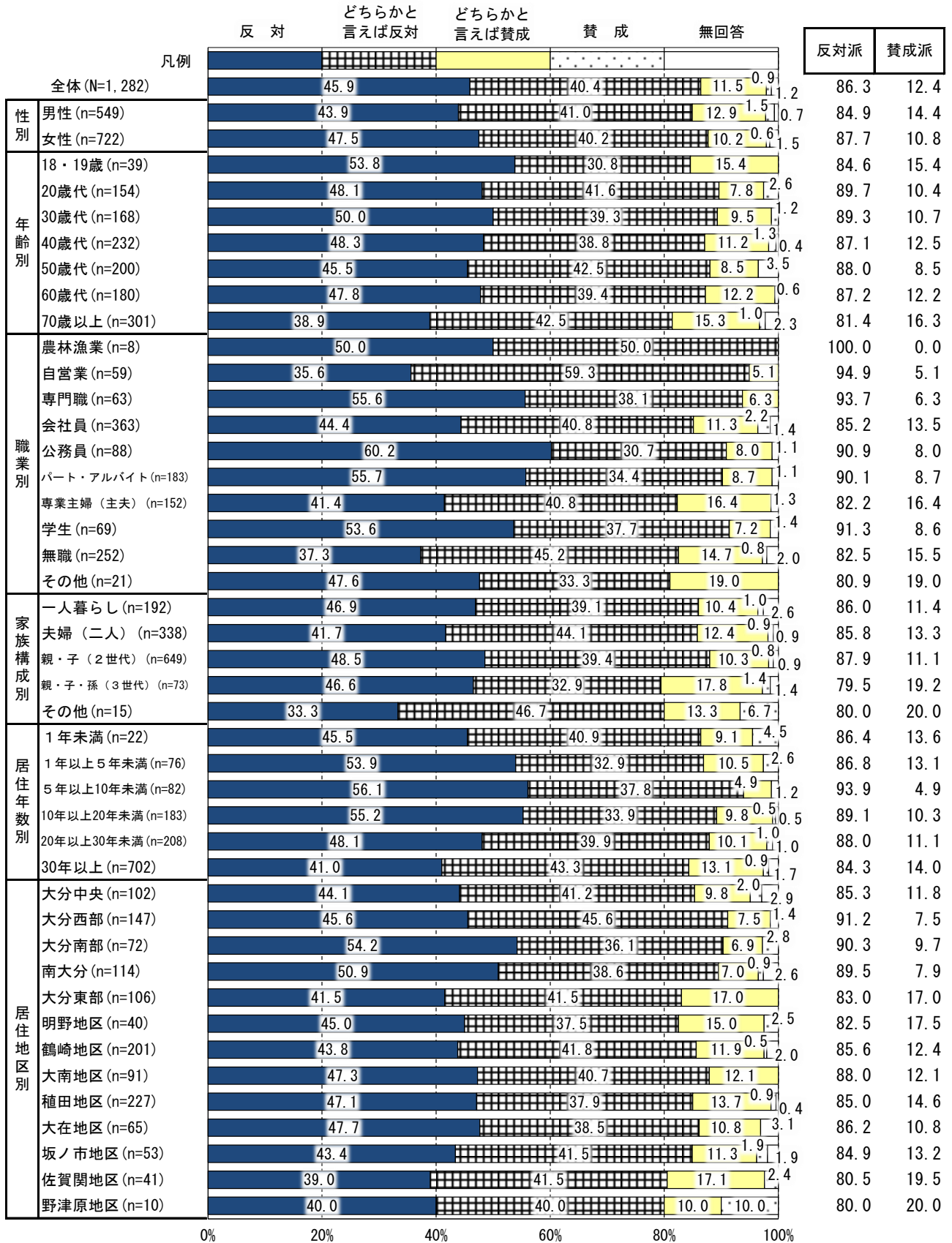
「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについて（全体）



「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについて（経年比較）



「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについて（属性別）



③男女の意識や地位の平等について

問5（2）ウ 社会全体を通して、男女の意識や地位は平等になっていると思いますか。

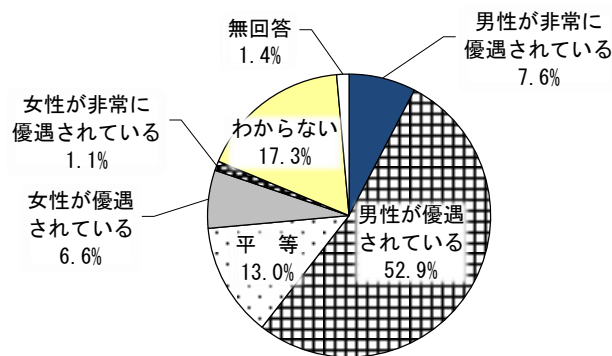
社会全体を通して、男女の意識や地位は平等になっていると思うかについて、「男性が非常に優遇されている」が7.6%、「男性が優遇されている」が52.9%で「男性優遇」は60.5%、「女性が非常に優遇されている」が1.1%、「女性が優遇されている」が6.6%で「女性優遇」は7.7%となっています。

昨年調査結果と比較すると、「男性優遇」は高くなっており、「わからない」は低くなっています。

【属性別特徴】

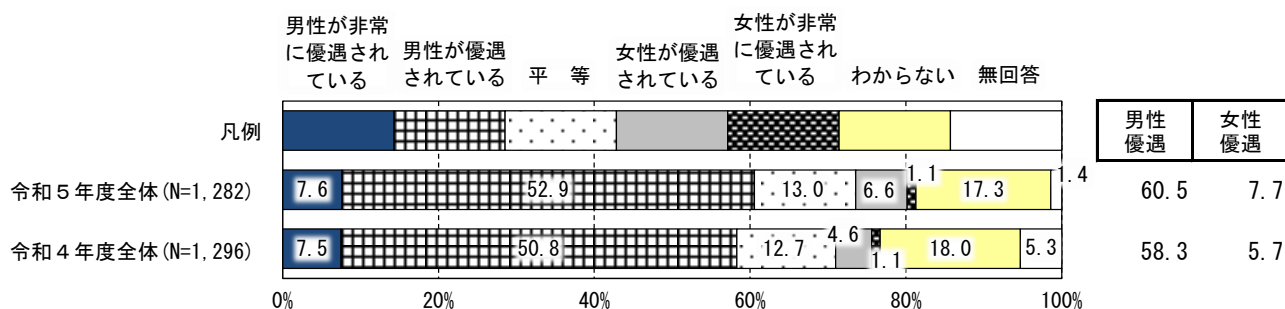
- 性別でみると、「男性優遇」の割合は「女性」が「男性」と比べて高くなっています。
- 年齢別でみると、「男性優遇」の割合は「30歳代」が最も高くなっています。

男女の意識や地位の平等について（全体）

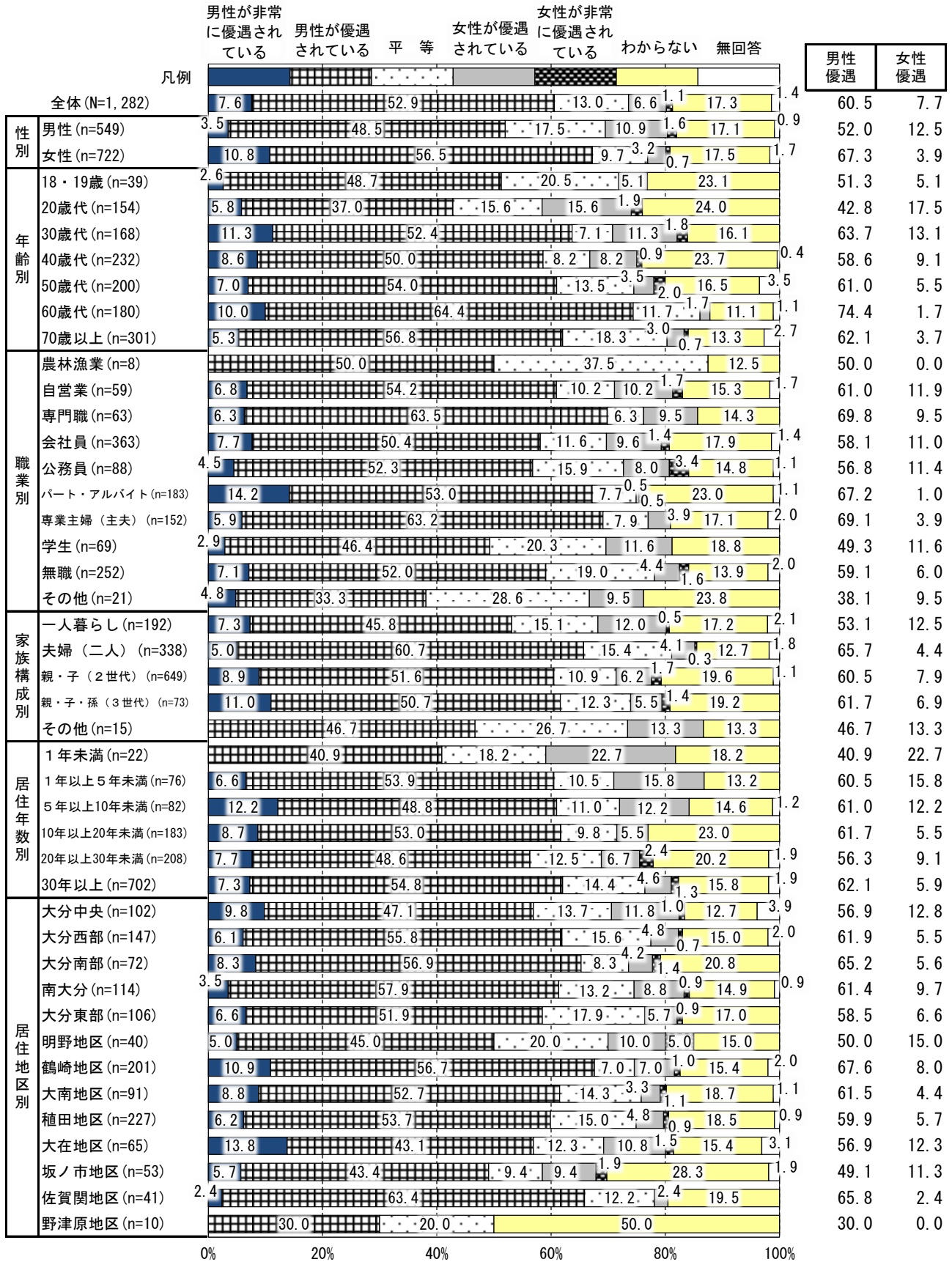


全体 (N=1,282)
 【男性優遇=60.5%】
 【女性優遇=7.7%】

男女の意識や地位の平等について（経年比較）



男女の意識や地位の平等について（属性別）



(3) パートナーシップ宣誓制度について

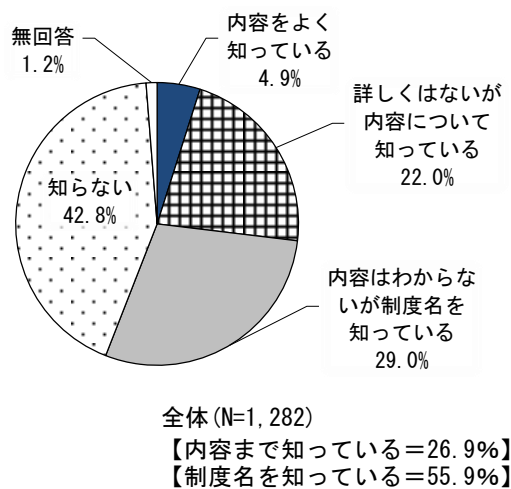
問5 (3) あなたは、「おおいたパートナーシップ宣誓制度」について知っていますか。

「おおいたパートナーシップ宣誓制度」について知っているかについて、「内容をよく知っている」が 4.9%、「詳しくはないが内容について知っている」が 22.0%で「内容まで知っている」は 26.9%、「制度名を知っている」は 55.9%となっています。

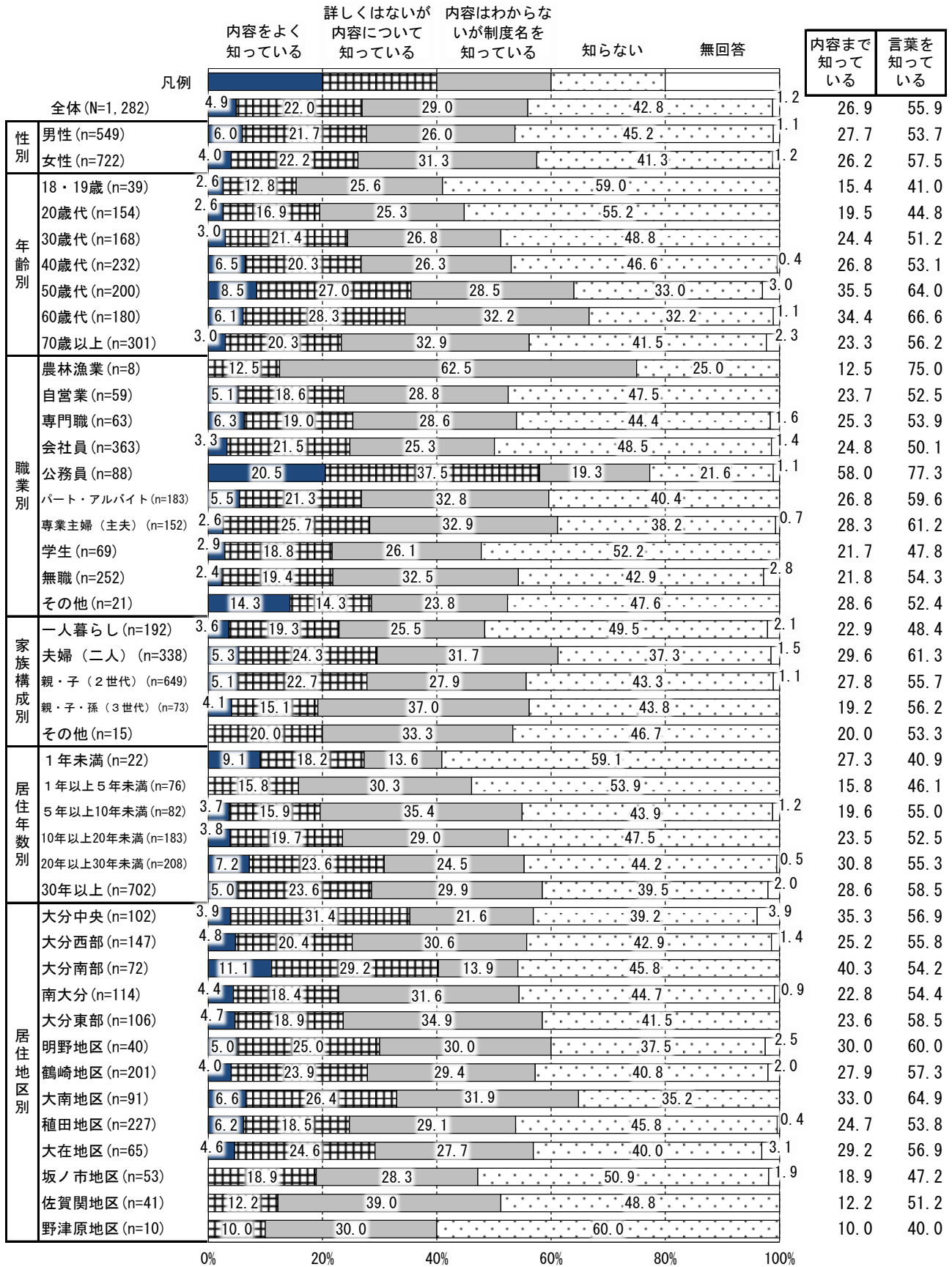
【属性別特徴】

- 性別でみると、「内容まで知っている」の割合は「男性」が「女性」と比べてやや高くなっています。
- 年齢別でみると、「内容まで知っている」の割合は「50 歳代」が最も高くなっています。

パートナーシップ宣誓制度について（全体）



パートナーシップ宣誓制度について（属性別）



(4) 交通系 I Cカードの利用状況について

①交通系 I Cカードの所有状況

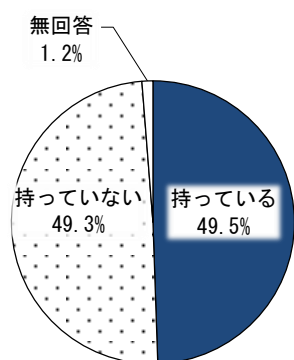
問 5 (4) ア 交通系 I Cカード (n i m o c a、S U G O C A、S u i c a 等) を持っていますか。

交通系 I Cカード (n i m o c a、S U G O C A、S u i c a 等) を持っているかについて、「持っている」が 49.5%、「持っていない」が 49.3%となっています。

【属性別特徴】

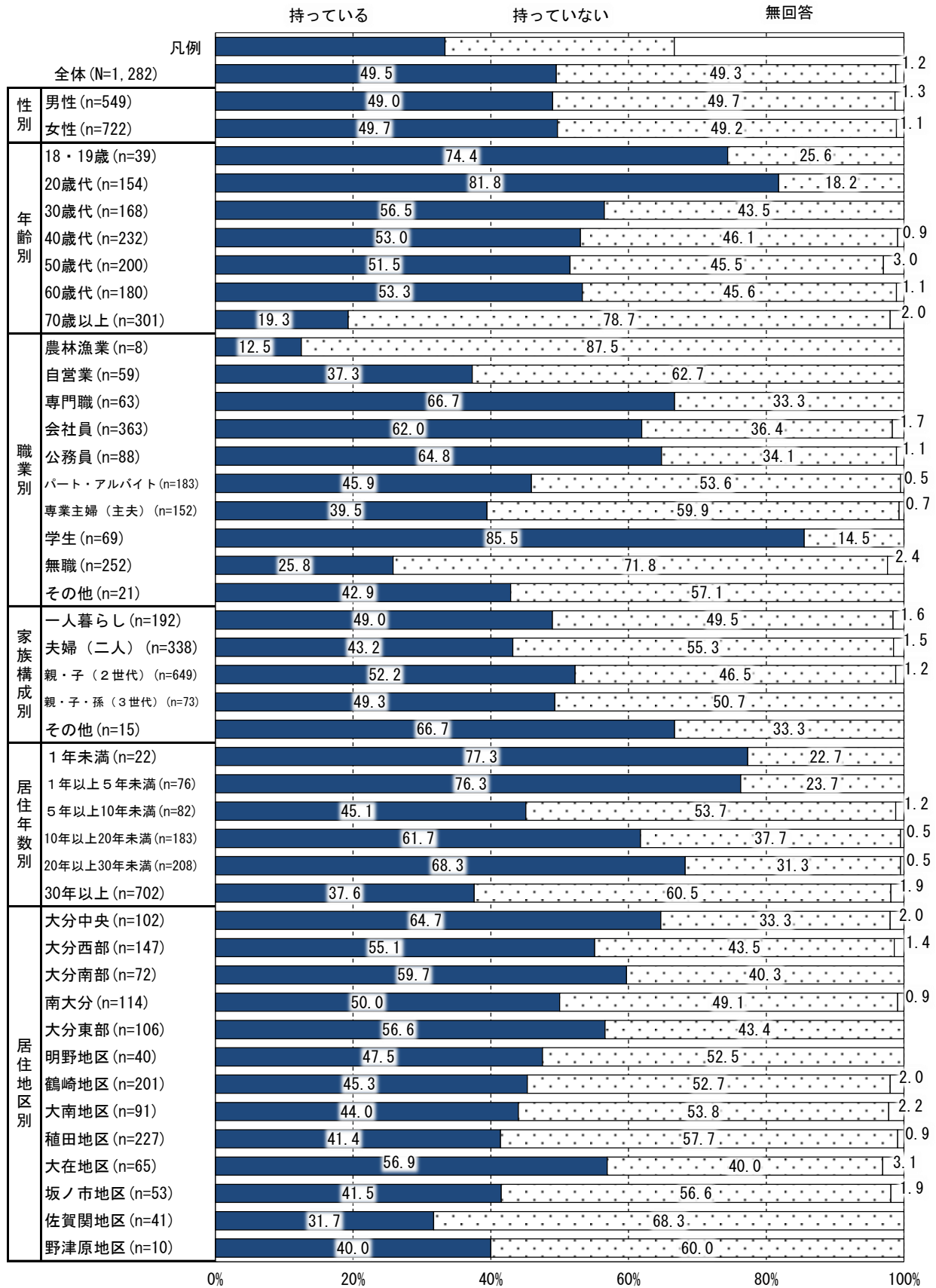
- 年齢別でみると、「持っている」の割合は「20 歳代」が最も高くなっており、「持っていない」の割合は「70 歳以上」が最も高くなっています。

交通系 I Cカードの所有状況 (全体)



全体 (N=1, 282)

交通系ＩＣカードの所有状況（属性別）



②所有している交通系ＩＣカード

問５（４）イー① アで１と回答した方へお尋ねします。

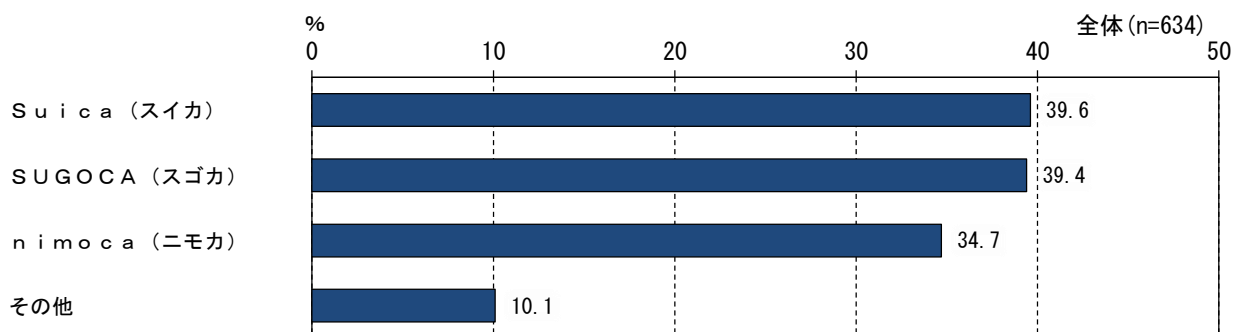
どの交通系ＩＣカードを持っていますか。（複数回答可）

アで１と回答した方へ、どの交通系ＩＣカードを持っているかについて、「Ｓｕｉｃａ（スイカ）」が 39.6%、「ＳＵＧＯＣＡ（スゴカ）」が 39.4%で「ｎｉｍｏｃａ（ニモカ）」が 34.7%、「その他」が 10.1%となっています。

【属性別特徴】

●年齢別でみると、年代によって所有するカードが異なる傾向が見られます。

所有している交通系ＩＣカード（全体）



所有している交通系ＩＣカード（属性別）

単位：％		サ ン プ ル 数	イ Ｓ Ｕ （ カ i c a （ ス	（ S U G O C A （ ス ゴ カ	（ n i m o c a （ ニ モ カ	そ の 他	無 回 答
全 体		634	39.6	39.4	34.7	10.1	0.9
性 別	男 性	269	45.4	36.8	32.0	12.6	0.4
	女 性	359	35.1	41.8	36.8	7.8	1.1
年 齢 別	18・19歳	29	20.7	41.4	51.7	10.3	－
	20歳代	126	43.7	51.6	24.6	9.5	－
	30歳代	95	42.1	37.9	31.6	10.5	－
	40歳代	123	35.8	47.2	39.8	9.8	0.8
	50歳代	103	35.0	37.9	35.0	10.7	－
	60歳代	96	44.8	22.9	47.9	7.3	1.0
	70歳以上	58	41.4	31.0	22.4	15.5	5.2
職 業 別	農林漁業	1	－	100.0	－	－	－
	自営業	22	40.9	13.6	50.0	18.2	－
	専門職	42	42.9	40.5	40.5	11.9	－
	会社員	225	41.3	46.7	27.1	8.4	0.4
	公務員	57	45.6	35.1	40.4	14.0	－
	パート・アルバイト	84	40.5	40.5	38.1	3.6	－
	専業主婦（主夫）	60	26.7	31.7	46.7	10.0	－
	学 生	59	25.4	47.5	42.4	11.9	－
	無 職	65	49.2	26.2	29.2	13.8	6.2
	その他	9	55.6	22.2	33.3	22.2	－
家 族 構 成 別	一人暮らし	94	42.6	40.4	30.9	11.7	3.2
	夫婦（二人）	146	45.2	28.8	34.9	8.9	－
	親・子（２世代）	339	36.9	43.4	37.2	10.6	－
	親・子・孫（３世代）	36	36.1	38.9	25.0	8.3	2.8
	その他	10	30.0	60.0	30.0	10.0	10.0
居 住 年 数 別	1年未満	17	35.3	58.8	35.3	5.9	－
	1年以上5年未満	58	36.2	32.8	29.3	25.9	1.7
	5年以上10年未満	37	37.8	40.5	35.1	10.8	－
	10年以上20年未満	113	40.7	42.5	34.5	7.1	0.9
	20年以上30年未満	142	40.8	47.9	26.8	9.2	－
	30年以上	264	39.4	34.1	40.5	8.7	1.1
居 住 地 区 別	大分中央	66	40.9	27.3	30.3	16.7	－
	大分西部	81	48.1	38.3	38.3	9.9	－
	大分南部	43	41.9	41.9	39.5	7.0	－
	南大分	57	40.4	40.4	36.8	3.5	－
	大分東部	60	38.3	45.0	45.0	8.3	－
	明野地区	19	42.1	42.1	31.6	－	－
	鶴崎地区	91	42.9	30.8	38.5	12.1	2.2
	大南地区	40	35.0	52.5	30.0	5.0	－
	植田地区	94	36.2	30.9	44.7	14.9	1.1
	大在地区	37	27.0	59.5	8.1	13.5	－
	坂ノ市地区	22	27.3	68.2	13.6	9.1	－
	佐賀関地区	13	38.5	61.5	7.7	－	7.7
	野津原地区	4	25.0	25.0	25.0	－	25.0

③公共交通機関の運賃を支払う際の交通系ＩＣカードの利用状況

問５（４）イー② アで１と回答した方へお尋ねします。

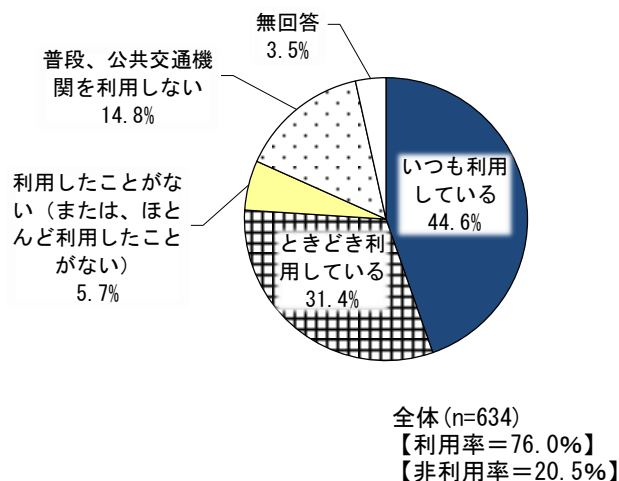
公共交通機関（ＪＲ、バス）の運賃を支払う際に交通系ＩＣカードを利用していますか。

アで１と回答した方へ、公共交通機関（ＪＲ、バス）の運賃を支払う際に交通系ＩＣカードを利用しているかについて、「いつも利用している」が 44.6%、「ときどき利用している」が 31.4%で「利用率」は 76.0%、「利用したことがない（または、ほとんど利用したことがない）」が 5.7%、「普段、公共交通機関を利用しない」が 14.8%で「非利用率」は 20.5%となっています。

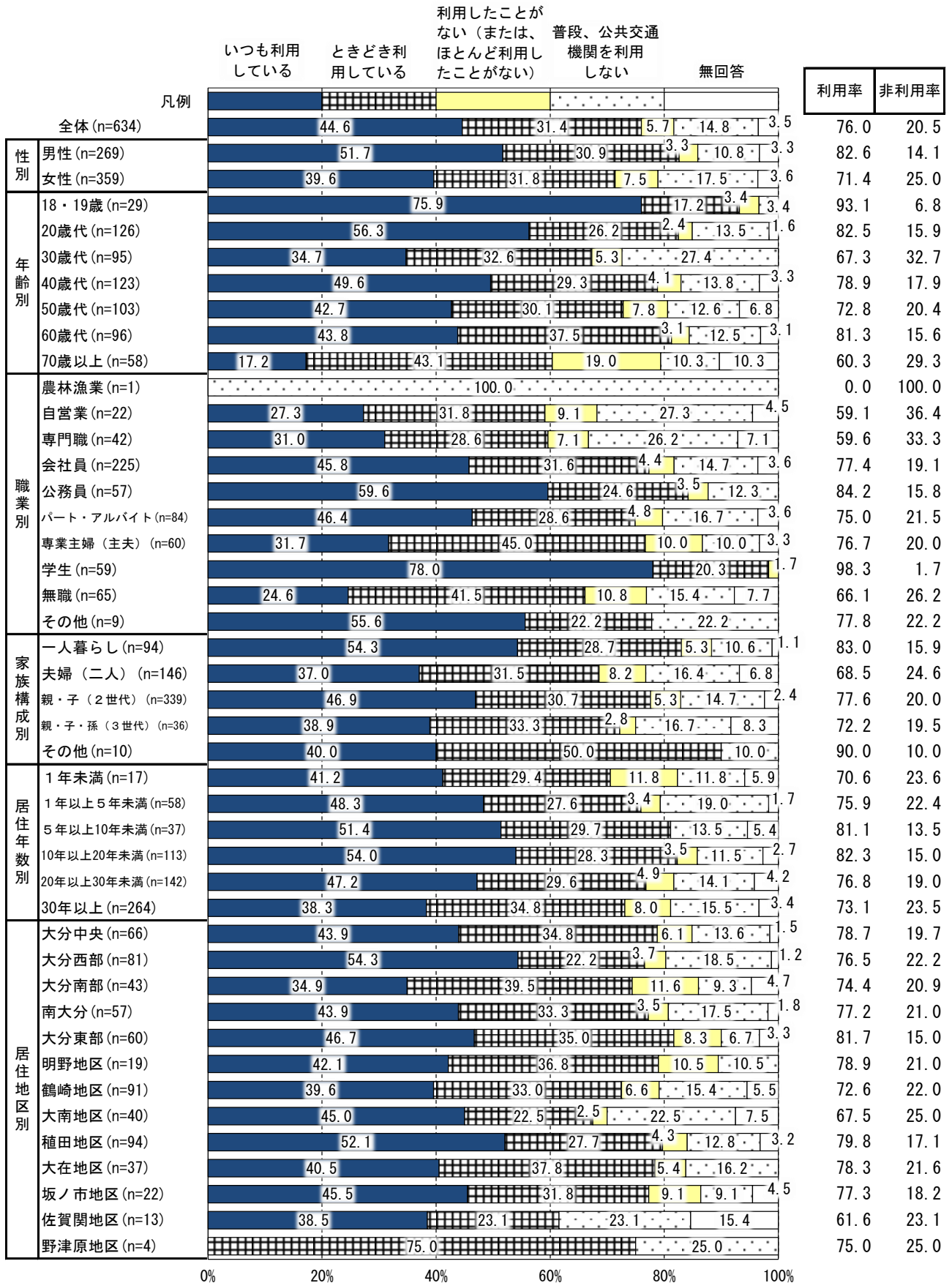
【属性別特徴】

●年齢別でみると、「非利用率」の割合は「30 歳代」が最も高くなっています。

公共交通機関の運賃を支払う際の交通系ＩＣカードの利用状況（全体）



公共交通機関の運賃を支払う際の交通系ＩＣカードの利用状況（属性別）



④公共交通機関の運賃支払い以外での交通系ＩＣカードの利用状況

問５（４）イー③ アで１と回答した方へお尋ねします。

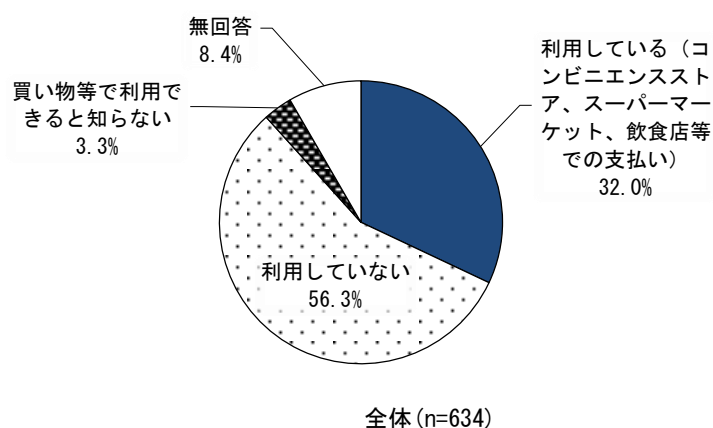
公共交通機関の運賃支払い以外で交通系ＩＣカードを利用していますか。

アで１と回答した方へ、公共交通機関の運賃支払い以外で交通系ＩＣカードを利用しているかについて、「利用している（コンビニエンスストア、スーパーマーケット、飲食店等での支払い）」が32.0%、「利用していない」が56.3%、「買い物等で利用できると知らない」が3.3%となっています。

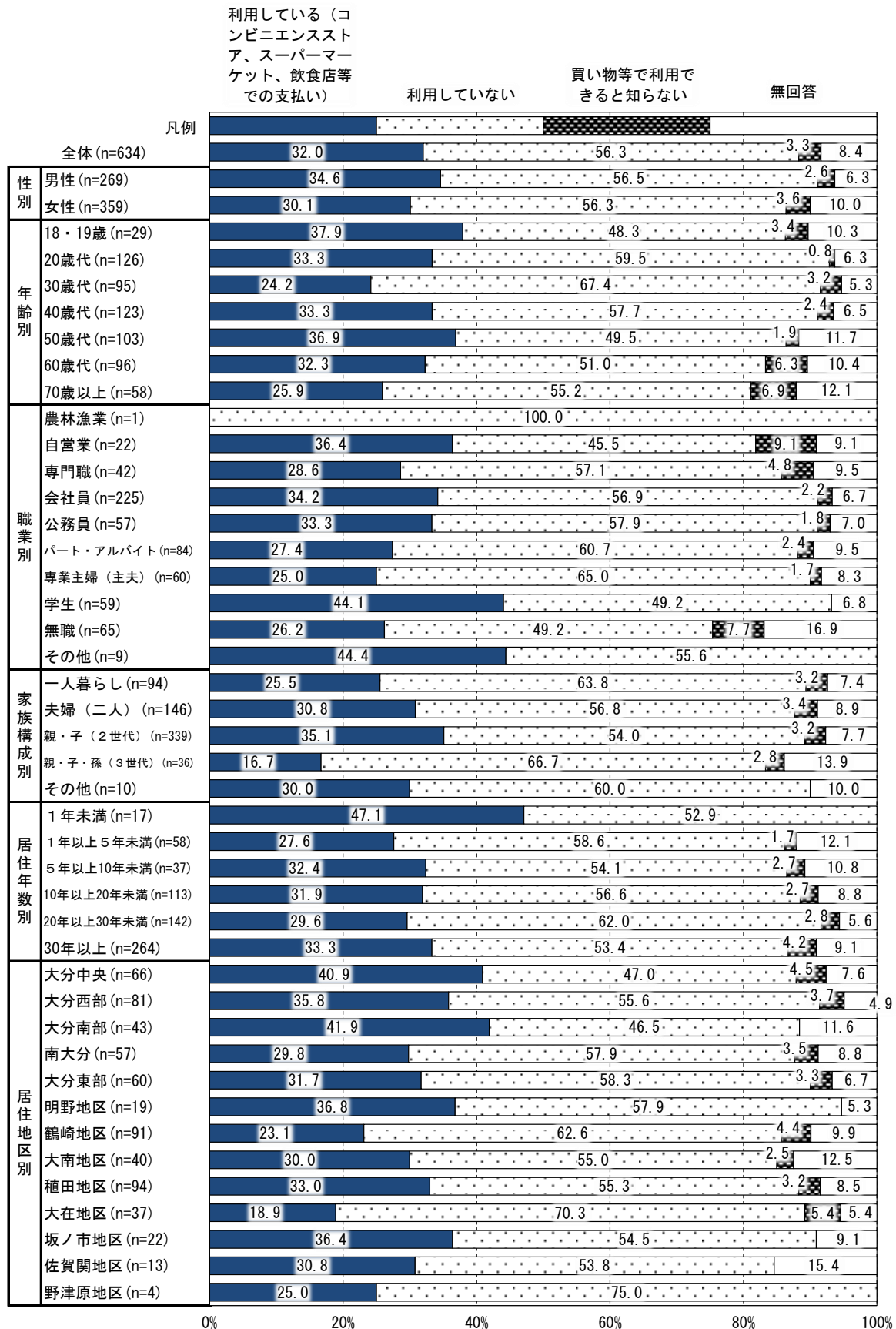
【属性別特徴】

●年齢別でみると、「利用していない」の割合は「30歳代」が最も高くなっています。

公共交通機関の運賃支払い以外での交通系ＩＣカードの利用状況（全体）



公共交通機関の運賃支払い以外での交通系ＩＣカードの利用状況（属性別）



(5) 消防団について

①消防団についての認知状況

問5 (5) ア あなたは、消防団のことをどの程度知っていますか。

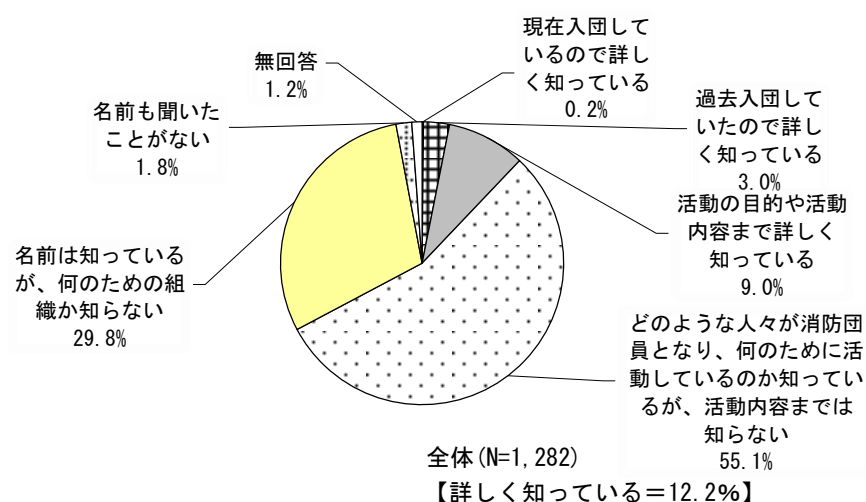
消防団の認知状況をみると、「詳しく知っている（「現在入団しているので詳しく知っている」、「過去入団していたので詳しく知っている」、「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の合計）」が12.2%、「どのような人々が消防団員となり、何のために活動しているのか知っているが、活動内容までは知らない」は55.1%、「名前は知っているが、何のための組織か知らない」は29.8%となっています。

昨年調査結果と比較すると「詳しく知っている」の割合はほぼ横ばいとなっています。

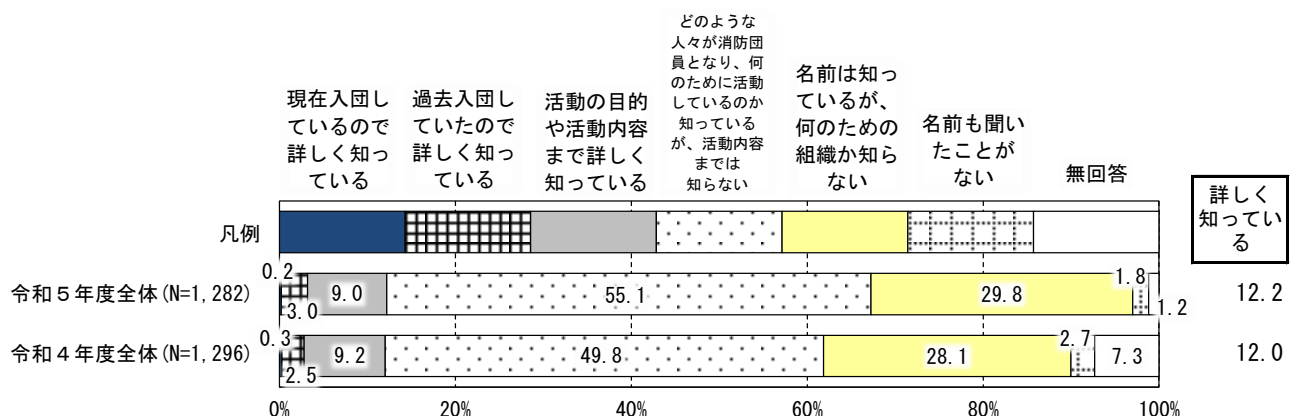
【属性別特徴】

- 性別でみると、「詳しく知っている」の割合は「男性」が「女性」と比べて高くなっています。
- 年齢別でみると、「詳しく知っている」の割合は「70歳以上」が最も高くなっています。

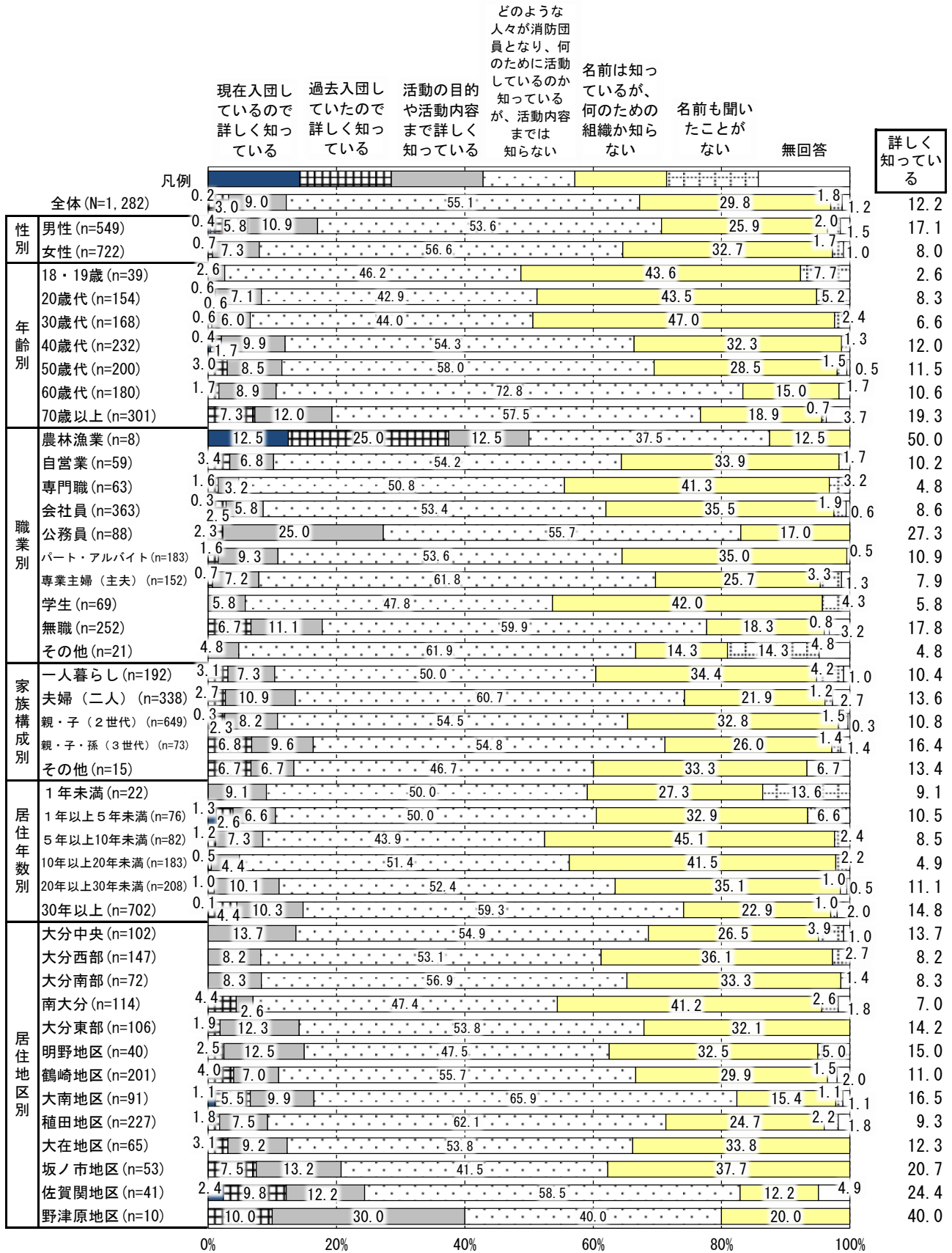
消防団についての認知状況（全体）



消防団についての認知状況（経年比較）



消防団についての認知状況（属性別）



②どのような環境が整えば入ってもよいか

問5（5）イ 18歳から65歳までの方で、アで3または4と回答した方

大分市消防団は新入団員を募集しており、入団資格は18歳から65歳までの方で、大分市内に在住または通勤通学していることです。もし、あなたが消防団に入るとすれば、どのような環境が整えば入ってもよいですか。

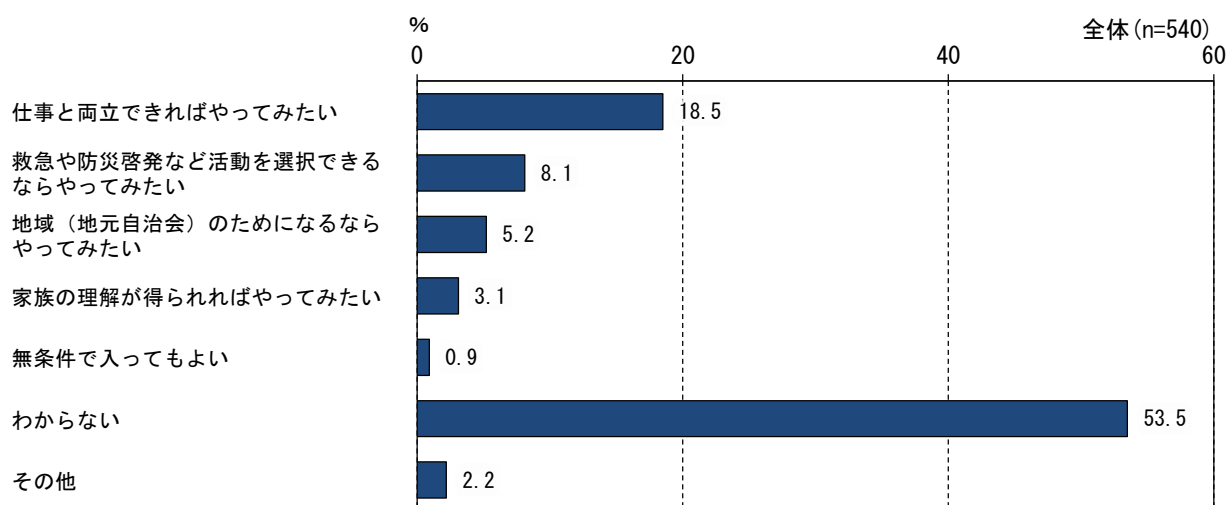
もし消防団に入るとすれば、どのような環境が整えば入ってもよいかは、「わからない」が53.5%、「仕事と両立できればやってみたい」が18.5%となっています。

昨年調査結果と比較すると、順位に大きな変動はないものの、「救急や防災啓発など活動を選択できるならやってみたい」と回答した割合は昨年に比べ4.3%低くなっており、「わからない」と回答した割合は5.7%高くなっています。

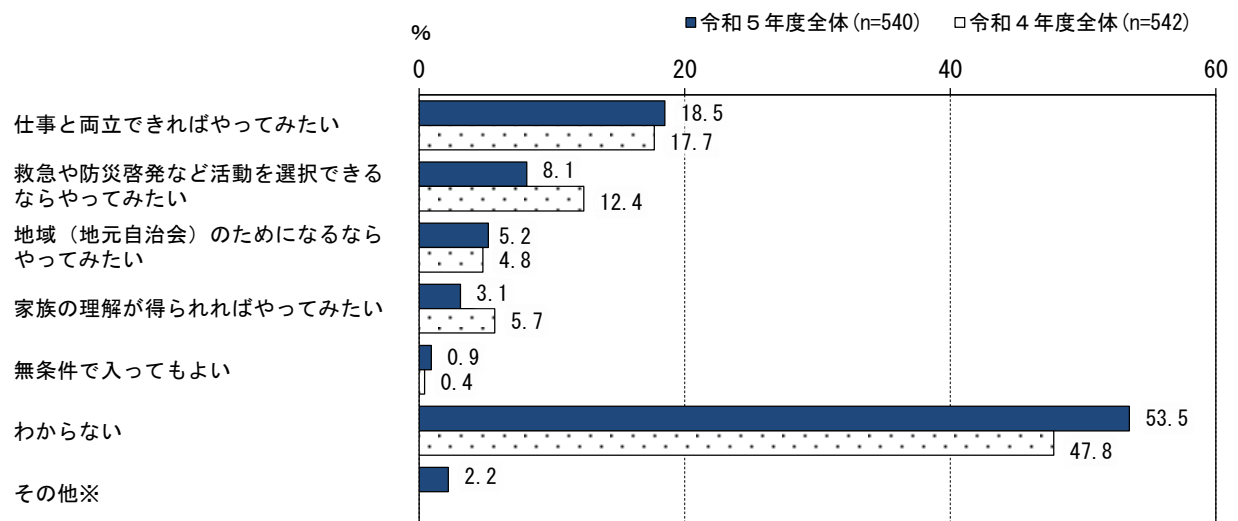
【属性別特徴】

- 性別でみると、「仕事と両立できればやってみたい」の割合は「男性」が「女性」より高くなっています。
- 年齢別でみると、「仕事と両立できればやってみたい」の割合は「20歳代」が最も高くなっています。

どのような環境が整えば入ってもよいか（全体）



どのような環境が整えば入ってもよいか（経年比較）



※令和5年度調査からの新規項目

どのような環境が整えば入ってもよいか（属性別）

単位：％		サ ン プ ル 数	い れ ば や つ て み で き	仕 事 と 両 立 み で き な ら や つ て み で き	で き る 活 動 を 選 択 す べ き	救 急 や 防 災 啓 発	た い な ら や つ て み な し	会 （ 地 域 ） の た め に 自 治	み た い ら れ ば 理 解 が 得 る	家 族 の 理 解 が 得 る	も よ い 無 条 件 で 入 っ て	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体		540	18.5	8.1	5.2	3.1	0.9	53.5	2.2	8.3				
性 別	男 性	237	21.5	7.2	7.2	5.1	1.3	47.3	2.5	8.0				
	女 性	301	16.3	9.0	3.7	1.7	0.7	58.1	2.0	8.6				
年 齢 別	18・19歳	19	10.5	5.3	5.3	—	15.8	63.2	—	—				
	20歳代	77	26.0	3.9	5.2	2.6	—	53.2	5.2	3.9				
	30歳代	84	19.0	2.4	1.2	6.0	—	51.2	4.8	15.5				
	40歳代	149	21.5	9.4	4.0	1.3	0.7	52.3	2.7	8.1				
	50歳代	133	12.0	11.3	6.0	4.5	—	53.4	—	12.8				
	60歳代	78	17.9	11.5	10.3	2.6	1.3	56.4	—	—				
	70歳以上	0	—	—	—	—	—	—	—	—				
職 業 別	農林漁業	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—				
	自営業	28	7.1	10.7	7.1	—	—	53.6	3.6	17.9				
	専門職	31	25.8	9.7	9.7	6.5	—	41.9	3.2	3.2				
	会社員	200	23.0	6.5	3.5	3.5	1.0	52.5	1.5	8.5				
	公務員	70	21.4	10.0	7.1	5.7	—	44.3	2.9	8.6				
	パート・アルバイト	90	16.7	12.2	4.4	—	—	56.7	2.2	7.8				
	専業主婦（主夫）	38	5.3	10.5	2.6	5.3	—	57.9	5.3	13.2				
	学 生	37	18.9	2.7	5.4	2.7	2.7	64.9	2.7	—				
	無 職	29	6.9	3.4	10.3	—	6.9	65.5	—	6.9				
	その他	11	—	9.1	9.1	—	—	72.7	—	9.1				
家 族 構 成 別	一人暮らし	61	24.6	9.8	6.6	1.6	—	49.2	1.6	6.6				
	夫婦（二人）	105	8.6	6.7	5.7	1.9	1.0	65.7	1.0	9.5				
	親・子（2世代）	334	20.7	9.0	4.5	4.2	0.6	50.0	3.0	8.1				
	親・子・孫（3世代）	33	9.1	3.0	9.1	—	6.1	63.6	—	9.1				
	その他	5	60.0	—	—	—	—	20.0	—	20.0				
居 住 年 数 別	1年未満	12	8.3	8.3	8.3	—	—	58.3	8.3	8.3				
	1年以上5年未満	40	25.0	2.5	2.5	5.0	2.5	45.0	2.5	15.0				
	5年以上10年未満	37	27.0	5.4	—	2.7	—	51.4	—	13.5				
	10年以上20年未満	95	10.5	9.5	3.2	—	2.1	69.5	3.2	2.1				
	20年以上30年未満	107	18.7	6.5	9.3	4.7	—	49.5	1.9	9.3				
	30年以上	249	19.7	9.6	5.2	3.6	0.8	50.6	2.0	8.4				
居 住 地 区 別	大分中央	51	17.6	9.8	2.0	—	3.9	54.9	3.9	7.8				
	大分西部	59	22.0	3.4	5.1	5.1	1.7	57.6	1.7	3.4				
	大分南部	39	15.4	17.9	—	7.7	—	51.3	2.6	5.1				
	南大分	40	25.0	7.5	12.5	5.0	—	47.5	—	2.5				
	大分東部	45	17.8	6.7	8.9	2.2	—	62.2	—	2.2				
	明野地区	13	7.7	15.4	7.7	—	—	69.2	—	—				
	鶴崎地区	81	18.5	3.7	7.4	1.2	1.2	50.6	1.2	16.0				
	大南地区	49	20.4	4.1	4.1	—	2.0	59.2	—	10.2				
	植田地区	93	15.1	11.8	5.4	3.2	—	50.5	4.3	9.7				
	大在地区	32	9.4	6.3	—	6.3	—	62.5	6.3	9.4				
	坂ノ市地区	17	23.5	5.9	—	11.8	—	47.1	—	11.8				
	佐賀関地区	17	35.3	17.6	—	—	—	23.5	5.9	17.6				
	野津原地区	3	33.3	—	33.3	—	—	33.3	—	—				

(6) 大分市の生活環境について

①身近なところで、自然に触れ合える場所や学習の機会があると思うか

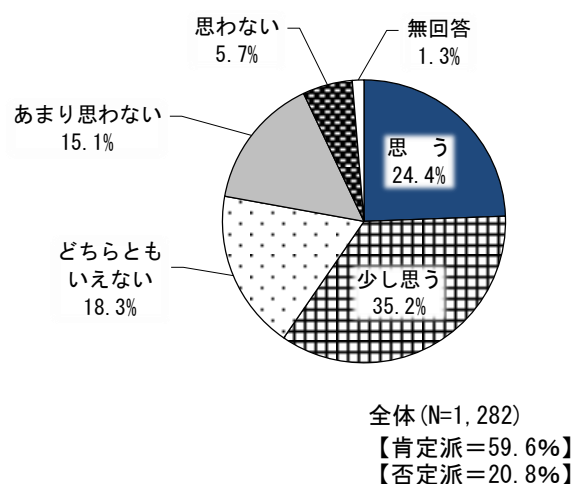
問5 (6) ア 身近なところで、自然に触れ合える場所や学習の機会があると思いますか。

大分市の生活環境について、身近なところで、自然に触れ合える場所や学習の機会があると思うかについて、「思う」が 24.4%、「少し思う」が 35.2%で肯定率は 59.6%、「あまり思わない」が 15.1%、「思わない」が 5.7%で否定率は 20.8%となっています。

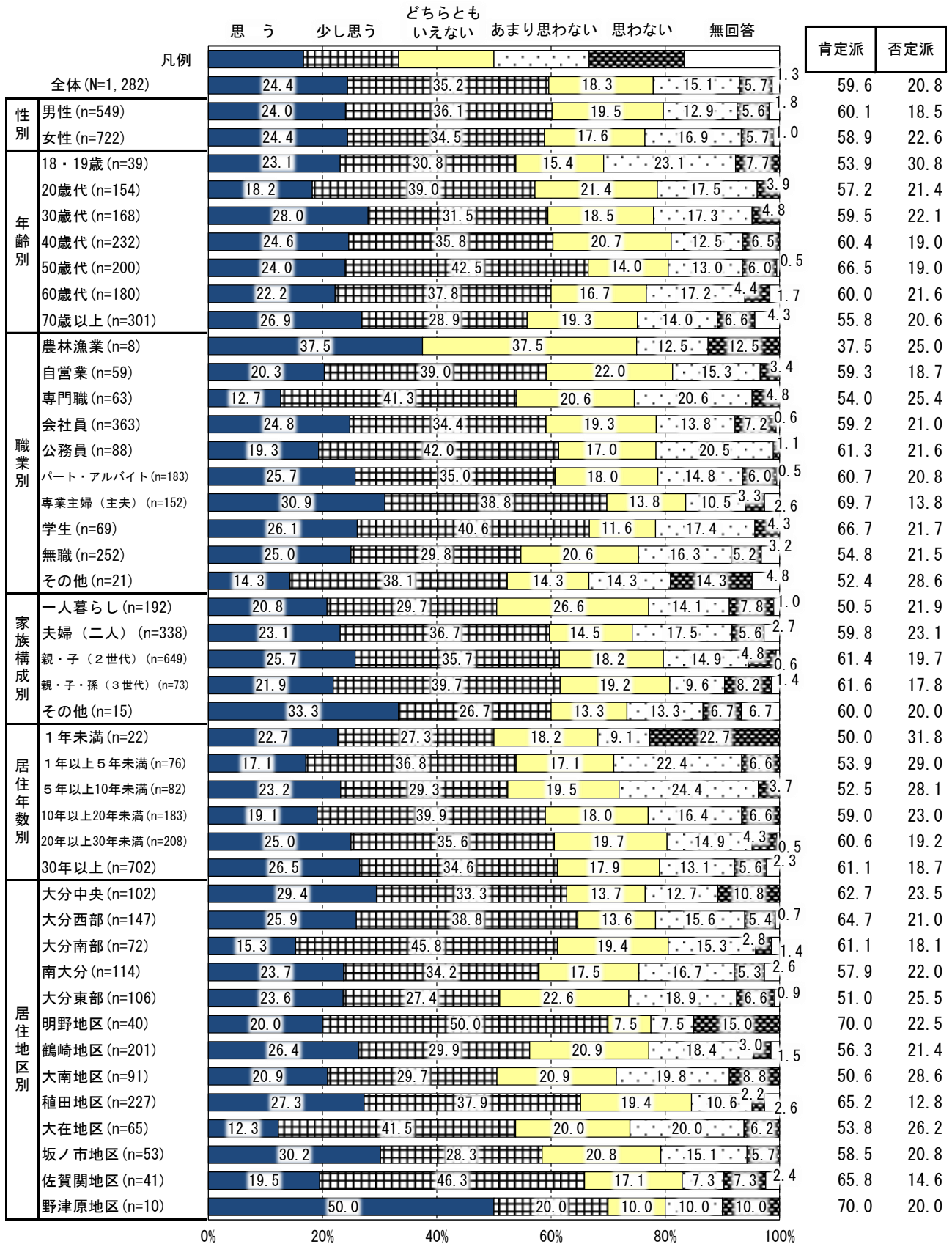
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「肯定率」は「50 歳代」が最も高く、「否定率」は「18・19 歳」が最も高くなっています。

身近なところで、自然に触れ合える場所や学習の機会があると思うか（全体）



身近なところで、自然に触れ合える場所や学習の機会があると思うか（属性別）



②公害等で困ることなく生活することができる環境であると感じているか

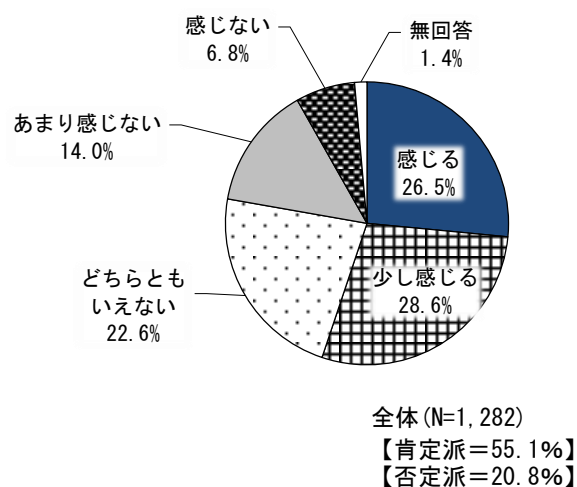
問5（6）イ 公害等で困ることなく生活できる環境であると感じていますか。

公害等で困ることなく生活することができる環境であると感じているかについて、「感じる」が26.5%、「少し感じる」が28.6%で肯定率は55.1%、「あまり感じない」が14.0%、「感じない」が6.8%で否定率は20.8%となっています。

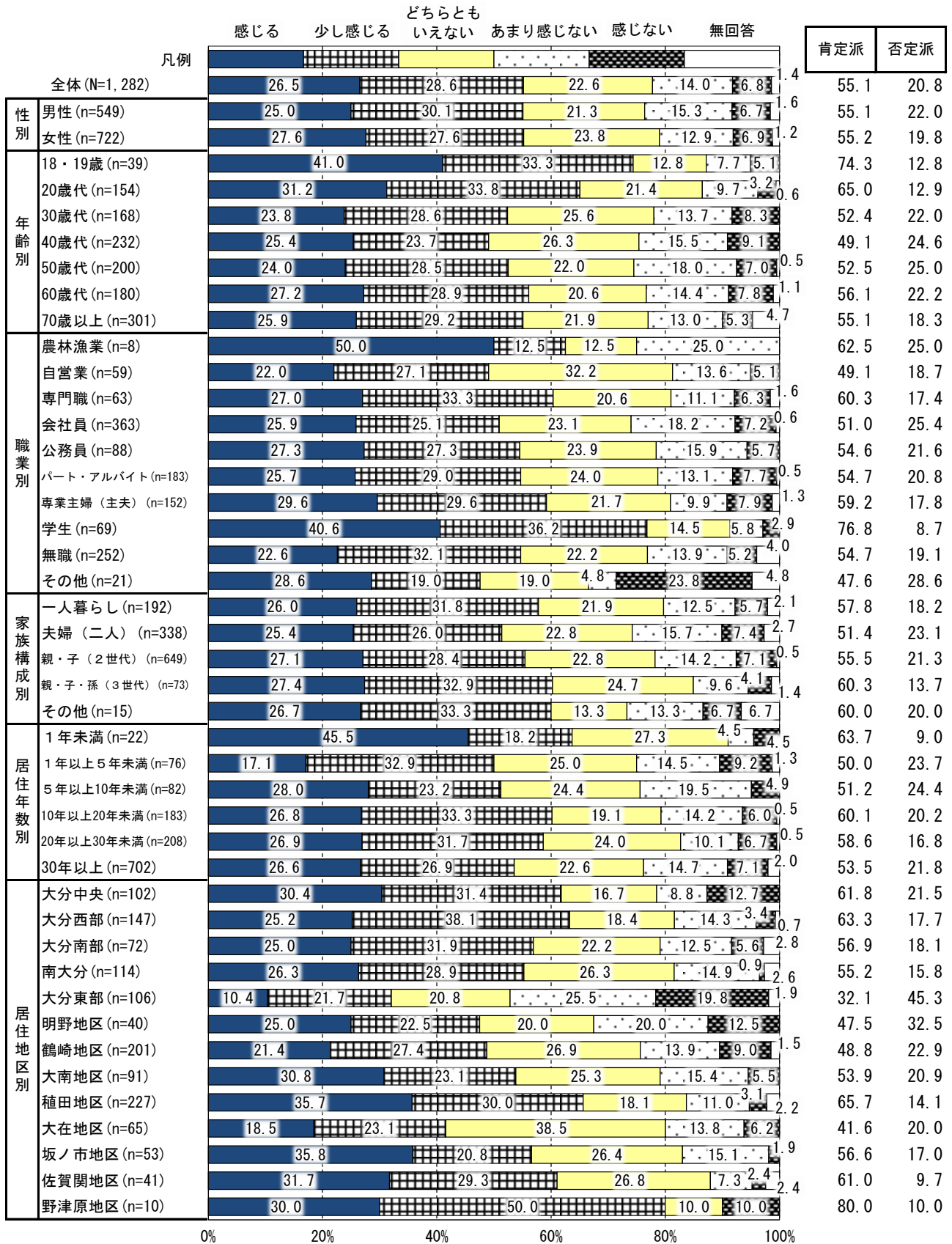
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「50 歳代」が最も高くなっています。

公害等で困ることなく生活することができる環境であると感じているか（全体）



公害等で困ることなく生活することができる環境であると感じているか（属性別）



(7) かかりつけ医について

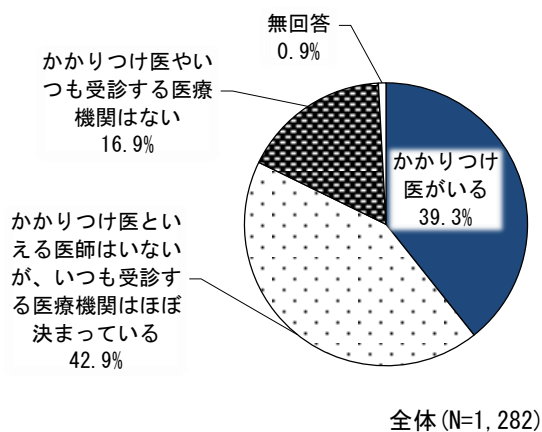
問 5 (7) あなたは、健康状態や病気のことで気軽に相談でき、決まって診療を受けるかかりつけ医がいますか。

健康状態や病気のことで気軽に相談でき、決まって診療を受けるかかりつけ医がいるかについて、「かかりつけ医がいる」が 39.3%、「かかりつけ医といえる医師はいないが、いつも受診する医療機関はほぼ決まっている」が 42.9%、「かかりつけ医やいつも受診する医療機関はない」が 16.9% となっています。

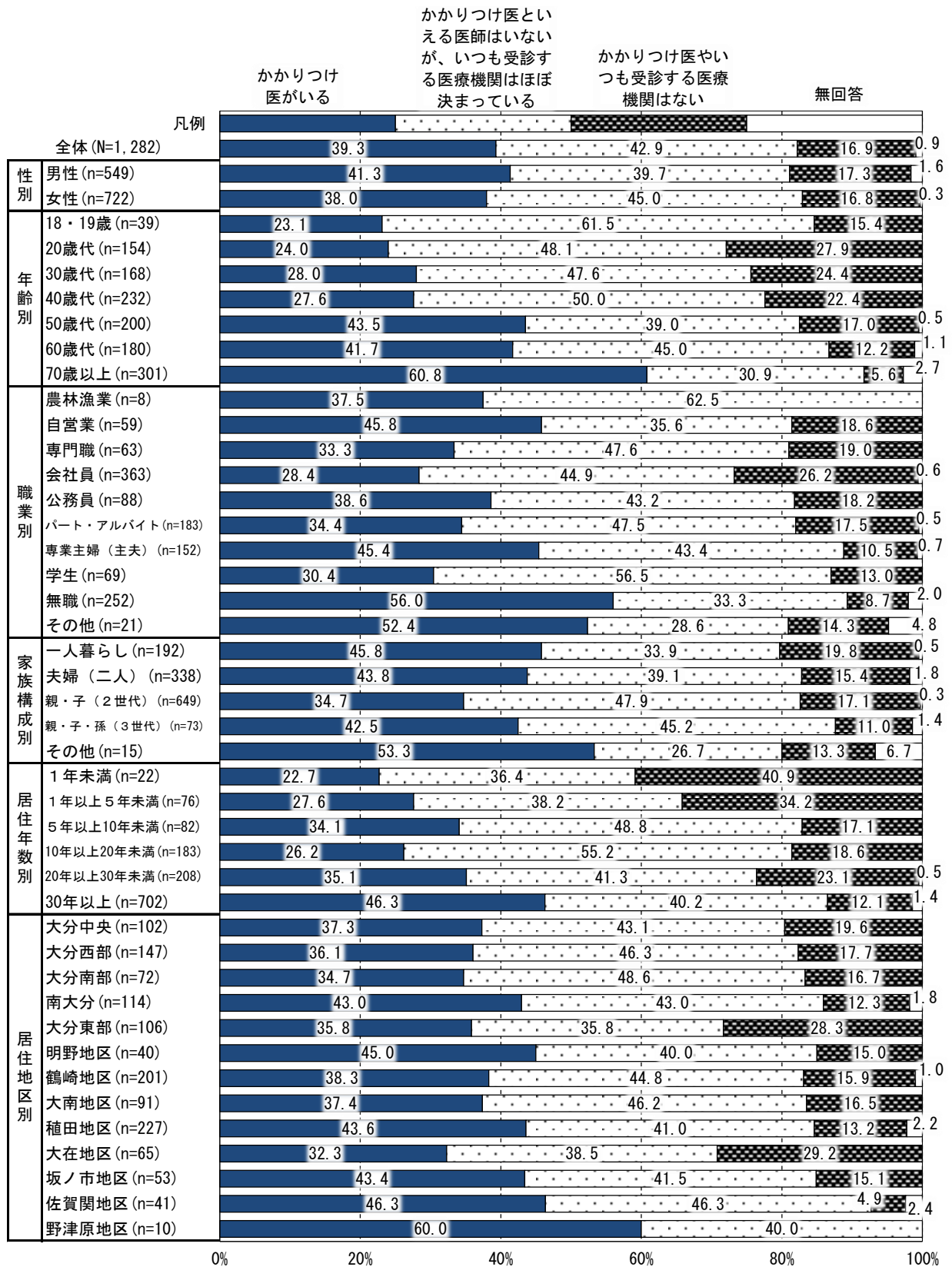
【属性別特徴】

●年齢別でみると、「かかりつけ医がいる」は「70 歳以上」が最も高く、「かかりつけ医やいつも受診する医療機関はない」は「20 歳代」が最も高くなっています。

かかりつけ医について（全体）



かかりつけ医について（属性別）



(8) 食品ロスについて

①食品ロスに対する認知度

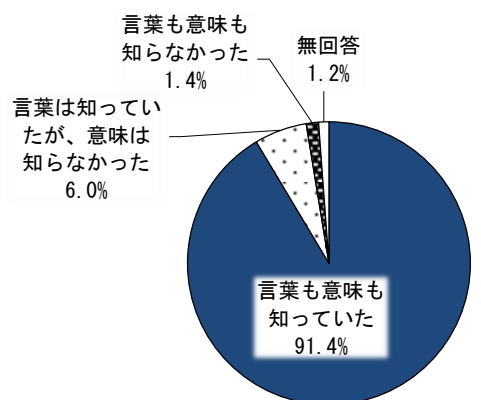
問5 (8) ア 食品ロスに対するあなたの認知度についてお答えください。

食品ロスに対する認知度について、「言葉も意味も知っていた」が91.4%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が6.0%、「言葉も意味も知らなかった」が1.4%となっています。

【属性別特徴】

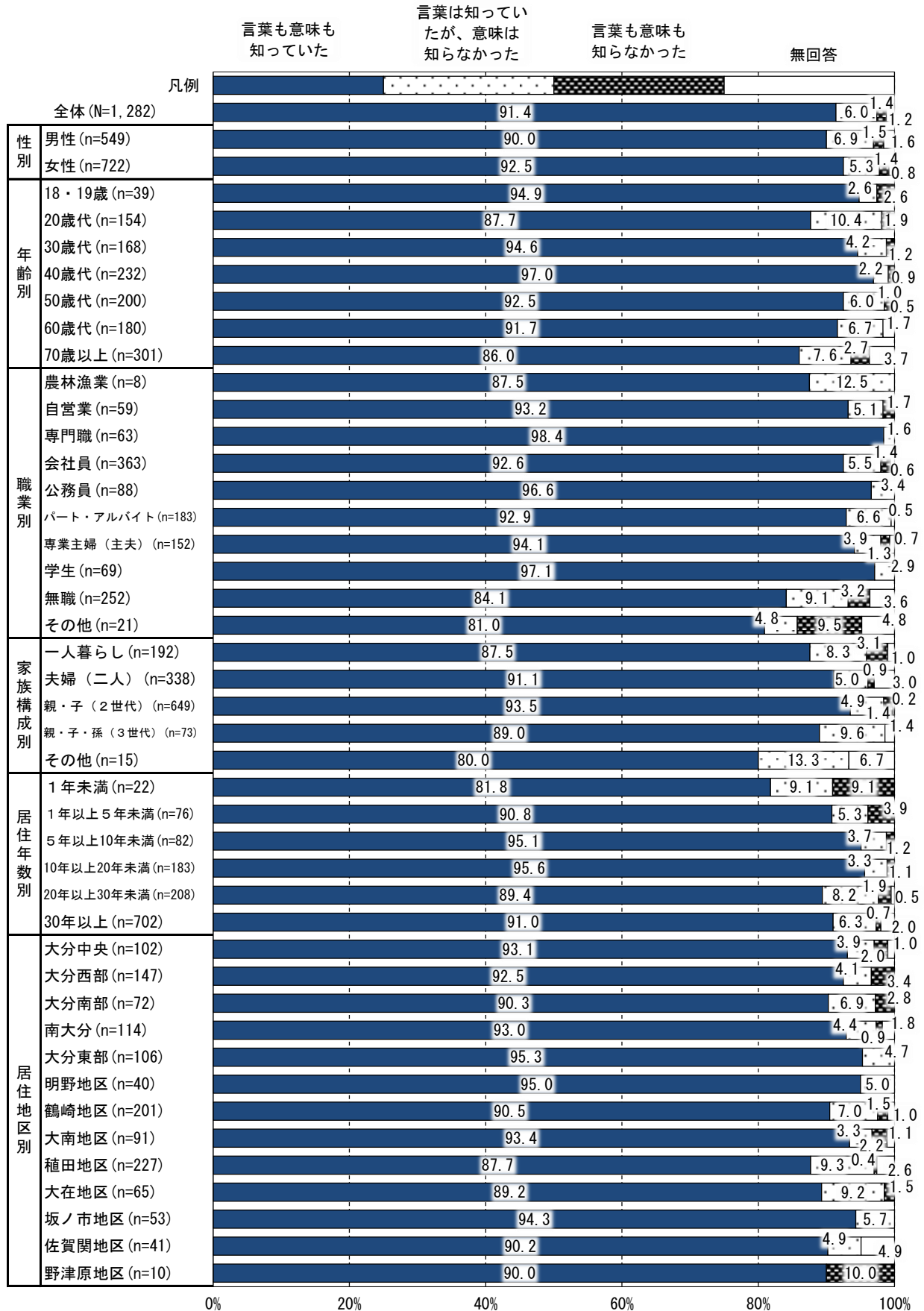
- 年齢別でみると、「言葉も意味も知っていた」は「40歳代」が最も高く、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」は「20歳代」が最も高くなっています。

食品ロスに対する認知度（全体）



全体 (N=1, 282)

食品ロスに対する認知度（属性別）



②食品ロスの発生状況

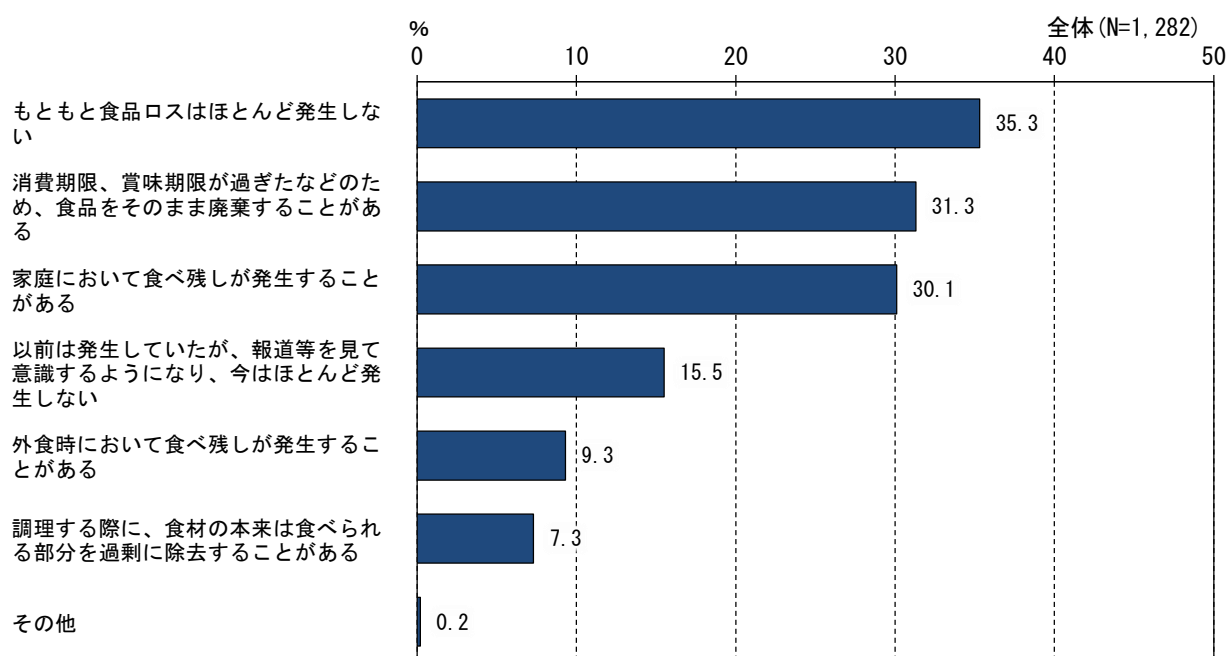
問 5（8）イ あなたやあなたと同居している方の食品ロスの発生状況についてお答えください。
（複数選択可）

あなたやあなたと同居している方の食品ロスの発生状況について、「もともと食品ロスはほとんど発生しない」が 35.3%、「消費期限、賞味期限が過ぎたなどのため、食品をそのまま廃棄することがある」が 31.3%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「30 歳代」「50 歳代」を除く年代では「もともと食品ロスはほとんど発生しない」が最も高く、「30 歳代」は「消費期限、賞味期限が過ぎたなどのため、食品をそのまま廃棄することがある」、「50 歳代」は「家庭において食べ残しが発生することがある」が最も高くなっています。

食品ロスの発生状況（全体）



食品ロスの発生状況（属性別）

単位：％		サ ン プ ル 数	と も と も と 食 品 ロ ス は ほ	こ と が あ る	過 ぎ た な ど の た め 、 食 が	消 費 期 限 、 賞 味 期 限 が	家 庭 に お い て 食 べ 残 し る	が 、 報 道 等 を 見 て 意 識 し な い	以 前 は 発 生 し て い た が 、 今 は	外 食 時 に お い て 食 べ 残 る	が あ る	本 来 は 食 べ ら れ る 部 分 を 過 剰 に 除 去 す る こ と	調 理 す る 際 に 、 食 材 の	そ の 他	無 回 答
全 体		1,282	35.3	31.3	30.1	15.5	9.3	7.3	0.2	1.3					
性 別	男 性	549	40.1	26.4	29.7	15.1	8.6	6.9	—	0.7					
	女 性	722	31.6	35.0	30.7	15.5	10.0	7.8	0.4	1.8					
年 齢 別	18・19歳	39	46.2	33.3	30.8	7.7	5.1	2.6	—	—					
	20歳代	154	40.3	31.2	27.3	10.4	8.4	7.1	—	0.6					
	30歳代	168	27.4	44.0	37.5	12.5	14.9	10.1	0.6	0.6					
	40歳代	232	38.4	30.6	29.7	11.2	9.9	6.0	—	—					
	50歳代	200	31.5	29.5	33.0	20.0	10.0	9.0	—	—					
	60歳代	180	34.4	31.7	30.6	17.2	6.7	8.9	0.6	1.1					
	70歳以上	301	36.5	25.6	25.9	19.6	8.0	5.6	0.3	4.3					
職 業 別	農林漁業	8	62.5	12.5	25.0	12.5	—	—	—	—					
	自営業	59	44.1	25.4	28.8	16.9	6.8	5.1	—	—					
	専門職	63	23.8	44.4	41.3	14.3	15.9	9.5	1.6	—					
	会社員	363	35.8	31.1	31.1	11.6	8.8	8.8	—	—					
	公務員	88	44.3	28.4	26.1	15.9	11.4	5.7	—	1.1					
	パート・アルバイト	183	27.3	38.8	38.8	14.8	9.3	8.7	0.5	—					
	専業主婦（主夫）	152	30.3	29.6	28.3	21.7	12.5	8.6	—	3.9					
	学 生	69	49.3	29.0	30.4	7.2	4.3	2.9	—	1.4					
	無 職	252	36.9	27.4	24.6	18.7	6.7	6.0	0.4	3.2					
	その他	21	42.9	33.3	23.8	9.5	23.8	9.5	—	—					
家 族 構 成 別	一人暮らし	192	42.7	30.7	16.7	15.6	6.8	5.7	0.5	2.1					
	夫婦（二人）	338	37.3	26.3	25.1	19.5	9.2	8.3	—	1.5					
	親・子（2世代）	649	32.7	34.4	36.1	13.1	10.8	7.1	0.3	0.8					
	親・子・孫（3世代）	73	32.9	31.5	38.4	15.1	6.8	11.0	—	1.4					
	その他	15	33.3	20.0	13.3	20.0	—	—	—	13.3					
居 住 年 数 別	1年未満	22	45.5	31.8	18.2	9.1	4.5	13.6	—	—					
	1年以上5年未満	76	30.3	35.5	28.9	21.1	10.5	9.2	—	1.3					
	5年以上10年未満	82	31.7	32.9	35.4	15.9	14.6	8.5	2.4	—					
	10年以上20年未満	183	39.9	36.6	28.4	7.7	9.3	8.2	—	1.1					
	20年以上30年未満	208	34.1	32.2	33.7	12.5	10.6	9.1	—	0.5					
	30年以上	702	35.3	28.8	29.5	17.7	8.4	6.1	0.1	1.9					
居 住 地 区 別	大分中央	102	41.2	26.5	25.5	10.8	9.8	8.8	—	1.0					
	大分西部	147	40.8	32.0	29.9	15.0	8.8	3.4	—	0.7					
	大分南部	72	27.8	34.7	37.5	11.1	12.5	11.1	—	2.8					
	南大分	114	32.5	36.8	28.1	16.7	9.6	7.0	—	0.9					
	大分東部	106	38.7	30.2	25.5	18.9	6.6	8.5	—	—					
	明野地区	40	42.5	22.5	20.0	20.0	7.5	—	—	5.0					
	鶴崎地区	201	34.3	30.8	33.3	15.9	10.4	9.5	0.5	2.0					
	大南地区	91	26.4	35.2	39.6	12.1	9.9	5.5	—	—					
	植田地区	227	41.0	28.6	24.7	15.0	9.7	7.0	0.4	1.3					
	大在地区	65	27.7	35.4	36.9	16.9	10.8	10.8	—	—					
	坂ノ市地区	53	24.5	28.3	34.0	26.4	5.7	9.4	—	—					
	佐賀関地区	41	24.4	36.6	39.0	9.8	7.3	7.3	2.4	7.3					
	野津原地区	10	10.0	50.0	40.0	20.0	—	—	—	—					

③フードバンク活動に対する認知度

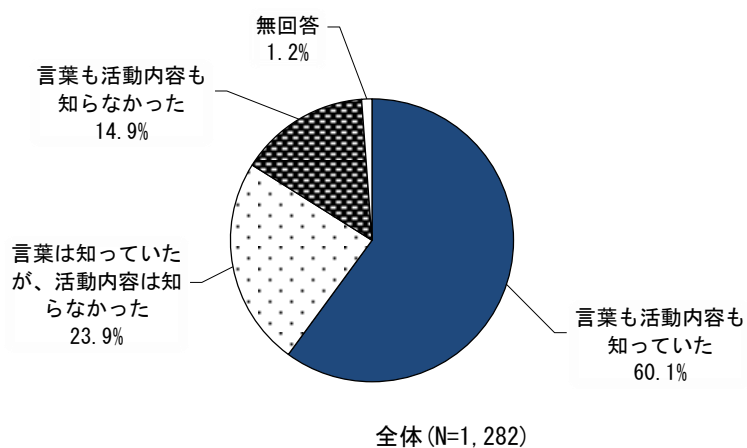
問 5（8）ウ 生産・流通・消費などの過程で発生する未利用食品を寄付してもらい、必要としている人や施設等に提供する取組をフードバンク活動と言いますが、この活動に対するあなたの認知度をお答えください。

フードバンク活動に対する認知度について、「言葉も活動内容も知っていた」が 60.1%、「言葉は知っていたが、活動内容は知らなかった」が 23.9%、「言葉も活動内容も知らなかった」が 14.9% となっています。

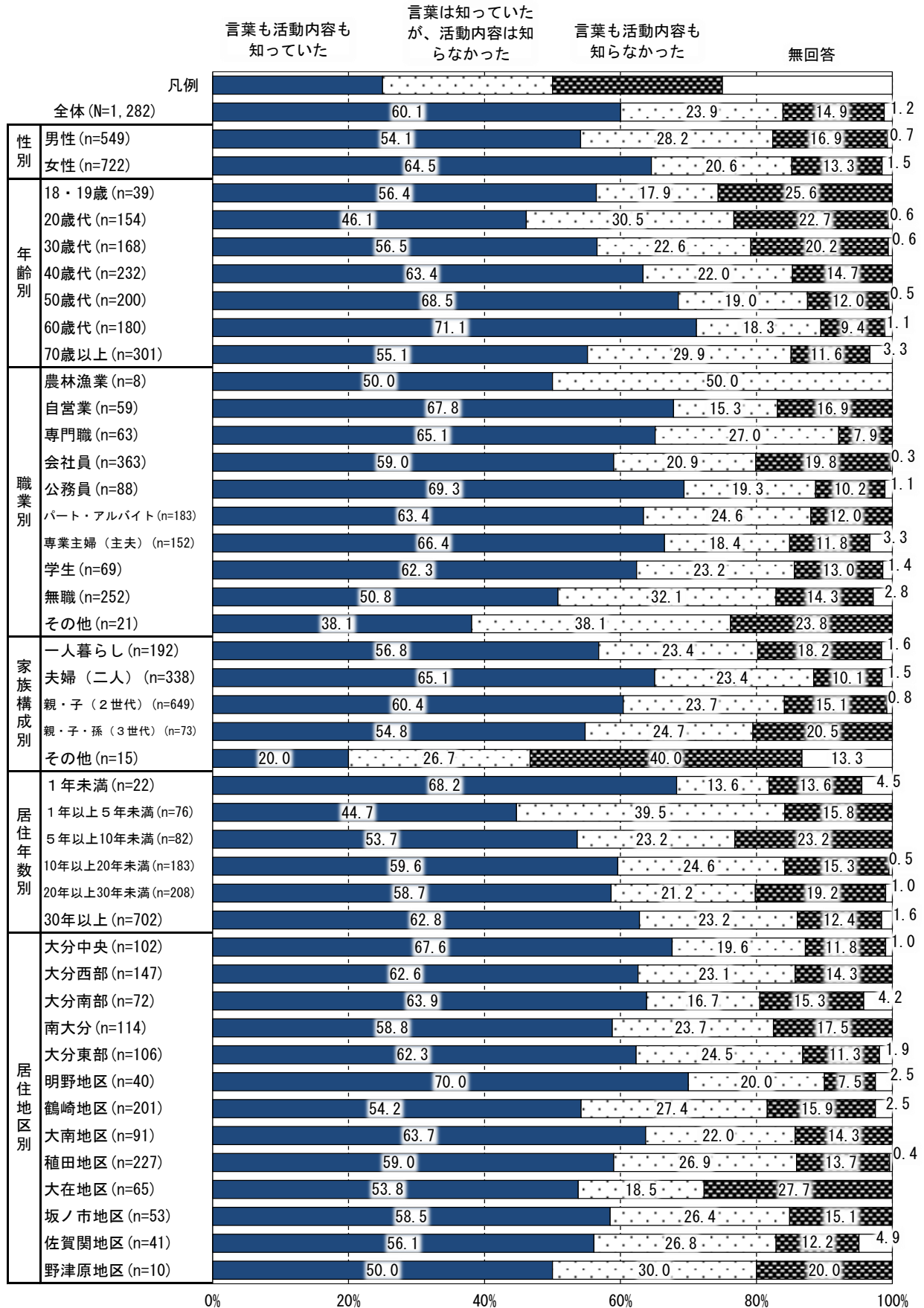
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「言葉も活動内容も知っていた」は「60 歳代」が最も高く、「言葉も活動内容も知らなかった」は「18・19 歳」が最も高くなっています。

フードバンク活動に対する認知度（全体）



フードバンク活動に対する認知度（複数回答）



(9) スポーツの振興について

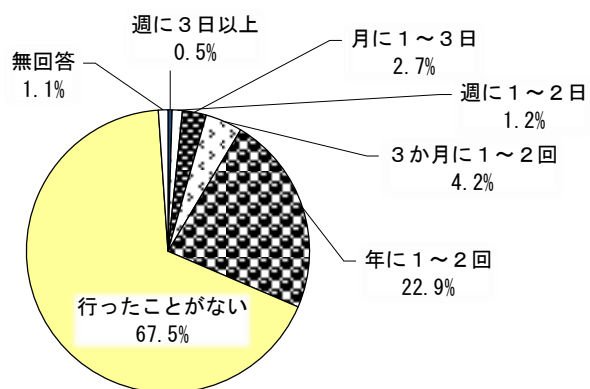
問 5 (9) あなたはこの 1 年間でどのくらいの頻度で大分市内でのスポーツ観戦をしましたか。

この 1 年間でどのくらいの頻度で大分市内でスポーツ観戦したかについて、「行ったことがない」が 67.5%、「年に 1～2 回」が 22.9%、「3 か月に 1～2 回」が 4.2%となっています。

【属性別特徴】

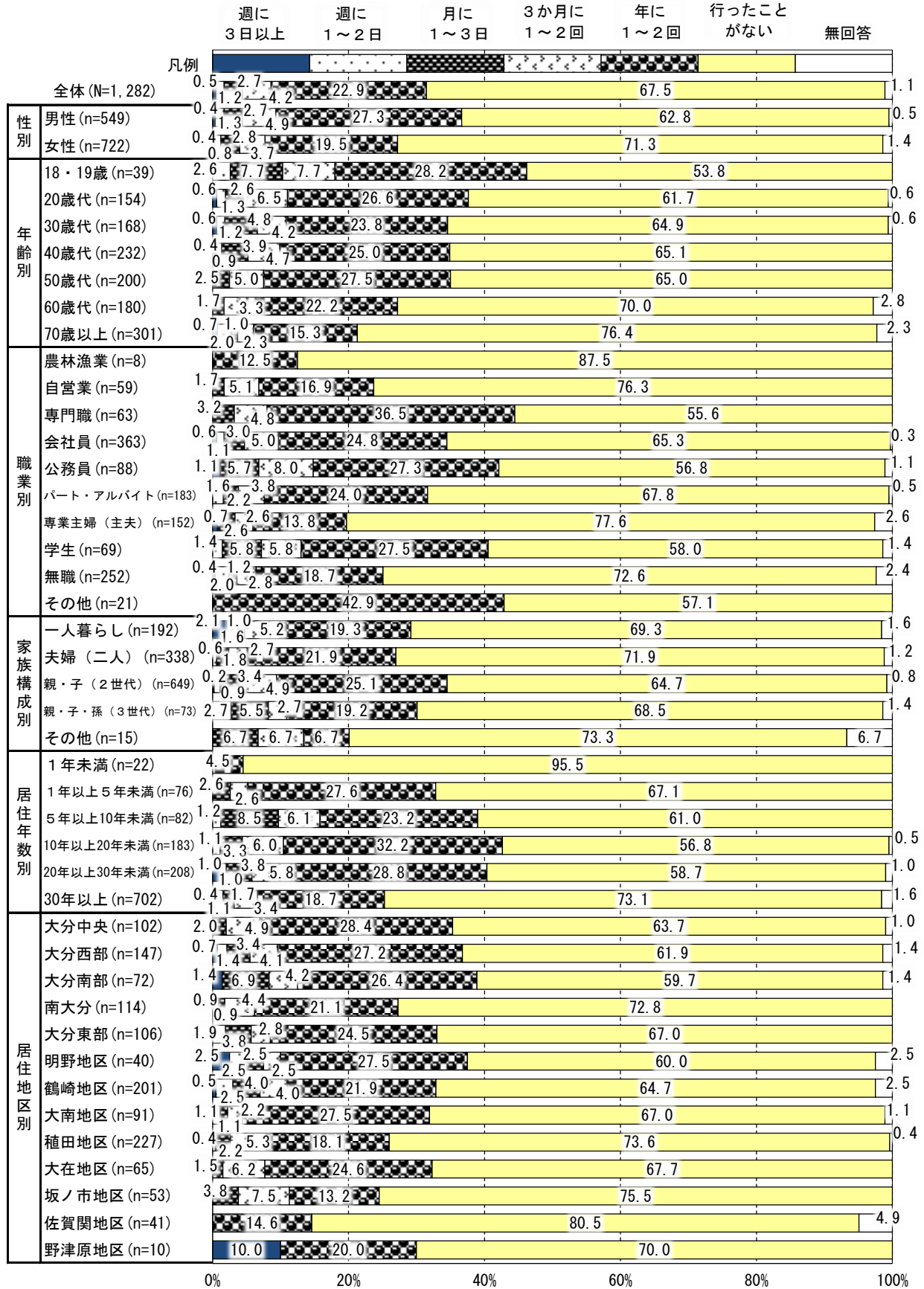
- 年齢別でみると、「行ったことがない」は「70 歳以上」が最も高く、「年に 1～2 回」は「18・19 歳」が最も高くなっています。

スポーツの振興について【大分市内でスポーツ観戦の頻度】(全体)



全体 (N=1,282)

スポーツの振興について【大分市内でのスポーツ観戦の頻度】（属性別）



(10) 大分市の国際化施策について

①大分市が海外と交流するにあたり、力を入れるべきだと思う取組

問 5 (10) ア 大分市が海外と交流するにあたり、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで選んでください)

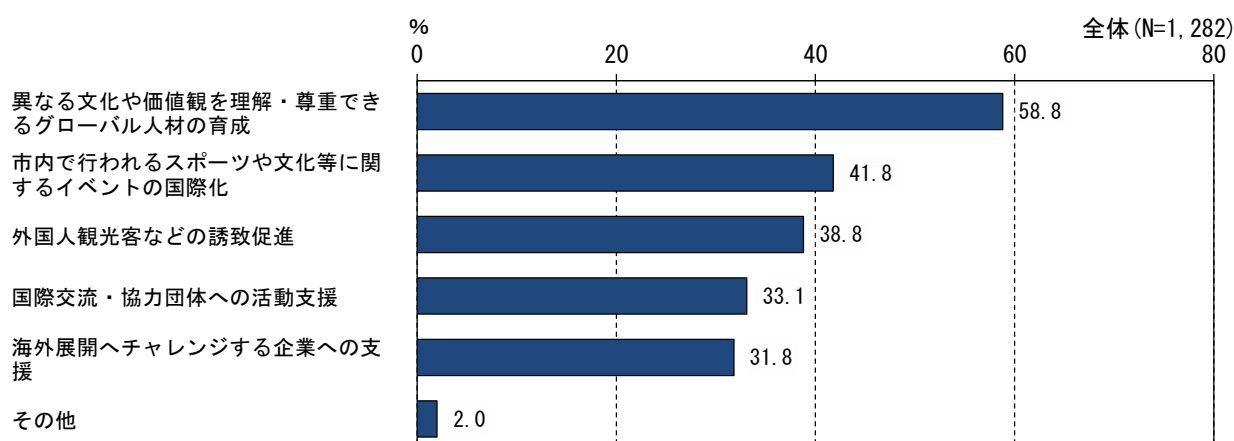
大分市が海外と交流するにあたり、どのような取組に力を入れるべきかについて、「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」が 58.8%と最も高く、次いで「市内で行われるスポーツや文化等に関するイベントの国際化」が 41.8%、「外国人観光客などの誘致促進」が 38.8%となっています。

昨年調査結果と比較すると、順位に変動はないものの、「国際交流・協力団体への活動支援」は 10.1%高くなっています。

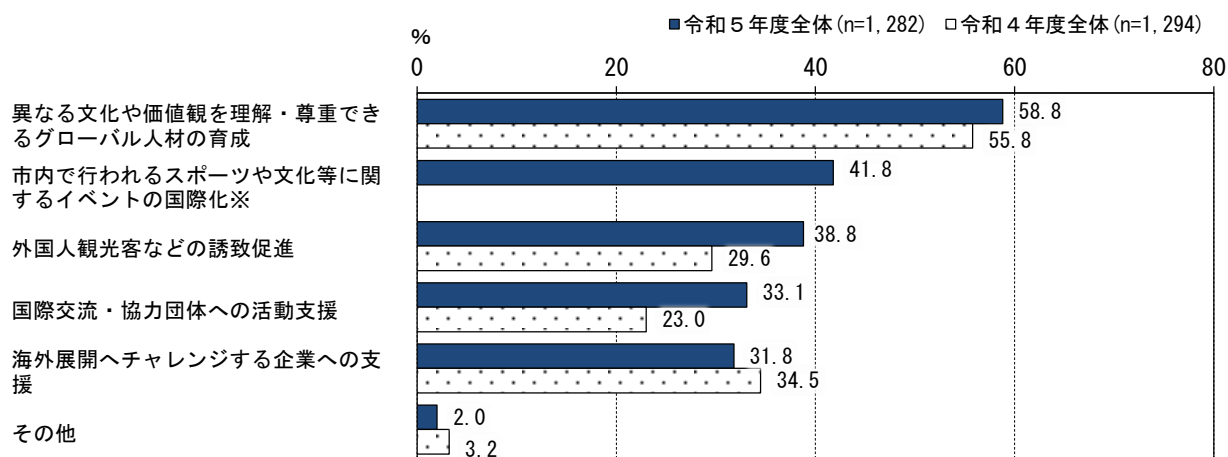
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「18・19 歳」を除く年代で「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」の割合が最も高く、全ての年代で5割を超えています。

大分市が海外と交流するにあたり、力を入れるべきだと思う取組（全体）



大分市が海外と交流するにあたり、力を入れるべきだと思う取組（経年比較）



※令和5年度調査からの新規項目

大分市が海外と交流するにあたり、力を入れるべきだと思う取組（属性別）

単位：％		サ ン プ ル 数	バ ル で 人 材 の 育 成	重 値 観 る 文 化 や 尊 厳	異 な る 文 化 や 尊 厳	ン ト の 関 心 を も つ た り な い	ス ポ ー ツ や 文 化 的 な 活 動 に 参 加 し て い る か ら い な い	市 内 で 行 わ れ る 交 流 の 機 会 を も つ た り な い	ど 外 国 人 の 誘 致 に 関 心 を も つ た り な い	援 団 体 の 交 流 活 動 に 参 加 し て い る か ら い な い	国 際 交 流 の 機 会 を も つ た り な い	レ ン ジ 展 開 の 支 援 に 関 心 を も つ た り な い	海 外 展 開 の 機 会 を も つ た り な い	そ の 他	無 回 答	
全 体		1,282	58.8	41.8	38.8	33.1	31.8	2.0	4.5							
性 別	男 性	549	56.1	39.5	45.7	30.1	33.9	2.4	3.5							
	女 性	722	60.8	43.5	33.9	35.6	30.3	1.7	5.3							
年 齢 別	18・19歳	39	53.8	56.4	48.7	33.3	38.5	－	2.6							
	20歳代	154	52.6	42.2	42.9	21.4	27.3	1.3	1.9							
	30歳代	168	58.9	38.7	45.2	31.5	34.5	1.8	3.0							
	40歳代	232	56.9	42.2	37.9	28.9	36.2	2.2	0.9							
	50歳代	200	63.0	43.0	32.0	30.0	35.5	2.5	2.0							
	60歳代	180	61.7	45.6	32.8	42.2	29.4	2.8	6.1							
	70歳以上	301	59.1	37.9	41.2	39.9	27.9	1.7	10.6							
職 業 別	農林漁業	8	87.5	50.0	50.0	37.5	50.0	－	－							
	自営業	59	44.1	39.0	33.9	22.0	33.9	1.7	3.4							
	専門職	63	58.7	54.0	34.9	38.1	39.7	1.6	1.6							
	会社員	363	56.7	41.0	41.3	28.1	35.5	1.7	1.9							
	公務員	88	61.4	40.9	36.4	28.4	35.2	3.4	1.1							
	パート・アルバイト	183	56.8	47.5	37.2	37.2	31.1	2.7	3.8							
	専業主婦（主夫）	152	66.4	36.2	32.2	34.9	28.3	0.7	9.2							
	学 生	69	62.3	46.4	46.4	31.9	33.3	1.4	2.9							
	無 職	252	60.7	37.7	40.5	41.3	25.8	2.0	7.9							
	その他	21	47.6	47.6	42.9	23.8	23.8	4.8	9.5							
家 族 構 成 別	一人暮らし	192	56.8	41.7	35.9	33.9	33.3	1.0	8.3							
	夫婦（二人）	338	61.8	39.9	40.2	34.0	30.5	1.8	4.7							
	親・子（2世代）	649	58.9	42.2	39.1	32.0	32.4	2.3	3.4							
	親・子・孫（3世代）	73	56.2	47.9	35.6	38.4	34.2	1.4	2.7							
	その他	15	33.3	40.0	53.3	20.0	20.0	－	6.7							
居 住 年 数 別	1年未満	22	59.1	54.5	40.9	13.6	22.7	－	9.1							
	1年以上5年未満	76	57.9	38.2	48.7	26.3	47.4	1.3	1.3							
	5年以上10年未満	82	57.3	46.3	35.4	28.0	34.1	1.2	4.9							
	10年以上20年未満	183	55.7	42.1	43.2	33.3	35.5	2.7	1.6							
	20年以上30年未満	208	57.7	38.9	41.3	28.4	28.8	2.4	1.9							
	30年以上	702	60.1	41.9	36.3	36.5	30.2	1.9	6.3							
居 住 地 区 別	大分中央	102	60.8	41.2	44.1	27.5	31.4	－	5.9							
	大分西部	147	57.1	35.4	41.5	34.7	32.7	4.1	2.0							
	大分南部	72	55.6	38.9	54.2	26.4	36.1	1.4	5.6							
	南大分	114	59.6	45.6	43.0	28.9	28.9	3.5	1.8							
	大分東部	106	49.1	48.1	34.9	31.1	34.9	0.9	5.7							
	明野地区	40	45.0	42.5	37.5	30.0	35.0	－	5.0							
	鶴崎地区	201	60.7	42.3	38.3	35.8	31.3	0.5	6.5							
	大南地区	91	63.7	39.6	36.3	29.7	33.0	3.3	4.4							
	植田地区	227	61.7	42.3	37.0	33.9	31.7	2.2	4.8							
	大在地区	65	52.3	46.2	29.2	32.3	30.8	4.6	－							
	坂ノ市地区	53	69.8	35.8	24.5	41.5	28.3	1.9	5.7							
	佐賀関地区	41	58.5	41.5	31.7	51.2	36.6	－	7.3							
	野津原地区	10	70.0	60.0	90.0	50.0	－	－	－							

②日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために力を入れるべき取組

問 5 (10) イ 日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくためには、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで選んでください)

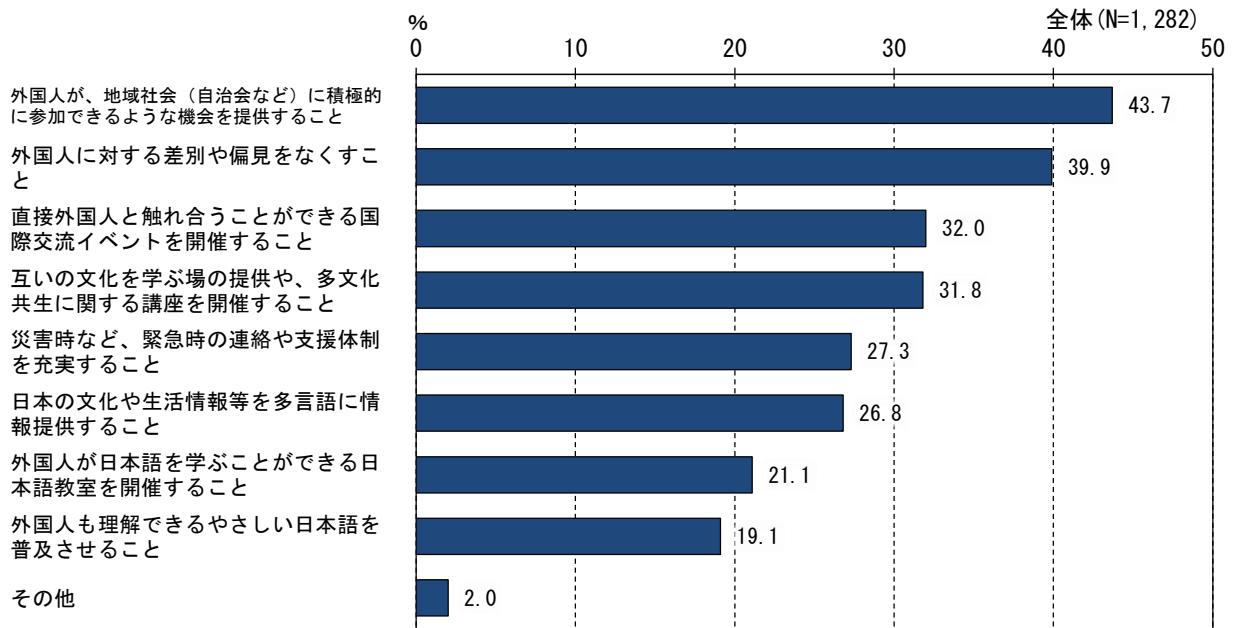
日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくためには、どのような取組に力を入れるべきかについて、「外国人が、地域社会（自治会など）に積極的に参加できるような機会を提供すること」が 43.7%と最も高く、次いで「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」が 39.9%となっています。

昨年調査結果と比較すると、「直接外国人と触れ合うことができる国際交流イベントを開催すること」と「互いの文化を学ぶ場の提供や、多文化共生に関する講座を開催すること」の順位が上がっています。

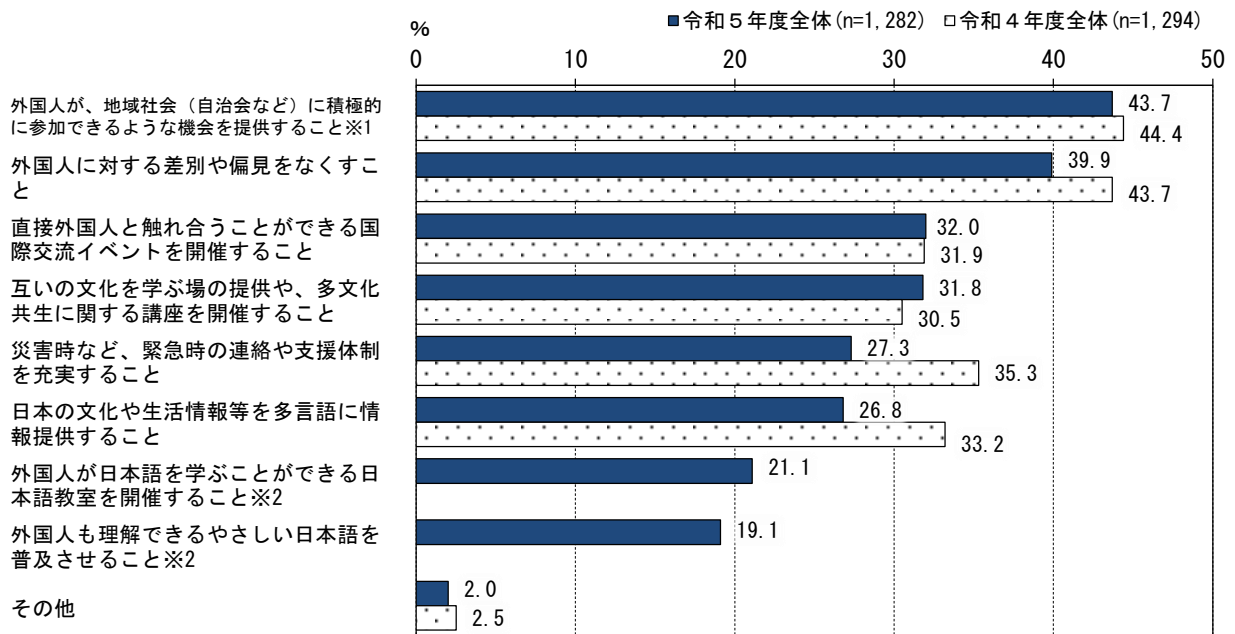
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「40 歳代」以上は「外国人が、地域社会（自治会など）に積極的に参加できるような機会を提供すること」が最も高く、「30 歳代」以下は年代によって力を入れるべき取組への考えが異なっています。

日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために力を入れるべき取組（全体）



日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために力を入れるべき取組（経年比較）



※1 令和4年度調査では「外国人市民が、地域社会（自治会など）に積極的に参画できるような機会を提供すること」

※2 令和5年度調査からの新規項目

日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていけるために力を入れるべき取組（属性別）

単位：％		サ ン プ ル 数	外国人が、地域社会（自治会 などに積極的に参加できる ような機会を提供すること	外国人に対する差別や 偏見をなくすること	外国人と触れ合うこ とができる国際交流イベ ントを開催すること	直接外国人と触れ合うこ とができる国際交流イベ ントを開催すること	互いの文化を学ぶ場の提 供や、多文化共生に関す る講座を開催すること	災害時など、緊急時の 連絡や支援体制を充実 すること	日本の文化や生活情報 等を多言語に情報提供 すること	外国人が日本語を学ぶ ことが出来る日本語教 室を開催すること	外国人も理解できるや さしい日本語を普及さ せること	その他	無 回 答
全 体		1,282	43.7	39.9	32.0	31.8	27.3	26.8	21.1	19.1	2.0	2.6	
性 別	男 性	549	42.6	39.7	31.7	33.2	22.2	27.0	19.7	21.3	2.4	1.8	
	女 性	722	44.6	40.3	32.4	30.9	30.7	27.0	22.0	17.7	1.7	3.2	
年 齢 別	18・19歳	39	30.8	38.5	43.6	38.5	23.1	28.2	25.6	25.6	－	2.6	
	20歳代	154	28.6	40.9	27.3	40.9	23.4	21.4	25.3	19.5	1.9	1.3	
	30歳代	168	36.9	38.1	34.5	29.8	31.0	26.8	21.4	18.5	3.0	1.8	
	40歳代	232	45.3	36.2	34.9	37.9	24.6	28.0	19.0	15.1	2.2	－	
	50歳代	200	46.5	43.5	32.5	27.5	27.0	32.0	18.0	19.0	2.0	0.5	
	60歳代	180	53.9	41.1	30.0	29.4	30.6	28.9	18.9	18.3	1.1	2.8	
	70歳以上	301	47.5	40.9	30.2	26.9	28.2	24.3	23.3	22.6	2.0	7.0	
職 業 別	農林漁業	8	62.5	50.0	12.5	50.0	37.5	50.0	12.5	25.0	－	－	
	自営業	59	49.2	42.4	30.5	23.7	25.4	25.4	22.0	16.9	1.7	1.7	
	専門職	63	47.6	33.3	33.3	44.4	34.9	30.2	19.0	11.1	－	－	
	会社員	363	43.0	41.0	30.6	33.6	23.4	24.8	20.9	19.6	2.2	1.1	
	公務員	88	43.2	37.5	38.6	33.0	20.5	33.0	14.8	14.8	2.3	2.3	
	パート・アルバイト	183	41.5	41.0	34.4	31.7	27.9	27.3	21.9	14.2	3.3	1.1	
	専業主婦（主夫）	152	48.7	38.2	30.3	35.5	30.3	25.7	19.7	17.8	0.7	4.6	
	学 生	69	31.9	36.2	33.3	46.4	33.3	24.6	26.1	21.7	2.9	1.4	
	無 職	252	42.5	42.1	31.0	22.2	29.4	27.0	22.6	27.8	1.6	6.0	
	その他	21	61.9	28.6	47.6	28.6	28.6	28.6	23.8	4.8	－	－	
家 族 構 成 別	一人暮らし	192	40.1	43.8	30.7	33.3	25.0	33.3	23.4	18.8	1.0	3.1	
	夫婦（二人）	338	51.8	40.2	26.3	29.6	32.8	27.5	22.2	20.1	0.9	3.6	
	親・子（２世代）	649	40.7	38.1	34.7	33.3	24.7	24.7	20.5	19.7	2.8	2.2	
	親・子・孫（３世代）	73	45.2	47.9	38.4	30.1	31.5	24.7	15.1	11.0	－	－	
	その他	15	40.0	33.3	33.3	13.3	20.0	33.3	26.7	26.7	6.7	6.7	
居 住 年 数 別	1年未満	22	22.7	27.3	40.9	31.8	18.2	18.2	31.8	27.3	4.5	4.5	
	1年以上5年未満	76	44.7	31.6	34.2	34.2	21.1	30.3	18.4	17.1	3.9	1.3	
	5年以上10年未満	82	43.9	42.7	41.5	32.9	26.8	20.7	19.5	12.2	2.4	－	
	10年以上20年未満	183	38.3	41.0	33.3	32.8	26.8	27.3	20.2	21.3	1.1	2.2	
	20年以上30年未満	208	37.5	36.1	28.8	41.3	22.6	23.6	23.6	15.9	3.4	1.0	
	30年以上	702	47.4	41.9	31.1	28.5	29.8	28.3	20.8	20.4	1.4	3.6	
居 住 地 区 別	大分中央	102	46.1	37.3	32.4	40.2	20.6	31.4	12.7	11.8	1.0	3.9	
	大分西部	147	46.3	34.7	35.4	29.9	26.5	23.8	24.5	21.8	3.4	0.7	
	大分南部	72	45.8	36.1	38.9	27.8	25.0	31.9	22.2	13.9	1.4	6.9	
	南大分	114	43.0	31.6	40.4	32.5	22.8	22.8	21.1	18.4	4.4	1.8	
	大分東部	106	44.3	36.8	30.2	30.2	25.5	29.2	18.9	27.4	－	2.8	
	明野地区	40	37.5	47.5	17.5	20.0	25.0	32.5	25.0	22.5	5.0	2.5	
	鶴崎地区	201	47.8	47.3	31.3	34.8	28.4	22.9	20.4	17.4	1.0	3.0	
	大南地区	91	44.0	39.6	31.9	33.0	26.4	30.8	16.5	19.8	－	2.2	
	植田地区	227	41.0	43.6	34.8	29.5	29.1	29.5	23.8	16.7	1.8	1.8	
	大在地区	65	33.8	32.3	20.0	35.4	38.5	33.8	21.5	13.8	1.5	－	
	坂ノ市地区	53	34.0	43.4	22.6	28.3	32.1	26.4	20.8	28.3	5.7	3.8	
	佐賀関地区	41	58.5	46.3	22.0	31.7	26.8	12.2	26.8	26.8	2.4	4.9	
	野津原地区	10	40.0	50.0	40.0	30.0	40.0	－	30.0	60.0	－	－	

③大分市は、国籍や民族、文化の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると思うか

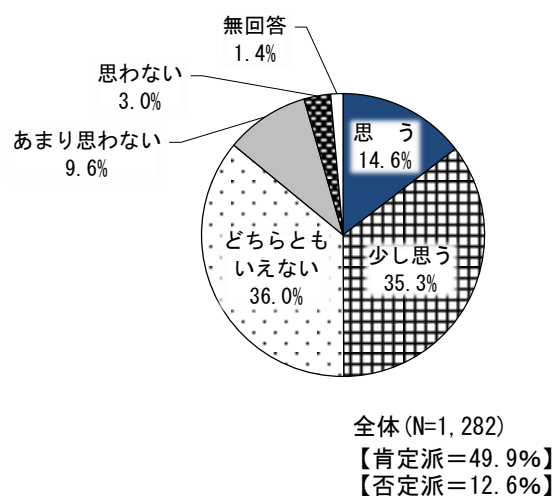
問 5 (10) ウ 大分市は、国籍や民族、文化の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると思いますか。

大分市は、国籍や民族、文化の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると思うかについて、「思う」が 14.6%、「少し思う」が 35.3%で肯定率は 49.9%、「あまり思わない」が 9.6%、「思わない」が 3.0%で否定率は 12.6%となっています。

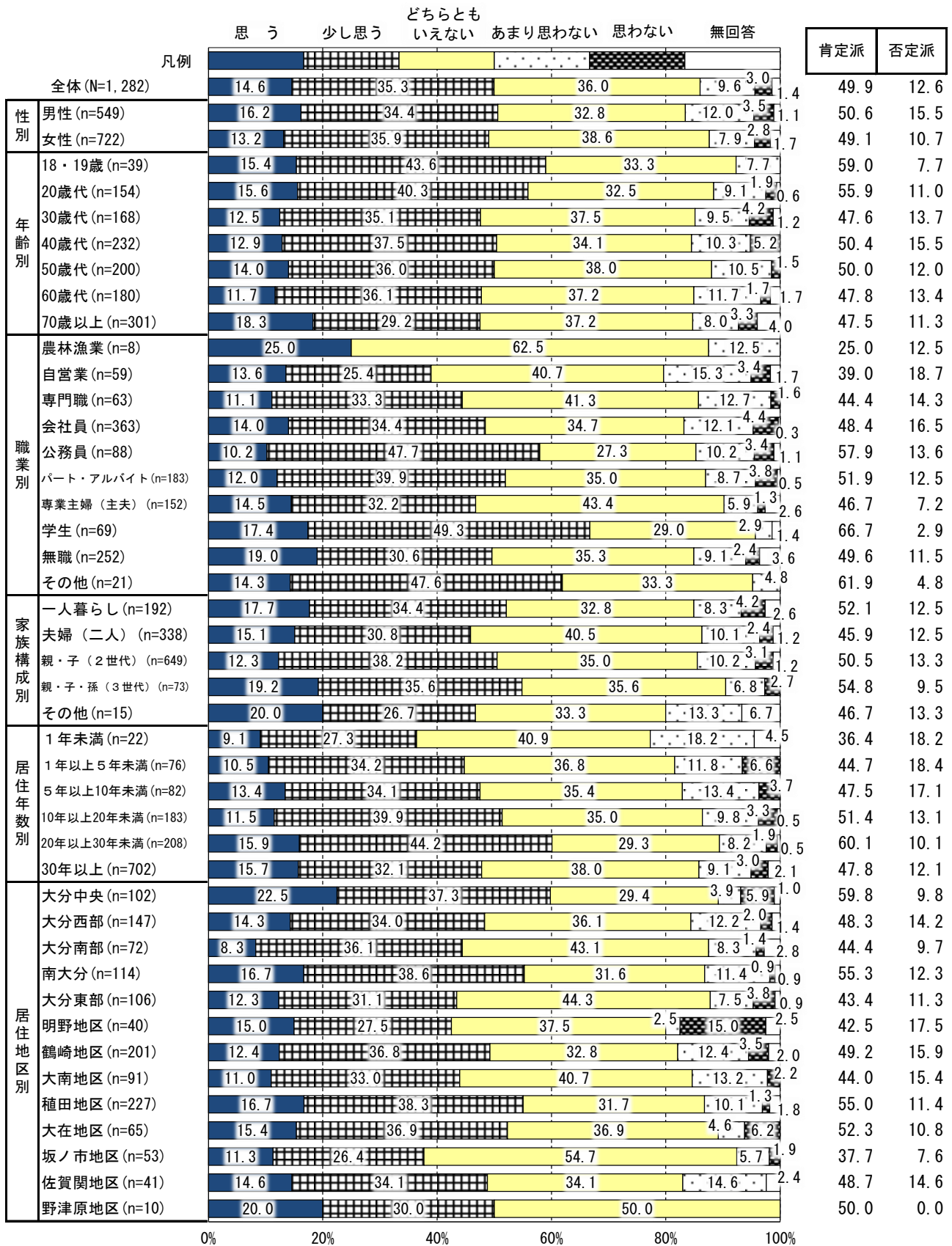
【属性別特徴】

●年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「40 歳代」が最も高くなっています。

大分市は、国籍や民族、文化の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると思うか（全体）



大分市は、国籍や民族、文化の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると思うか（属性別）



④国際交流する機会が身近にあると感じられるか

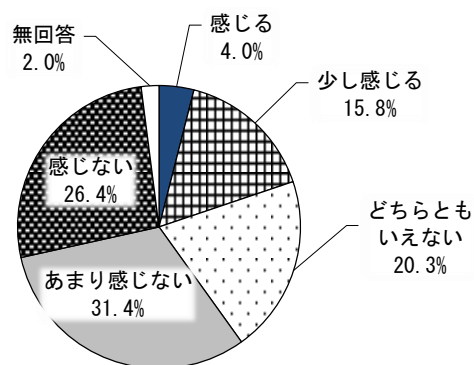
問 5 (10) エ 国際交流する機会が身近にあると感じられますか。

国際交流する機会が身近にあると感じられるかについて、「感じる」が 4.0%、「少し感じる」が 15.8%で肯定率は 19.8%、「あまり感じない」が 31.4%、「感じない」が 26.4%で否定率は 57.8%となっています。

【属性別特徴】

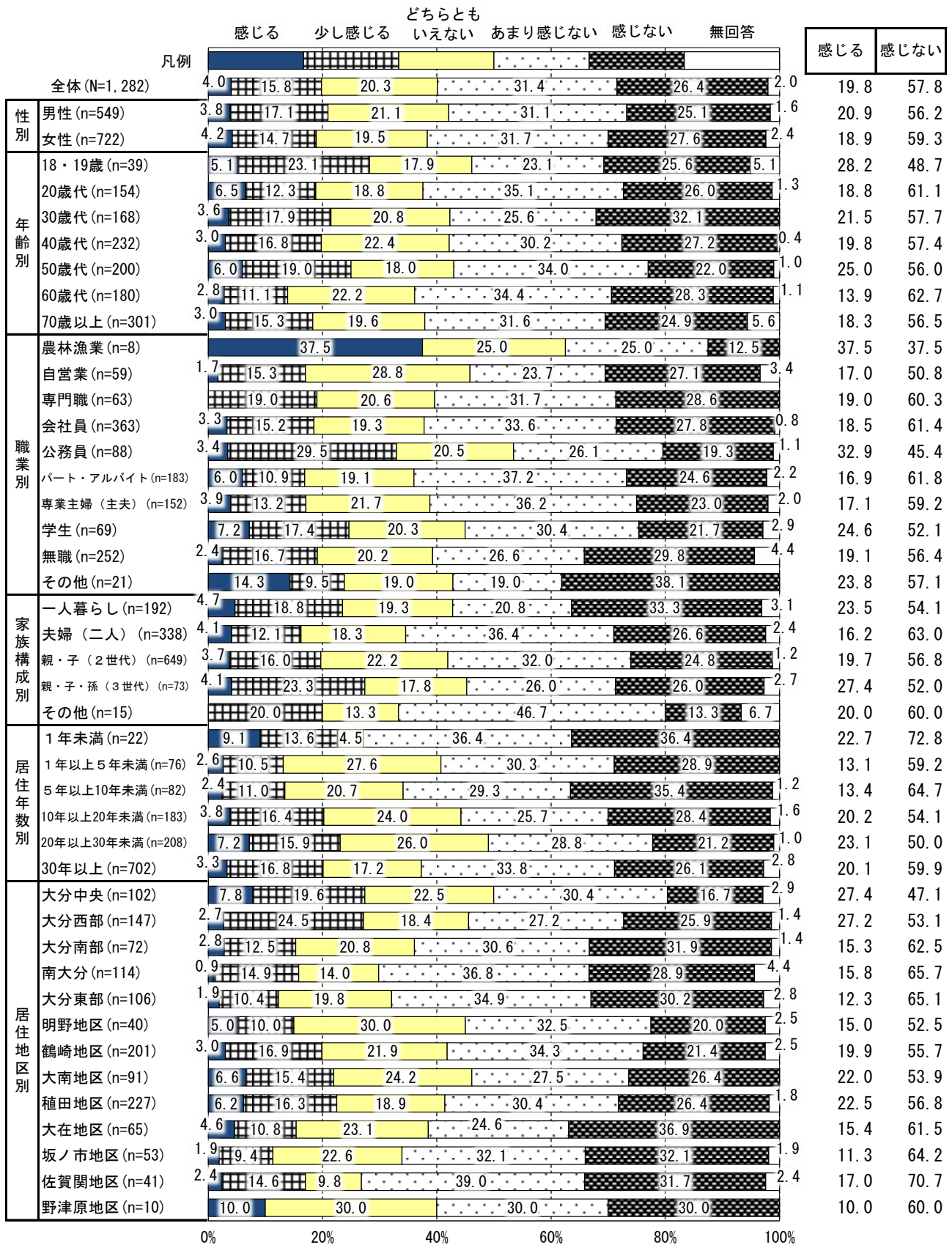
- 年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「60 歳代」が最も高くなっています。

国際交流する機会が身近にあると感じられるか（全体）



全体 (N=1,282)
【感じる=19.8%】
【感じない=57.8%】

国際交流する機会が身近にあると感じられるか（属性別）



(11) 公共施設について

①公共施設の利用頻度

問 5 (11) ア あなたが普段利用している公共施設の種類と頻度を教えてください。
(1つずつ選んでください)

公共施設の利用頻度として、利用していると回答の多かった施設は「公民館・ホール施設」が約30%で一番多く、次いで「図書館」が約25%、「産業・観光施設」が約18%となっています。

【属性別特徴】

公民館・ホール施設

●利用者は全体の30.6%となっており、年齢別に見ると70歳以上が最多となっています。

図書館（大分市保有のもの※図書室含む）

●利用者は全体の24.7%となっています。

社会教育施設

●利用者は全体の14.1%となっています。

スポーツ・レクリエーション施設

●利用者は全体の11.0%となっています。

子育て支援施設

●利用者は全体の7.0%となっています。

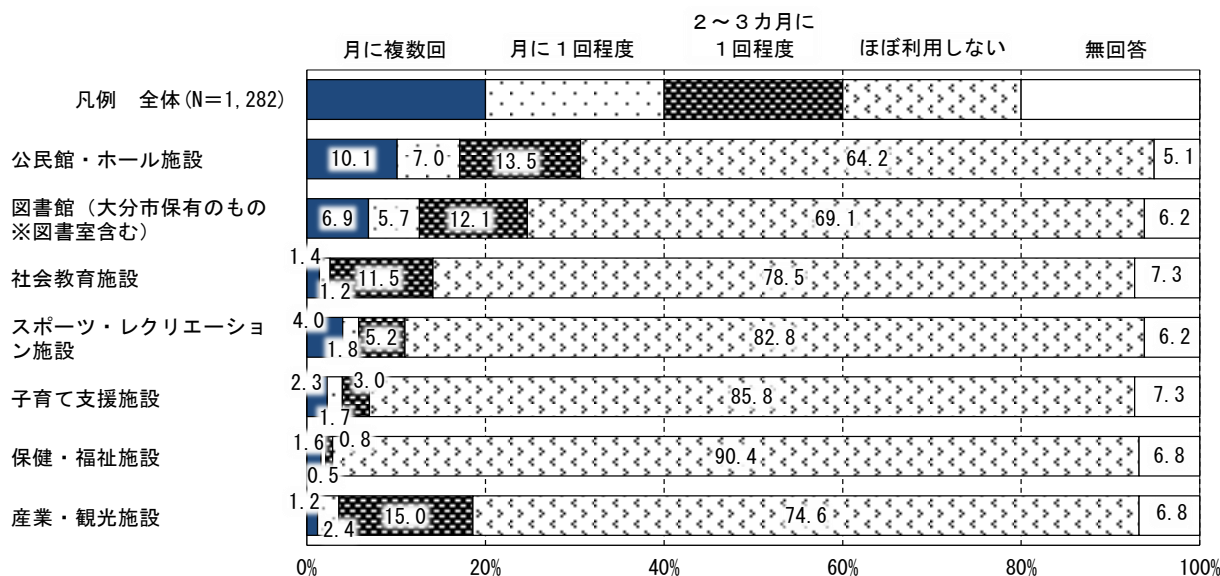
保健・福祉施設

●年齢が進むにつれて、施設利用者の割合が少なくなってきました。

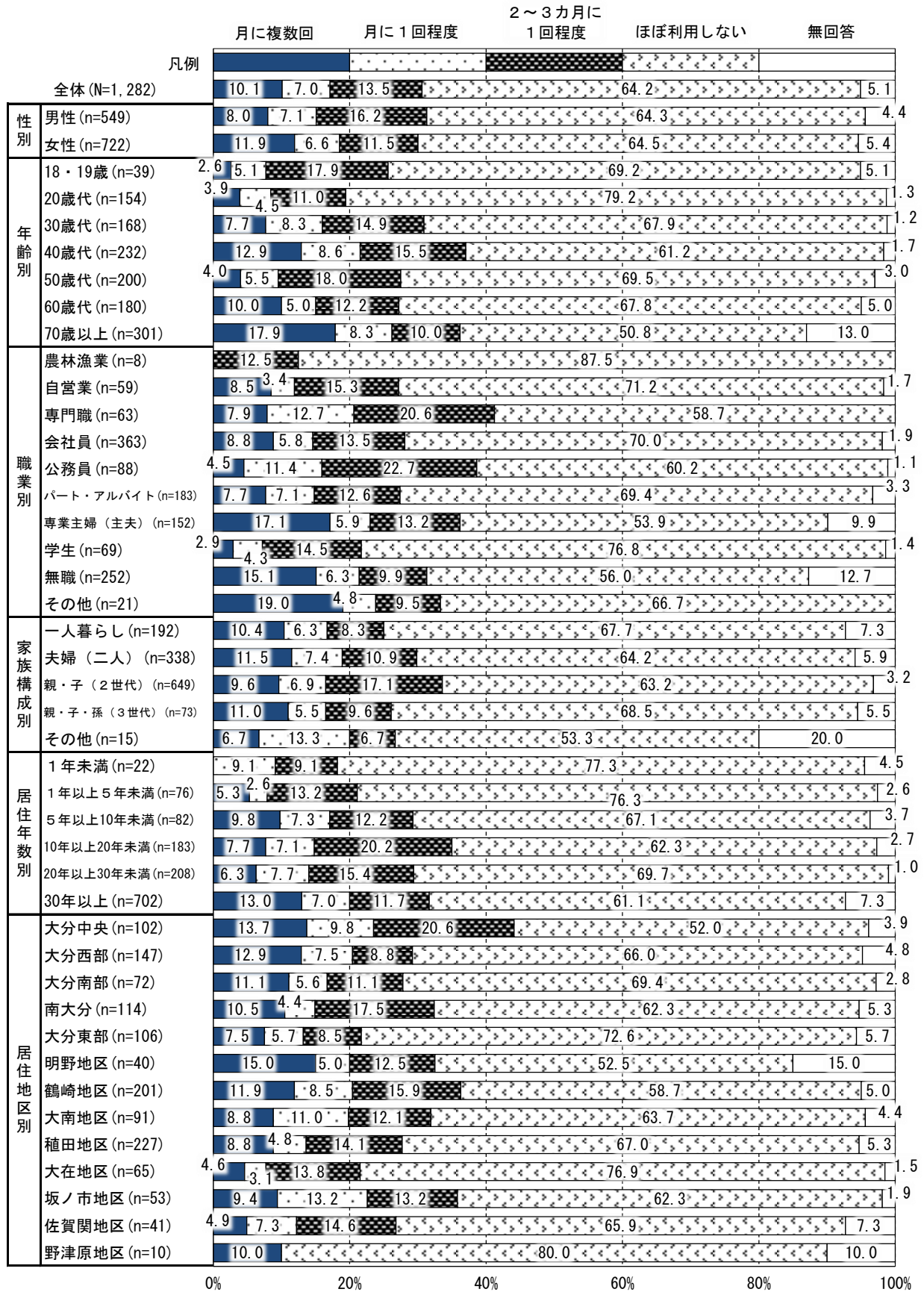
産業・観光施設

●比較的若い世代における利用者割合が多い傾向にあります。

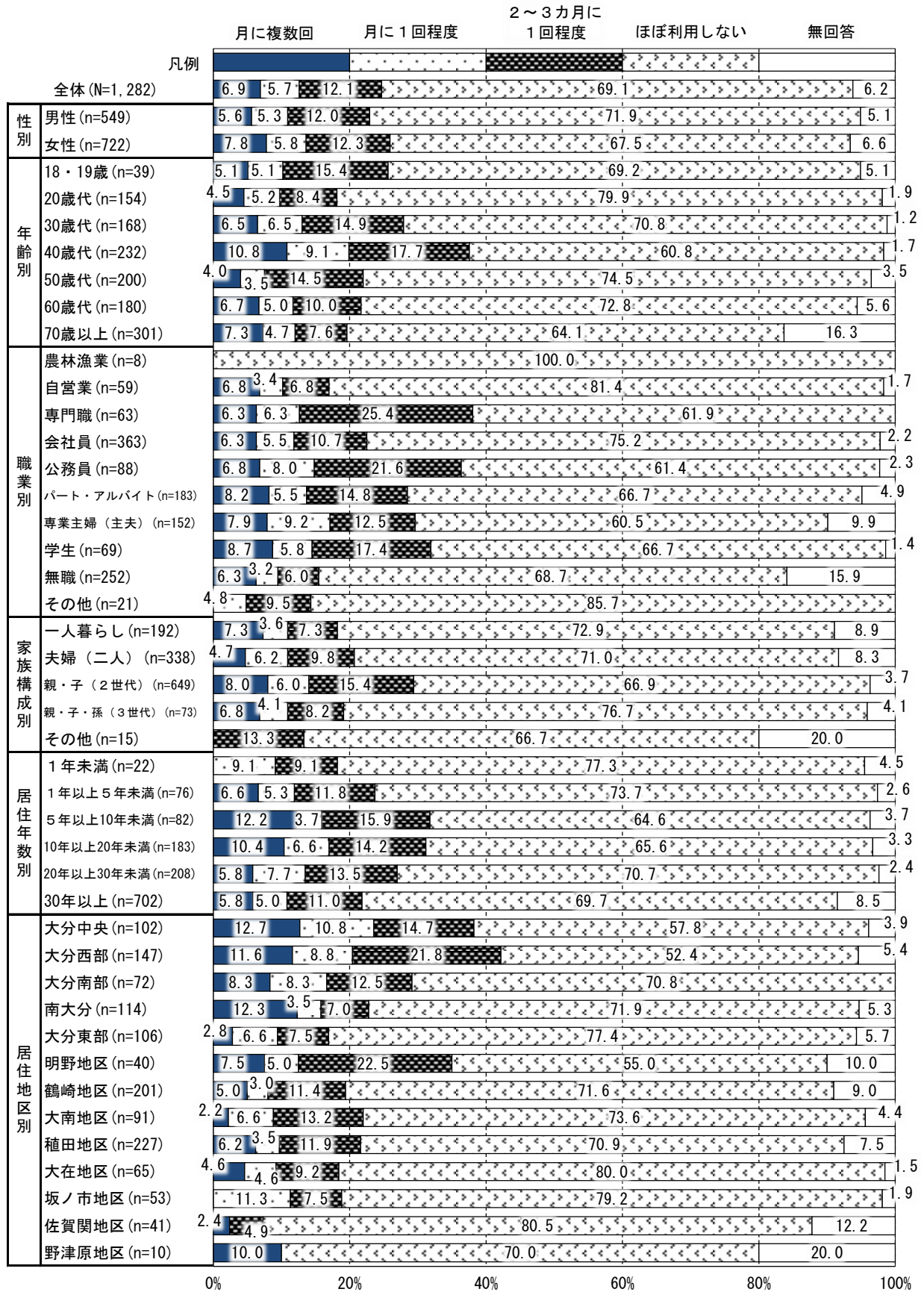
公共施設の利用頻度（全体）



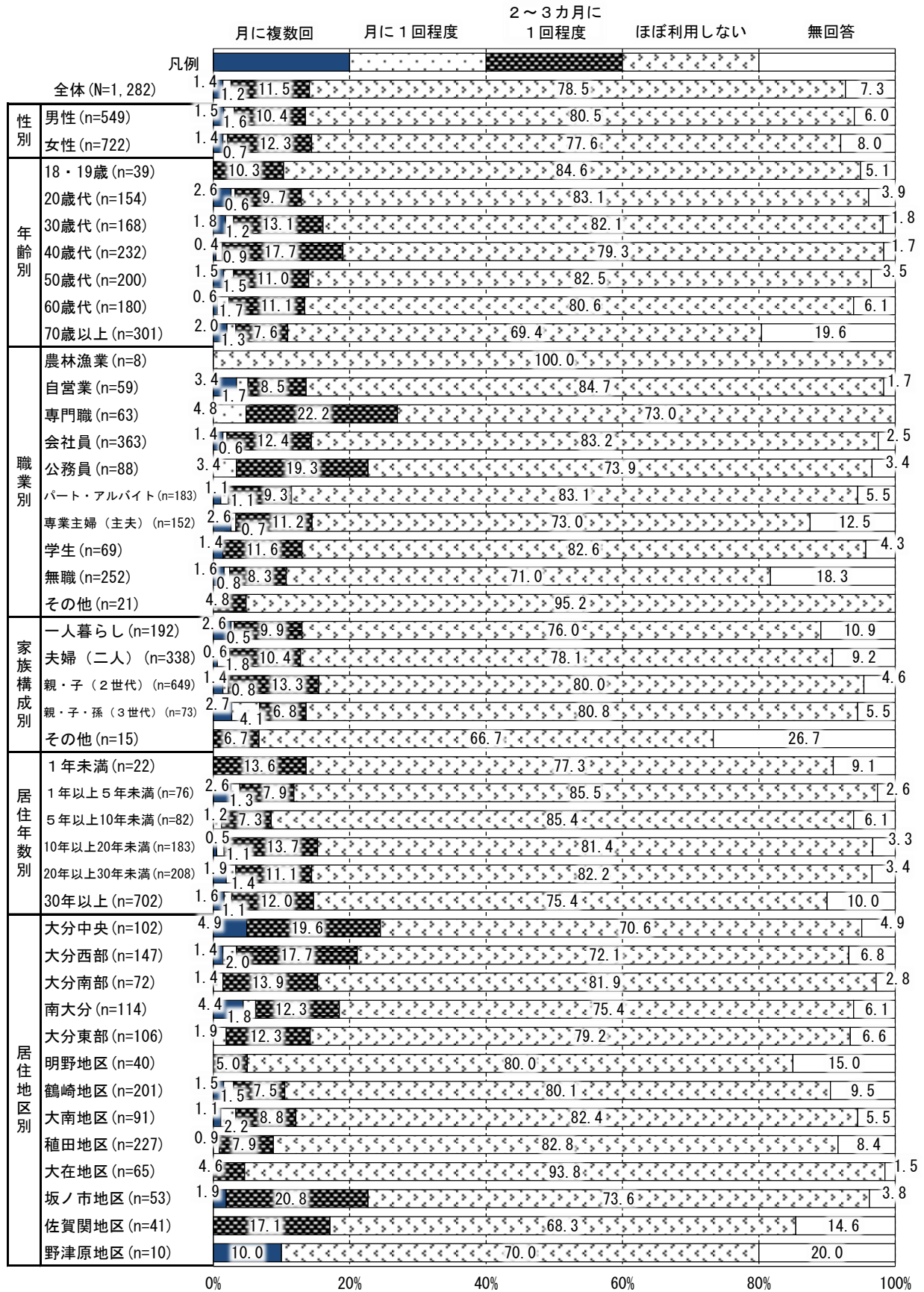
公民館・ホール施設の利用頻度（属性別）



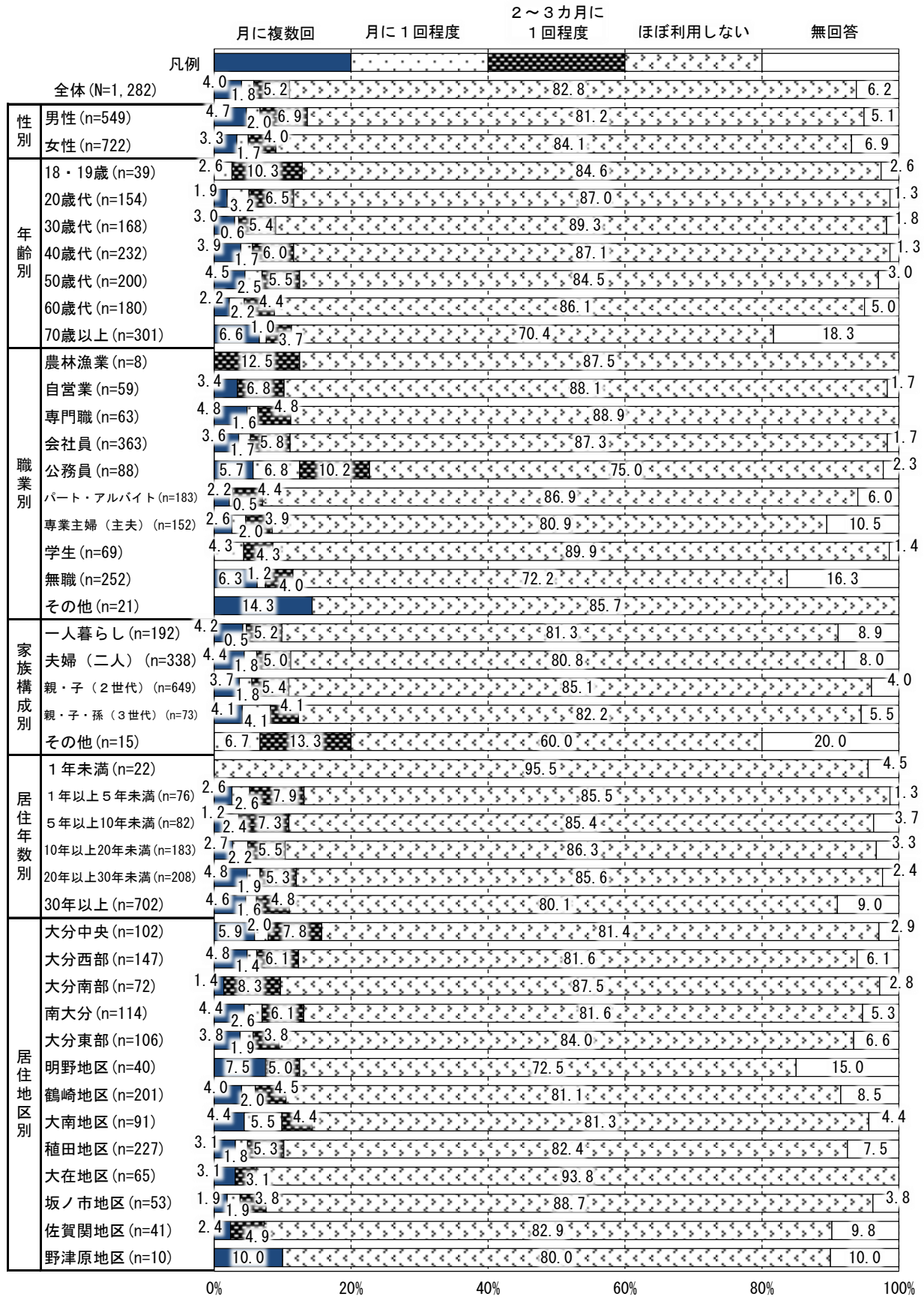
図書館（大分市保有のもの※図書室含む）の利用頻度（属性別）



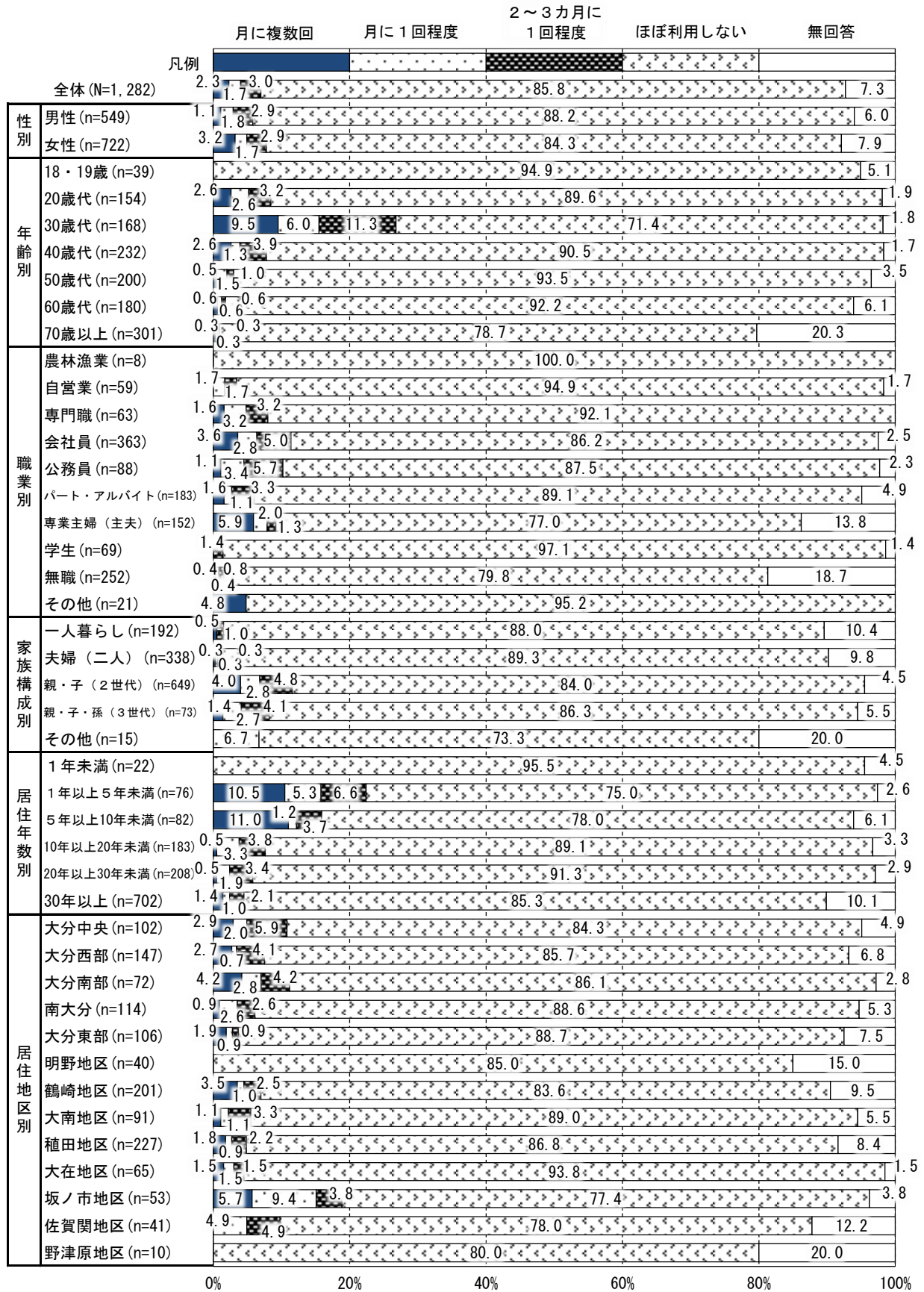
社会教育施設の利用頻度（属性別）



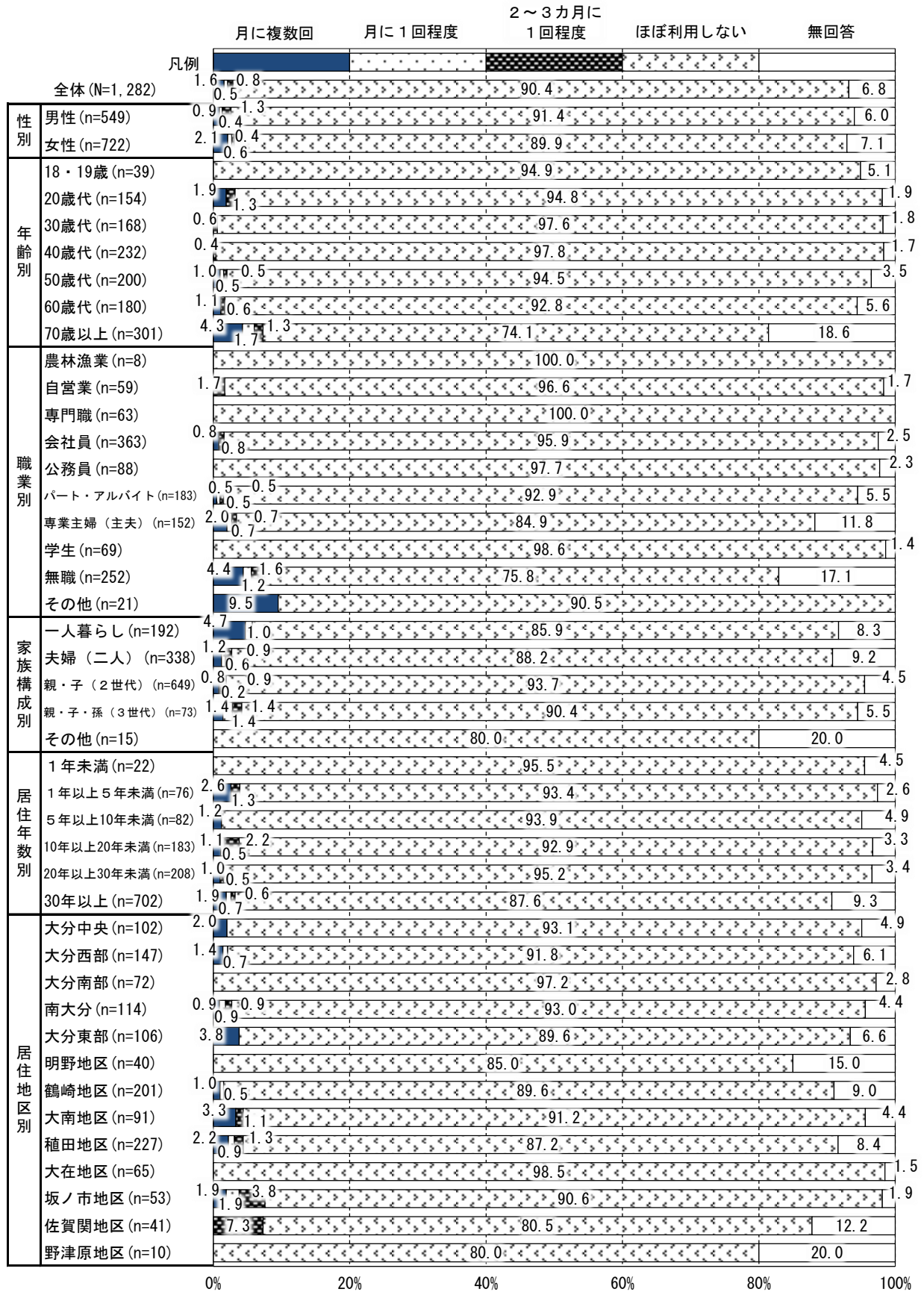
スポーツ・レクリエーション施設の利用頻度（属性別）



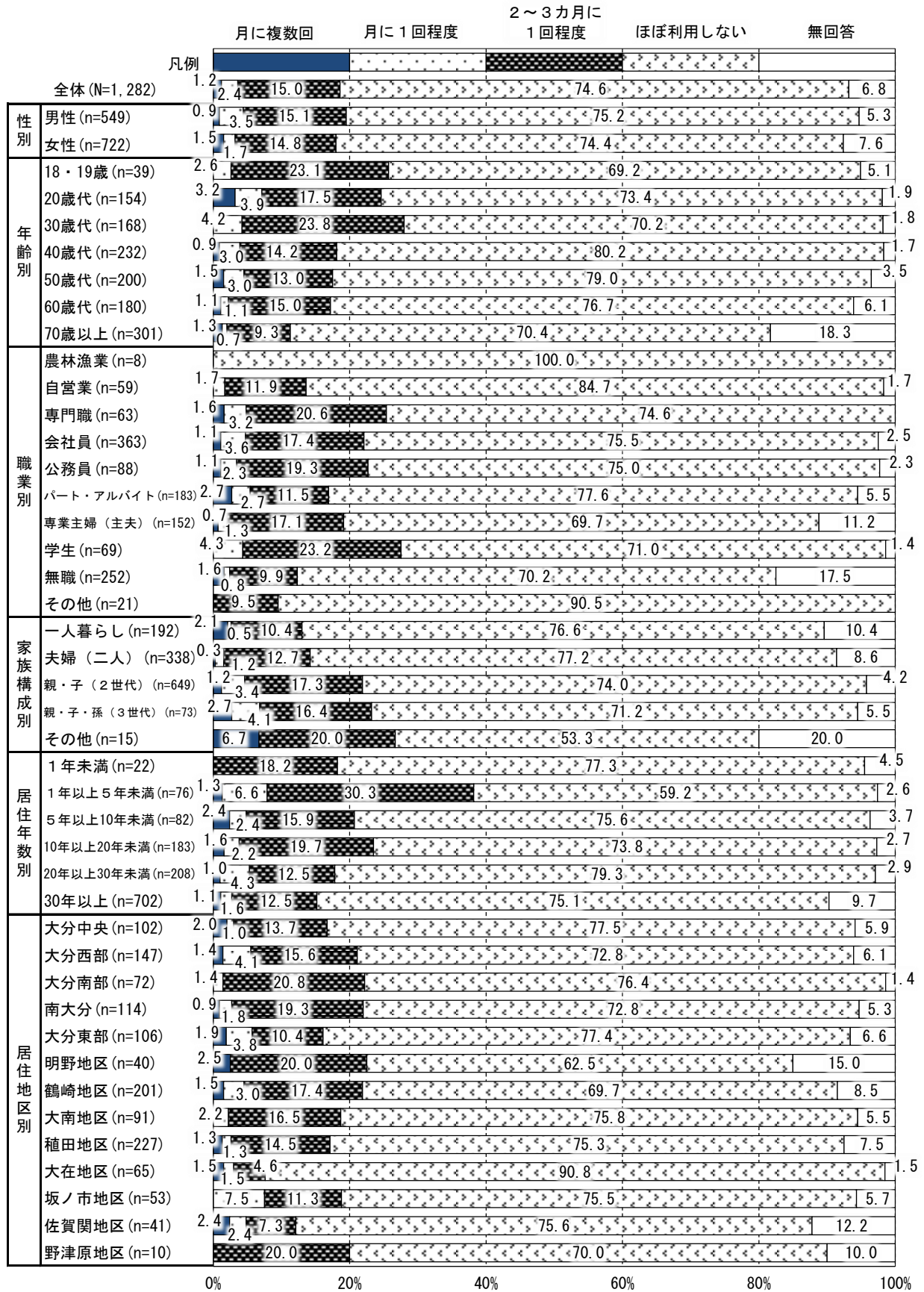
子育て支援施設の利用頻度（属性別）



保健・福祉施設の利用頻度（属性別）



産業・観光施設の利用頻度（属性別）



②公共施設等の縮減についての考え

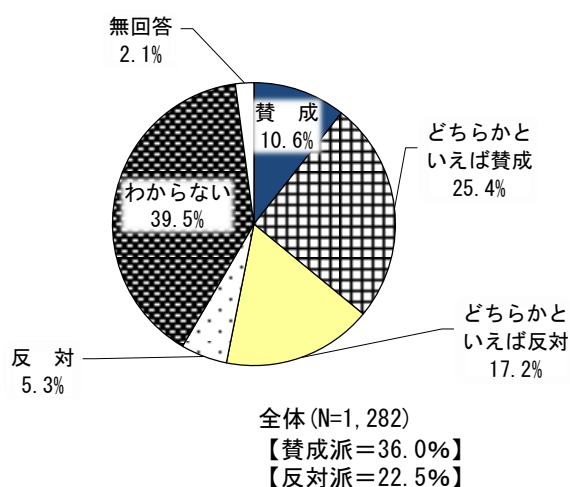
問 5 (11) イ 現在の大分市の計画では、公共施設等の縮減（延床面積の削減）を目標の一つとしていますが、このことについてどのように考えますか。

現在の大分市の計画では、公共施設等の縮減（延床面積の削減）を目標の一つとしていることについてどのように考えるかについて、「賛成」が 10.6%、「どちらかと言えば賛成」が 25.4%で「賛成派」は 36.0%、「反対」が 5.3%、「どちらかと言えば反対」が 17.2%で「反対派」は 22.5%となっています。

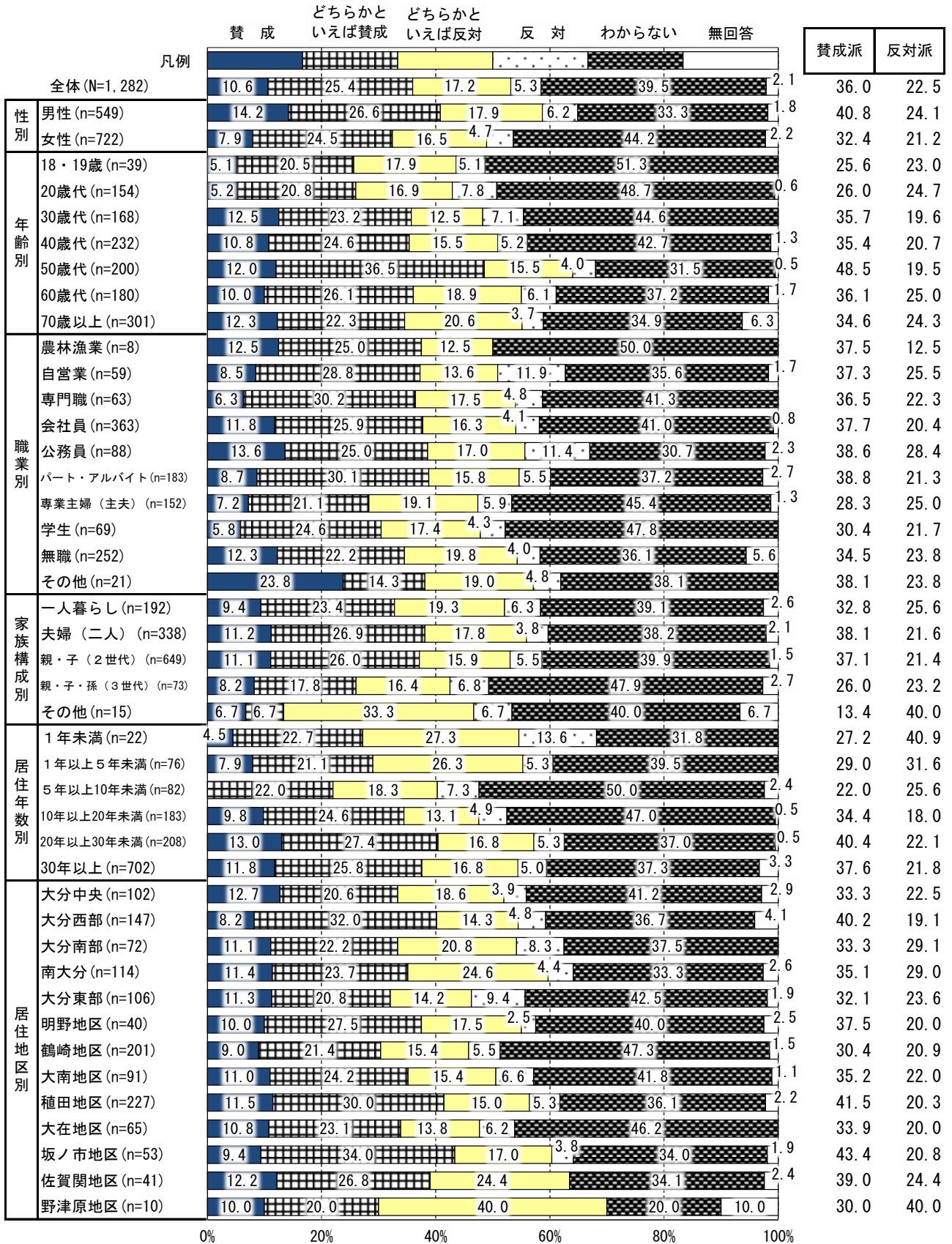
【属性別特徴】

- 各世代においても賛成派の方が多い傾向にあり、特に 50 歳代において賛成派が反対派に比べ、29%多い状況となっています。

公共施設等の縮減についての考え（全体）



公共施設等の縮減についての考え（属性別）



③今後の公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきと考えるか

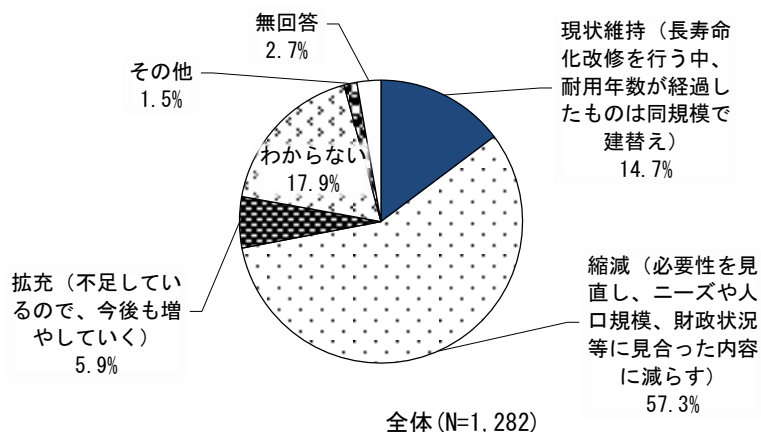
問 5 (11) ウ 今後の少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少などにより、大幅な税収等の増加が見込まれない中で、将来全ての公共施設の在り方について考えていく必要があります。そこで、今後の公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきと考えるかを教えてください。

今後の公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきと考えるかについて、「現状維持（長寿命化改修を行う中、耐用年数が経過したものは同規模で建替え）」が 14.7%、「縮減（必要性を見直し、ニーズや人口規模、財政状況等に見合った内容に減らす）」が 57.3%、「拡充（不足しているので、今後も増やしていく）」が 5.9%、「わからない」が 17.9%となっています。

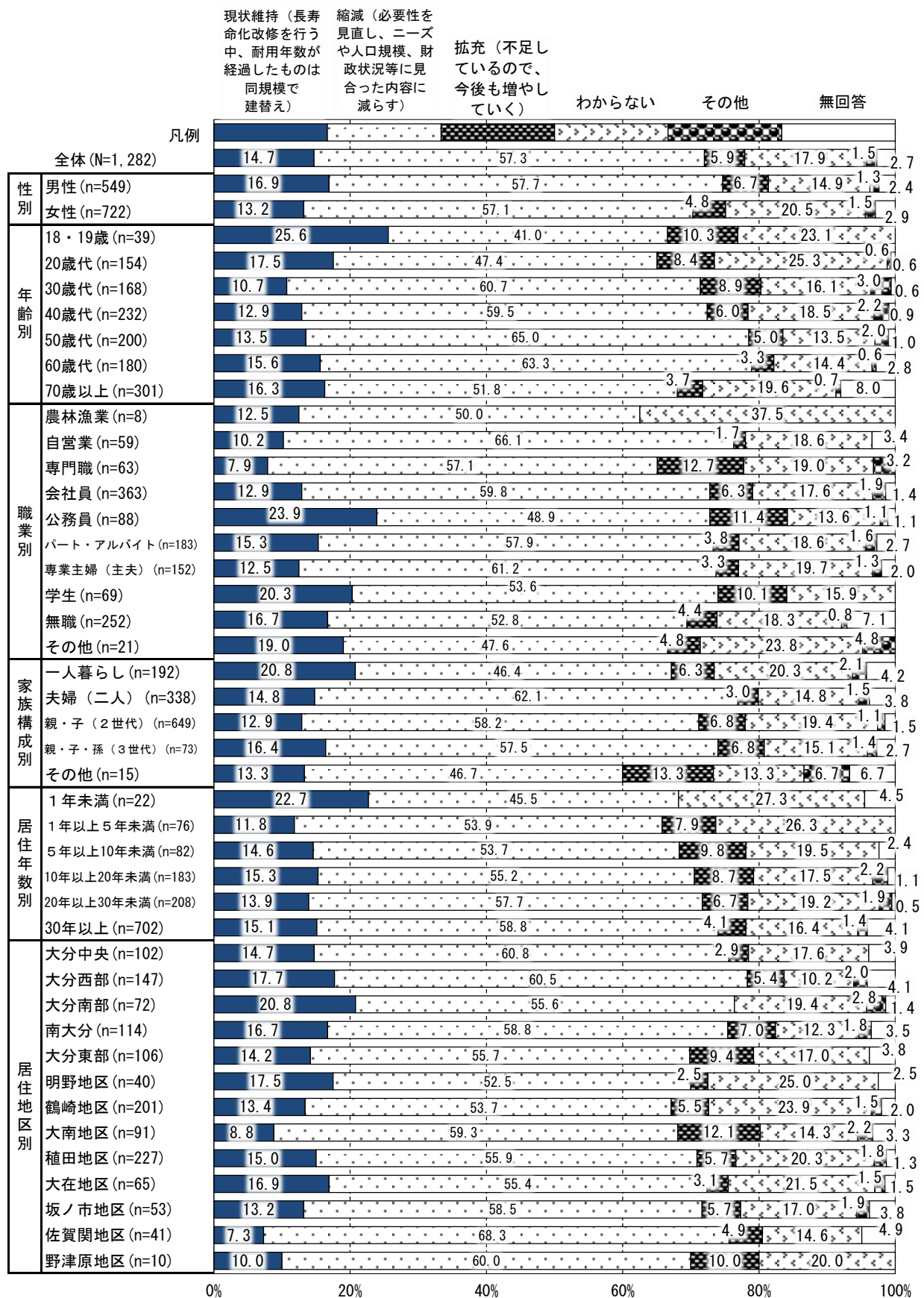
【属性別特徴】

- どの世代でも、縮減と回答した人の割合が最も高く、年齢別でみると 30 歳代から 60 歳代で縮減と回答した人の割合が概ね 60%以上となっています。

今後の公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきと考えるか（全体）



今後の公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきと考えるか（属性別）



④優先的に残す必要がある公共施設

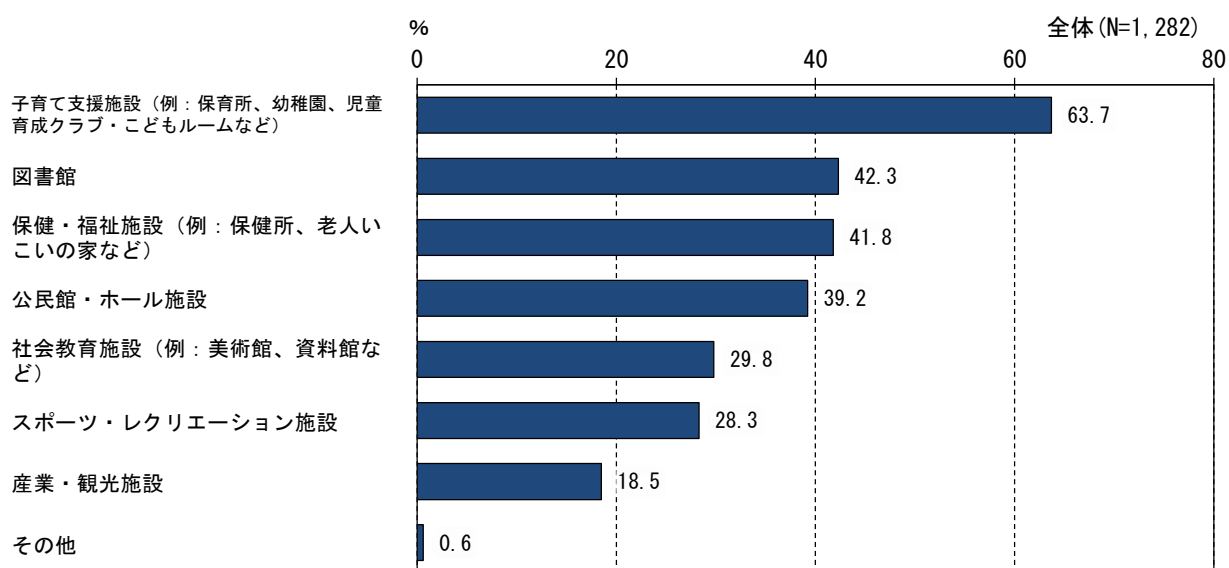
問 5 (11) エ 優先的に残す必要がある公共施設はどれだと考えますか。
(3つまで選んでください)

優先的に残す必要がある公共施設はどれだを考えるかについて、「子育て支援施設（例：保育所、幼稚園、児童育成クラブ・こどもルームなど）」が63.7%と最も高く、次いで「図書館」が42.3%、「保健・福祉施設（例：保健所、老人いこいの家など）」が41.8%となっています。

【属性別特徴】

●70 歳以上では「公民館・ホール施設」が 58.5%と最も高くなっていますが、その他の年代では「子育て支援施設」が約 60%以上と、次点の施設と比較し 10%以上高くなっています。

優先的に残す必要がある公共施設（全体）



優先的に残す必要がある公共施設（属性別）

単位：％		サンプル数	子育て支援施設（例：保育園・幼稚園・こどもルームなど）	図書館	保健・福祉施設（例：保健所、老人いこいの家など）	公民館・ホール施設	美術館、資料館など	社会教育施設（例：スポーツ・レクリエーション施設）	産業・観光施設	その他	無回答
全 体		1,282	63.7	42.3	41.8	39.2	29.8	28.3	18.5	0.6	1.6
性別	男 性	549	61.0	37.2	41.7	39.0	27.7	31.7	20.4	0.9	2.0
	女 性	722	65.5	46.1	42.0	39.6	31.6	25.6	17.0	0.4	1.4
年齢別	18・19歳	39	59.0	43.6	30.8	23.1	35.9	41.0	28.2	—	—
	20歳代	154	70.1	44.2	37.0	23.4	20.8	23.4	27.3	—	0.6
	30歳代	168	80.4	47.6	33.3	26.8	31.5	26.2	23.2	0.6	0.6
	40歳代	232	63.8	44.4	37.5	31.9	31.5	31.5	24.6	0.9	0.4
	50歳代	200	62.5	40.5	42.0	38.0	28.0	28.5	15.5	1.0	1.0
	60歳代	180	67.8	40.0	47.8	47.2	30.0	35.6	11.7	0.6	0.6
	70歳以上	301	49.8	39.2	49.5	58.5	32.9	23.9	11.3	0.7	5.0
職業別	農林漁業	8	50.0	12.5	50.0	37.5	50.0	25.0	62.5	—	—
	自営業	59	61.0	39.0	30.5	30.5	25.4	33.9	27.1	—	1.7
	専門職	63	74.6	44.4	57.1	27.0	33.3	34.9	9.5	—	—
	会社員	363	70.0	39.7	39.4	31.1	25.9	28.9	26.2	—	0.6
	公務員	88	70.5	45.5	33.0	34.1	30.7	31.8	13.6	3.4	1.1
	パート・アルバイト	183	61.2	47.5	43.7	37.2	30.6	29.0	13.7	—	2.2
	専業主婦（主夫）	152	66.4	50.7	36.2	50.7	35.5	17.1	14.5	0.7	0.7
	学 生	69	62.3	52.2	31.9	23.2	31.9	29.0	30.4	—	—
	無 職	252	51.6	35.7	50.8	56.7	30.2	28.6	9.9	1.6	4.8
	その他	21	61.9	38.1	38.1	38.1	28.6	42.9	19.0	—	—
家族構成別	一人暮らし	192	54.7	43.8	42.7	43.8	29.2	27.1	18.2	—	2.6
	夫婦（二人）	338	60.1	40.2	45.0	45.6	32.5	28.7	15.4	0.6	1.8
	親・子（2世代）	649	69.0	41.9	41.0	35.7	29.1	28.0	20.2	0.9	0.8
	親・子・孫（3世代）	73	56.2	47.9	30.1	37.0	26.0	37.0	16.4	—	4.1
	その他	15	80.0	53.3	40.0	26.7	20.0	13.3	20.0	—	6.7
居住年数別	1年未満	22	54.5	72.7	27.3	27.3	45.5	13.6	9.1	—	—
	1年以上5年未満	76	68.4	42.1	34.2	18.4	28.9	30.3	22.4	—	1.3
	5年以上10年未満	82	72.0	48.8	29.3	28.0	28.0	26.8	26.8	—	1.2
	10年以上20年未満	183	65.0	47.5	36.1	29.0	25.1	32.2	23.0	—	1.6
	20年以上30年未満	208	68.3	43.3	45.7	31.7	27.4	23.1	21.6	0.5	—
	30年以上	702	60.8	38.9	44.7	48.4	31.5	29.3	15.2	1.0	2.3
居住地区別	大分中央	102	63.7	51.0	39.2	39.2	30.4	34.3	11.8	—	1.0
	大分西部	147	62.6	57.1	36.7	40.8	27.9	25.9	13.6	0.7	1.4
	大分南部	72	66.7	52.8	40.3	33.3	29.2	23.6	22.2	—	—
	南大分	114	64.9	50.0	36.8	31.6	32.5	26.3	21.1	—	2.6
	大分東部	106	63.2	38.7	43.4	34.9	32.1	25.5	21.7	0.9	2.8
	明野地区	40	55.0	45.0	27.5	40.0	20.0	35.0	12.5	—	2.5
	鶴崎地区	201	69.7	32.8	40.8	39.8	30.3	30.3	20.4	1.5	1.5
	大南地区	91	63.7	36.3	52.7	45.1	33.0	24.2	18.7	—	1.1
	植田地区	227	60.4	42.3	46.3	41.0	28.6	28.6	17.6	1.3	2.2
	大在地区	65	58.5	40.0	40.0	41.5	26.2	36.9	23.1	—	—
	坂ノ市地区	53	66.0	28.3	43.4	34.0	30.2	32.1	13.2	—	1.9
	佐賀閑地区	41	61.0	26.8	41.5	53.7	36.6	22.0	26.8	—	2.4
	野津原地区	10	70.0	10.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	—	—

⑤今後、公共施設の削減を検討する必要がある場合、削減すべきだと考える施設

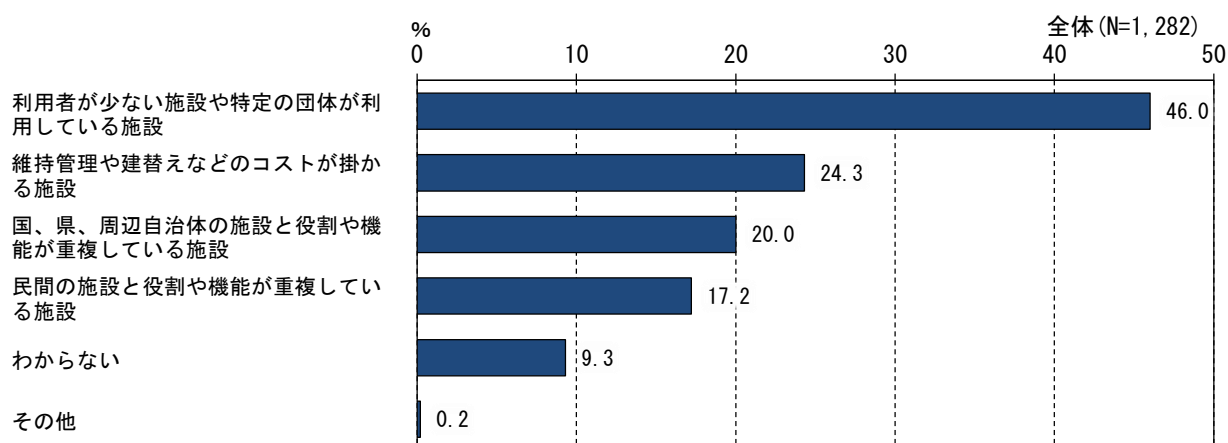
問 5 (11) オ 今後、公共施設の削減を検討する必要がある場合、どのような施設から削減すべきだと考えますか。

今後、公共施設の削減を検討する必要がある場合、どのような施設から削減すべきだと考えるかについて、「利用者が少ない施設や特定の団体が利用している施設」が 46.0%と最も高く、次いで「維持管理や建替えなどのコストが掛かる施設」が 24.3%、「国、県、周辺自治体の施設と役割や機能が重複している施設」が 20.0%となっています。

【属性別特徴】

- すべての年代で「利用者が少ない施設や特定の団体が利用している施設」の割合が最も高く、次点の内容と比較し 10%以上高くなっています。

今後、公共施設の削減を検討する必要がある場合、削減すべきだと考える施設（全体）



今後、公共施設の削減を検討する必要がある場合、削減すべきだと考える施設（属性別）

単位：％		サ ン プ ル 数	る 体 施 設 が 利 用 者 が 少 な い 団 体	施 設 が 利 用 者 が 少 な い 団 体	利 用 者 が 少 な い 団 体	が え 維 持 な る の 理 由 が 建 替 え の コ ス ト が 高 い	割 り 合 わ ない 機 能 が 重 複 な り	治 理 機 関 の 機 能 が 重 複 な り	国 の 機 関 の 機 能 が 重 複 な り	割 り 合 わ ない 機 能 が 重 複 な り	民 間 の 機 関 の 機 能 が 重 複 な り	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体		1,282	46.0	24.3	20.0	17.2	9.3	0.2	2.4					
性 別	男 性	549	44.4	23.7	22.8	18.4	8.0	0.4	2.6					
	女 性	722	47.2	24.5	18.1	16.3	10.2	0.1	2.1					
年 齢 別	18・19歳	39	35.9	17.9	15.4	12.8	15.4	—	2.6					
	20歳代	154	43.5	18.8	14.3	14.9	15.6	—	0.6					
	30歳代	168	50.0	15.5	17.9	13.7	7.1	—	1.2					
	40歳代	232	41.8	20.7	16.8	18.5	9.9	0.4	0.9					
	50歳代	200	46.5	22.5	21.5	18.0	6.5	—	0.5					
	60歳代	180	50.0	29.4	25.6	15.6	6.1	0.6	3.3					
	70歳以上	301	47.2	32.6	23.3	20.3	9.6	0.3	5.6					
職 業 別	農林漁業	8	25.0	75.0	25.0	—	—	—	—					
	自営業	59	49.2	30.5	32.2	11.9	13.6	—	—					
	専門職	63	50.8	22.2	14.3	17.5	3.2	1.6	—					
	会社員	363	44.1	20.9	17.6	18.7	9.4	—	1.1					
	公務員	88	44.3	8.0	22.7	23.9	8.0	—	—					
	パート・アルバイト	183	47.0	26.8	19.1	16.4	9.8	0.5	1.6					
	専業主婦（主夫）	152	50.0	31.6	19.7	15.1	7.2	—	0.7					
	学 生	69	47.8	17.4	13.0	11.6	10.1	—	2.9					
	無 職	252	46.8	26.2	24.6	17.1	10.3	0.4	6.7					
	その他	21	38.1	23.8	4.8	19.0	19.0	—	4.8					
家 族 構 成 別	一人暮らし	192	44.3	23.4	17.7	18.8	16.1	0.5	1.6					
	夫婦（二人）	338	47.0	30.2	24.9	21.6	5.0	0.3	3.0					
	親・子（2世代）	649	46.7	22.0	19.3	14.5	8.8	0.2	2.0					
	親・子・孫（3世代）	73	42.5	19.2	13.7	15.1	15.1	—	4.1					
	その他	15	40.0	—	13.3	26.7	13.3	—	6.7					
居 住 年 数 別	1年未満	22	36.4	13.6	13.6	22.7	18.2	—	—					
	1年以上5年未満	76	46.1	19.7	17.1	11.8	11.8	—	—					
	5年以上10年未満	82	42.7	18.3	9.8	18.3	12.2	—	1.2					
	10年以上20年未満	183	46.4	13.1	18.6	17.5	12.6	—	1.6					
	20年以上30年未満	208	43.3	25.0	19.2	18.3	8.7	1.0	1.9					
	30年以上	702	47.6	28.2	22.5	17.1	7.5	0.1	3.1					
居 住 地 区 別	大分中央	102	44.1	26.5	22.5	17.6	7.8	1.0	2.0					
	大分西部	147	56.5	19.0	16.3	17.7	8.2	0.7	0.7					
	大分南部	72	50.0	13.9	19.4	19.4	6.9	—	4.2					
	南大分	114	46.5	19.3	21.1	14.9	13.2	—	3.5					
	大分東部	106	37.7	29.2	16.0	20.8	11.3	—	1.9					
	明野地区	40	45.0	30.0	40.0	17.5	2.5	—	—					
	鶴崎地区	201	43.3	24.4	19.4	19.9	8.5	—	3.0					
	大南地区	91	46.2	28.6	18.7	14.3	8.8	—	3.3					
	植田地区	227	48.9	22.5	23.3	13.7	8.4	—	3.1					
	大在地区	65	47.7	21.5	15.4	18.5	12.3	1.5	1.5					
	坂ノ市地区	53	43.4	26.4	18.9	17.0	11.3	—	—					
	佐賀関地区	41	34.1	46.3	17.1	17.1	7.3	—	2.4					
	野津原地区	10	20.0	20.0	10.0	30.0	20.0	—	—					

(12) 子どもたちの学びを支える教育環境について

①児童生徒一人一人の状況に応じた教育的支援が実施されていると感じるか

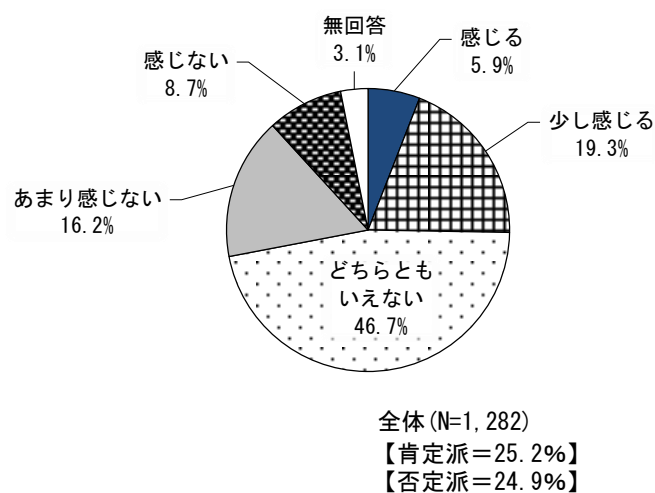
問5 (12) ア 児童生徒一人一人の状況に応じた教育的支援が実施されていると感じますか。

児童生徒一人一人の状況に応じた教育的支援が実施されていると感じるかについて、「感じる」が5.9%、「少し感じる」が19.3%で肯定率25.2%、「あまり感じない」が16.2%、「感じない」が8.7%で否定率は24.9%となっています。

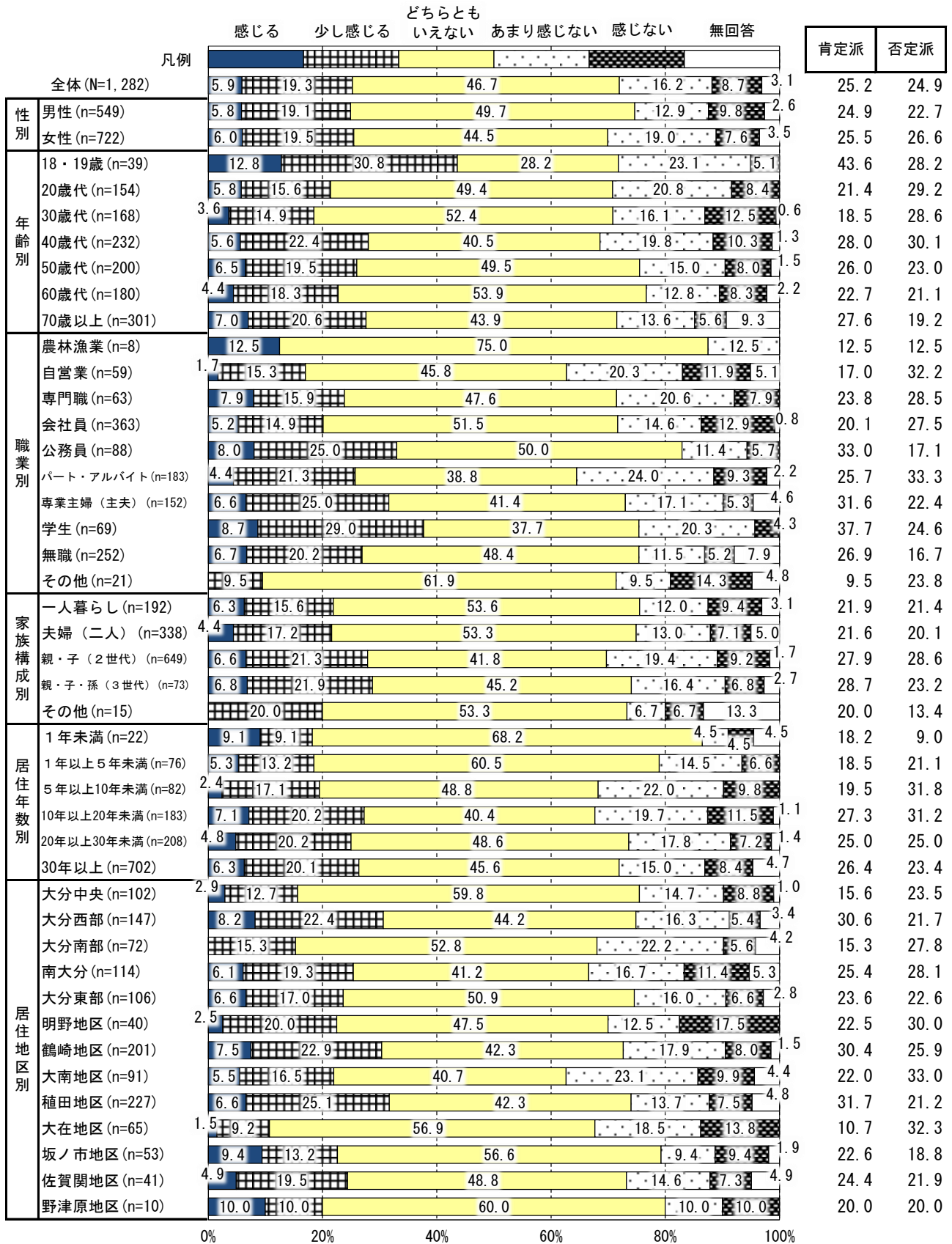
【属性別特徴】

●年齢別でみると、「肯定率」は「18・19歳」が最も高く、「否定率」は「40歳代」が最も高くなっています。

児童生徒一人一人の状況に応じた教育的支援が実施されていると感じるか（全体）



児童生徒一人一人の状況に応じた教育的支援が実施されていると感じるか（属性別）



②時代の変化に対応した教育環境が整備されていると感じるか

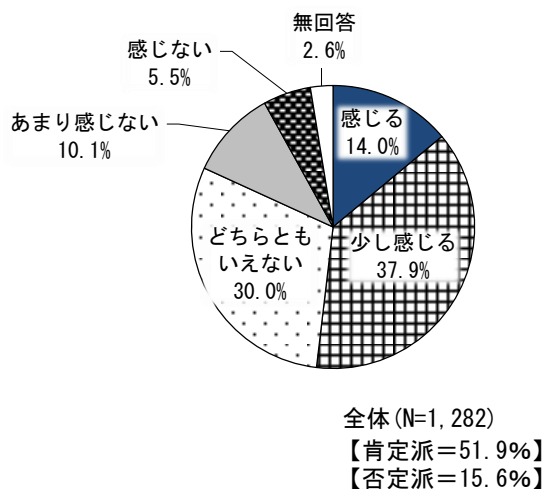
問 5 (12) イ 時代の変化に対応した教育環境が整備されていると感じますか。

時代の変化に対応した教育環境が整備されていると感じるかについて、「感じる」が 14.0%、「少し感じる」が 37.9%で肯定率は 51.9%、「あまり感じない」が 10.1%、「感じない」が 5.5%で否定率は 15.6%となっています。

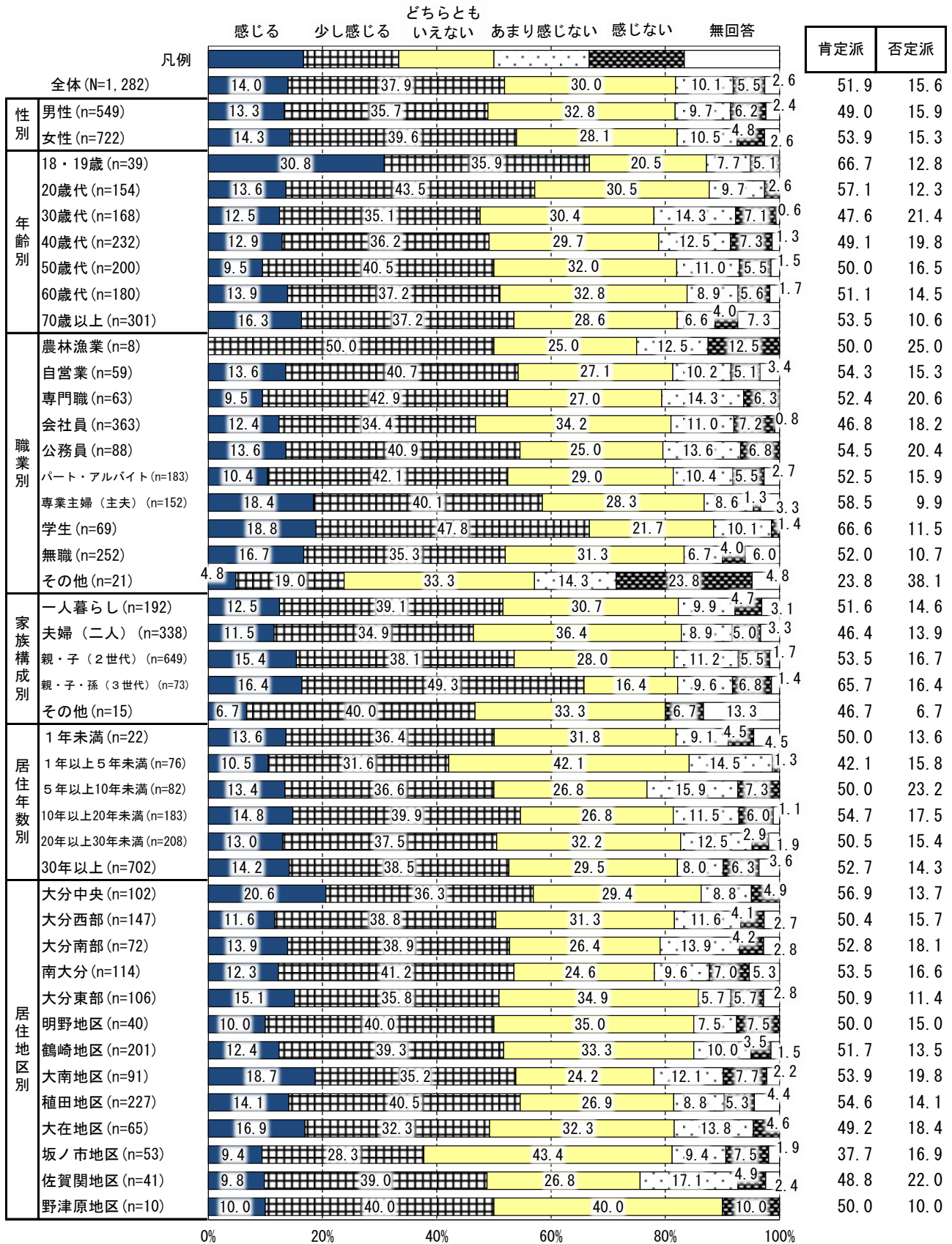
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「30 歳代」が最も高くなっています。

時代の変化に対応した教育環境が整備されていると感じるか（全体）



時代の変化に対応した教育環境が整備されていると感じるか（属性別）



③学校と地域が連携して子どもたちの学びを支えていると感じるか

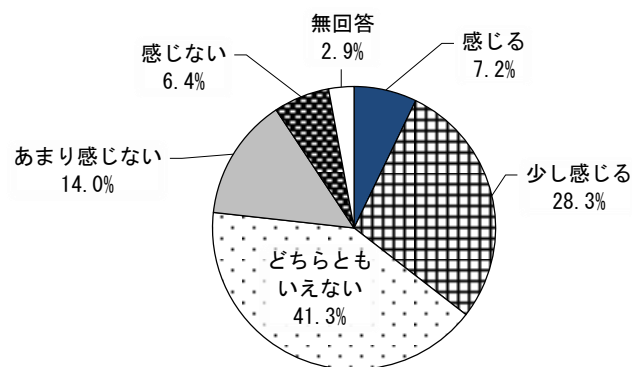
問5 (12) ウ 学校と地域が連携して子どもたちの学びを支えていると感じますか。

学校と地域が連携して子どもたちの学びを支えていると感じるかについて、「感じる」が 7.2%、「少し感じる」が 28.3%で肯定率は 35.5%、「あまり感じない」が 14.0%、「感じない」が 6.4%で否定率は 20.4%となっています。

【属性別特徴】

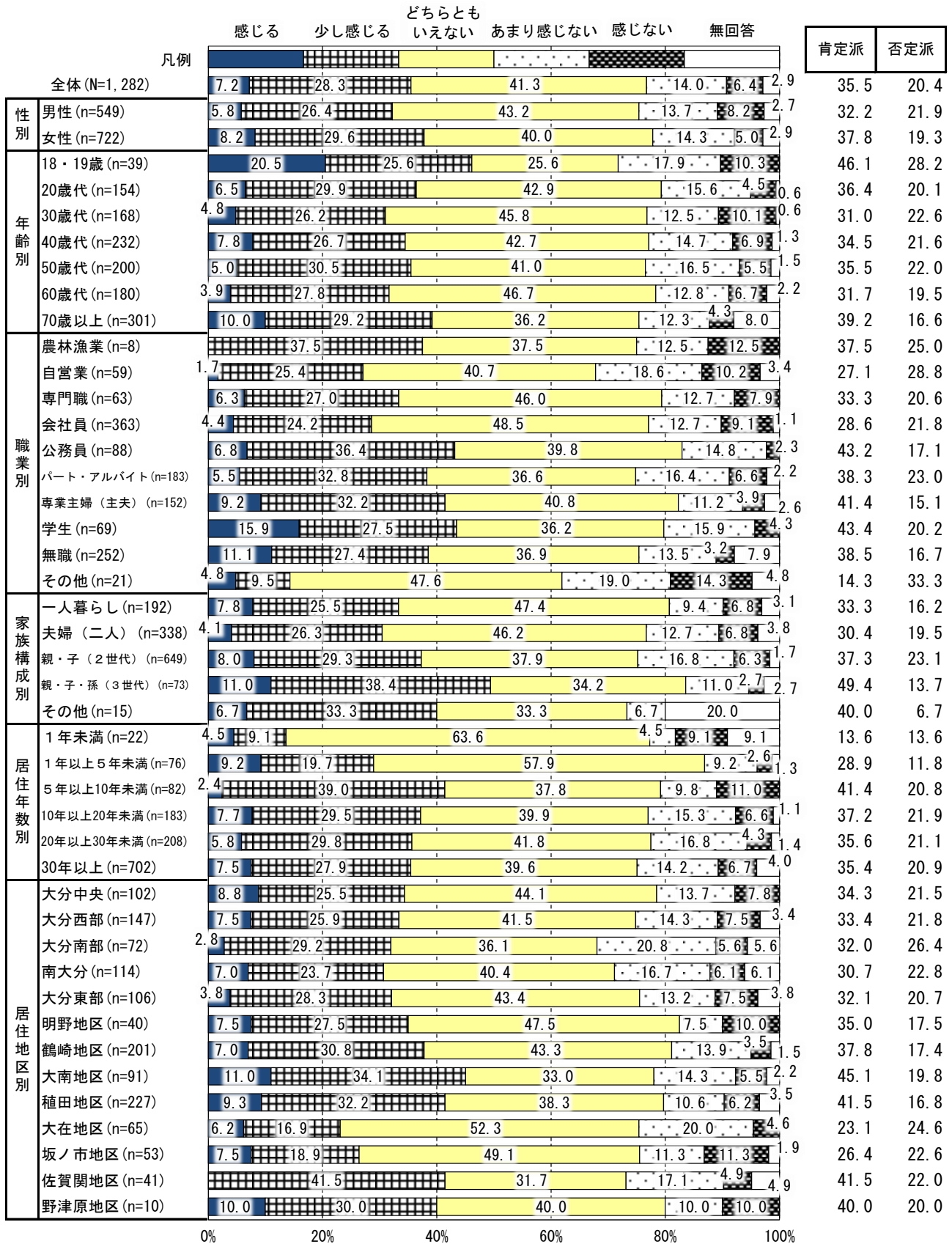
●年齢別でみると、「肯定率」「否定率」とともに「18・19歳」が最も高くなっています。

学校と地域が連携して子どもたちの学びを支えていると感じるか（全体）



全体 (N=1,282)
【肯定派=35.5%】
【否定派=20.4%】

学校と地域が連携して子どもたちの学びを支えていると感じるか（属性別）



④子ども一人一人の個性や才能を見出し、伸ばしていく指導ができていると感じるか

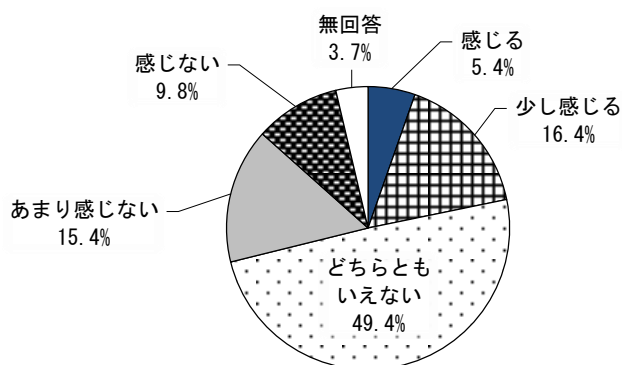
問 5 (12) エ 子ども一人一人の個性や才能を見出し、伸ばしていく指導ができていると感じますか。

子ども一人一人の個性や才能を見出し、伸ばしていく指導ができていると感じるかについて、「感じる」が 5.4%、「少し感じる」が 16.4%で肯定率は 21.8%、「あまり感じない」が 15.4%、「感じない」が 9.8%で否定率は 25.2%となっています。

【属性別特徴】

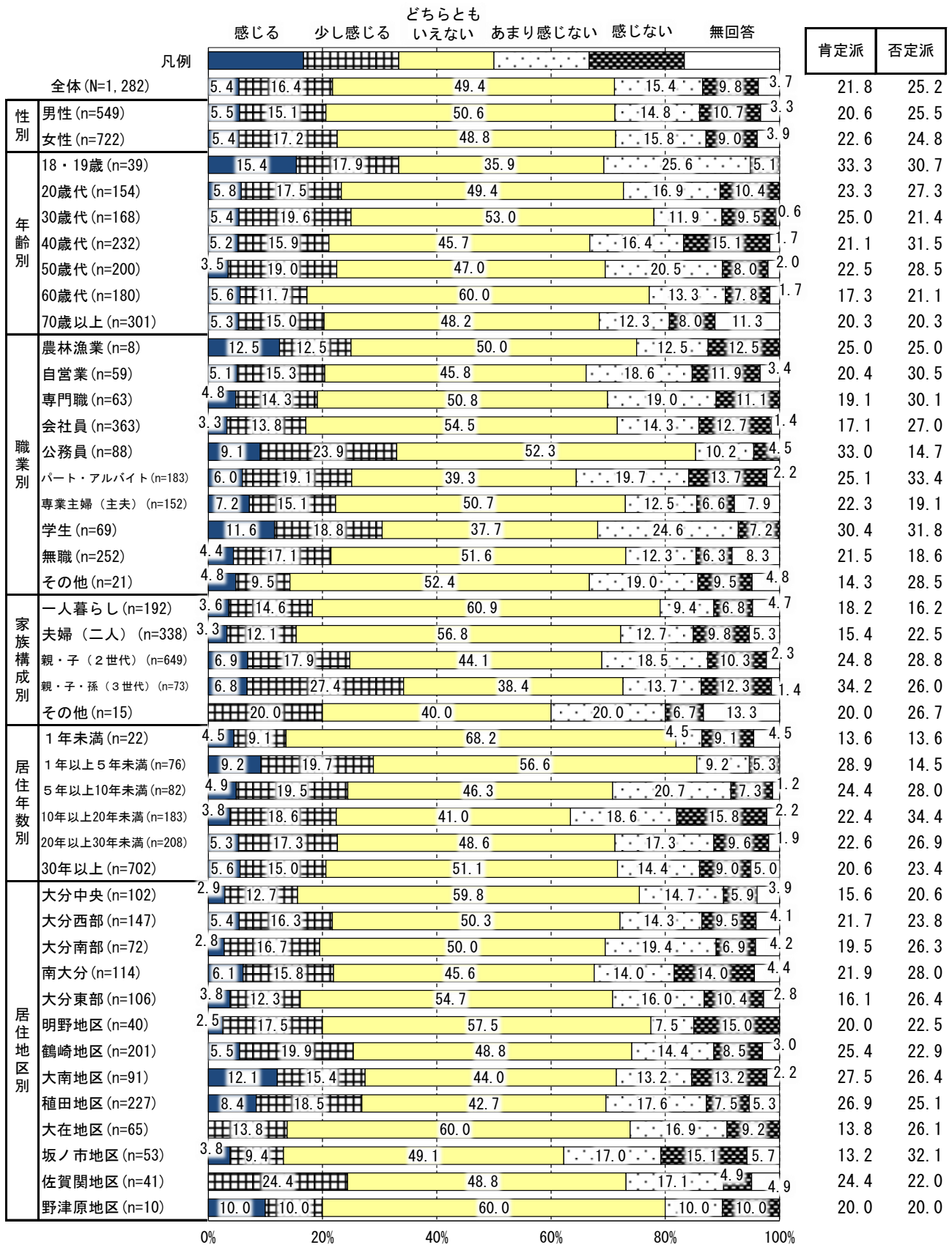
●年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「40 歳代」が最も高くなっています。

子ども一人一人の個性や才能を見出し、伸ばしていく指導ができていると感じるか（全体）



全体 (N=1, 282)
【肯定派=21.8%】
【否定派=25.2%】

子ども一人一人の個性や才能を見出し、伸ばしていく指導ができていると感じるか（属性別）



⑤社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じるか

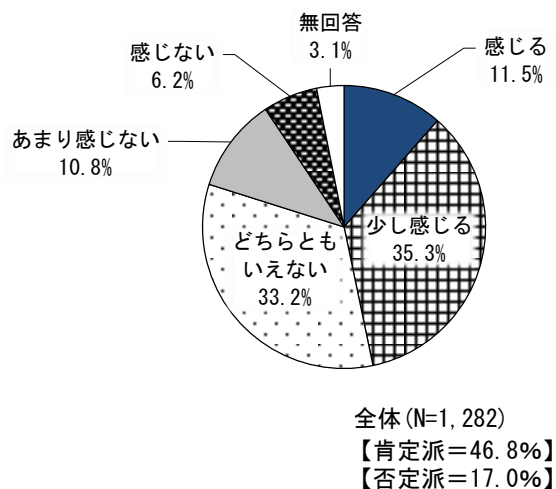
問 5 (12) オ 社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じますか。

社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じるかについて、「感じる」が 11.5%、「少し感じる」が 35.3%で肯定率は 46.8%、「あまり感じない」が 10.8%、「感じない」が 6.2%で否定率は 17.0%となっています。

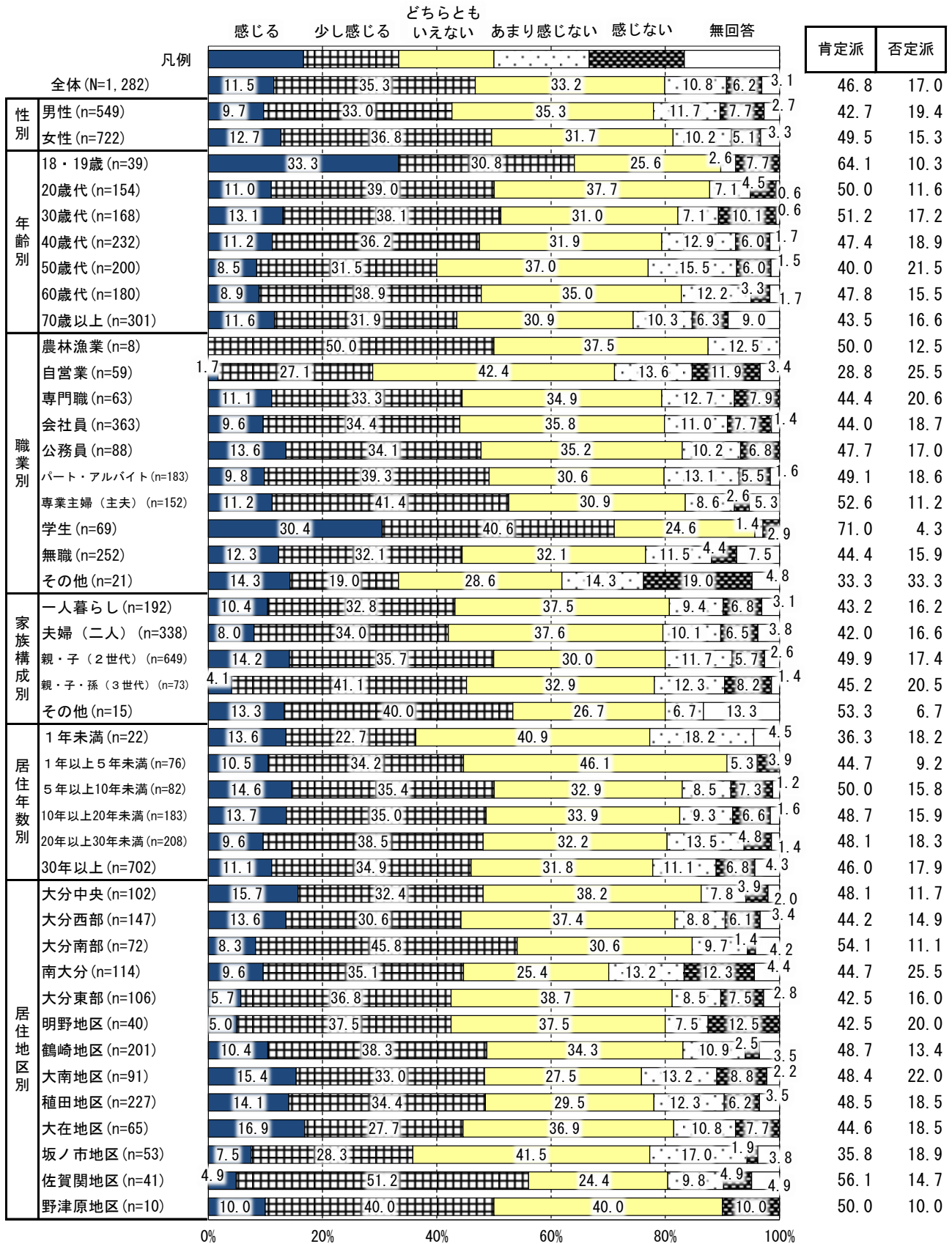
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「50 歳代」が最も高くなっています。

社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じるか（全体）



社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じるか（属性別）



⑥地域社会の中で子どもたちが健全に育成されていると感じるか

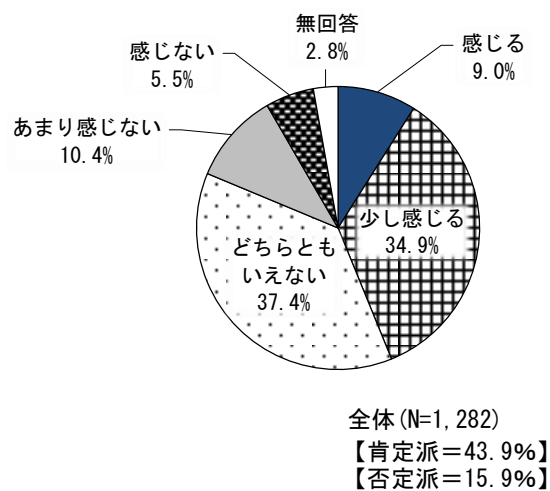
問 5 (12) カ 地域社会の中で子どもたちが健全に育成されていると感じますか。

地域社会の中で子どもたちが健全に育成されていると感じるかについて、「感じる」が 9.0%、「少し感じる」が 34.9%で肯定率は 43.9%、「あまり感じない」が 10.4%、「感じない」が 5.5%で否定率は 15.9%となっています。

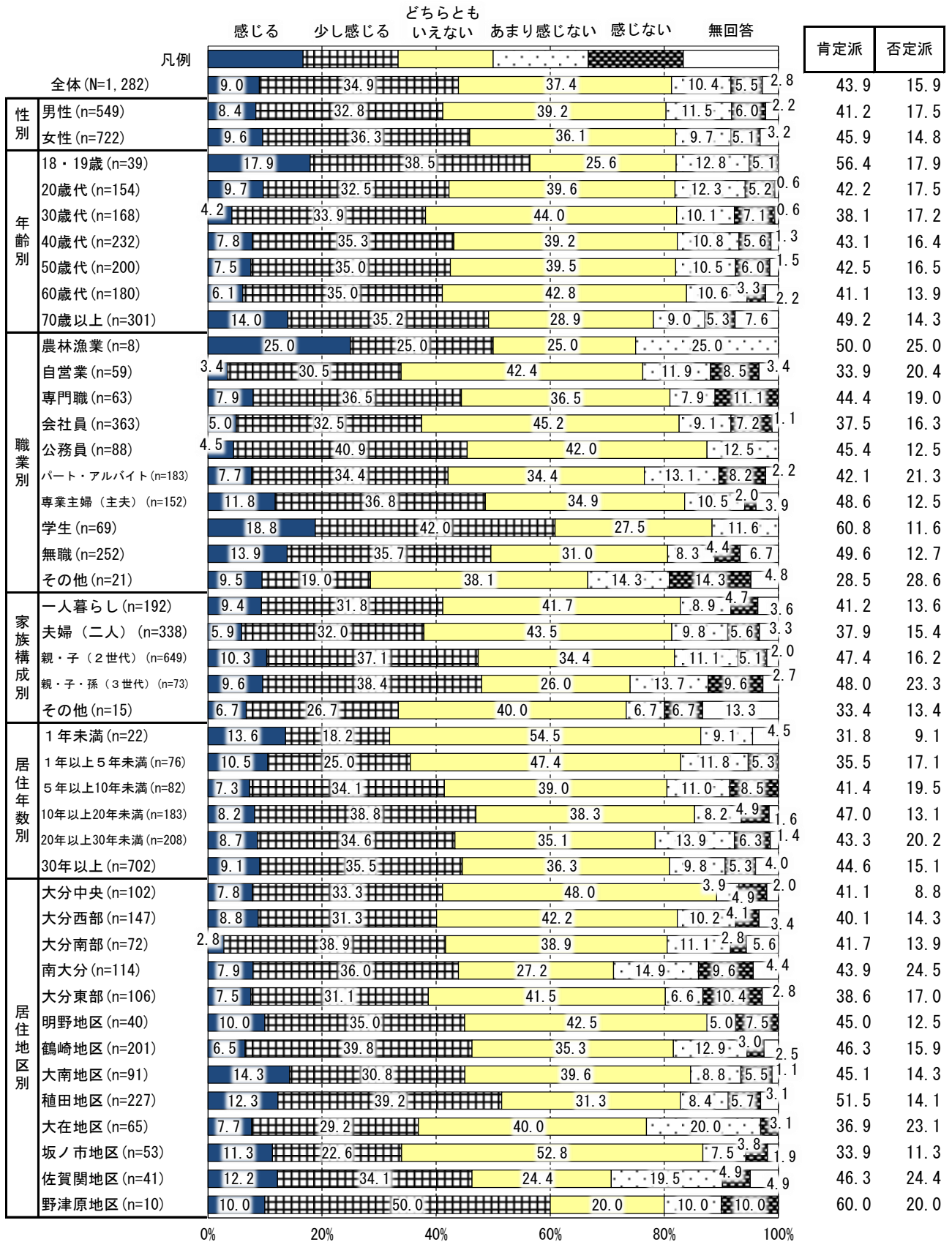
【属性別特徴】

●年齢別でみると、「肯定率」、「否定率」は「18・19 歳」が最も高くなっています。

地域社会の中で子どもたちが健全に育成されていると感じるか（全体）



地域社会の中で子どもたちが健全に育成されていると感じるか（複数回答）



(13) 地域の歴史や文化資源について

①大分市内の文化施設は機能や施設数などが充実していると思うか

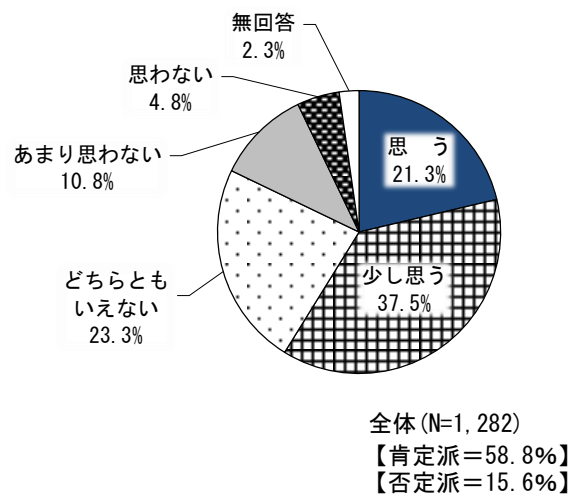
問 5 (13) ア 大分市内の文化施設（公設、民間問わず）は機能や施設数などが充実していると思いますか。

大分市内の文化施設（公設、民間問わず）は機能や施設数などが充実していると思うかについて、「思う」が 21.3%、「少し思う」が 37.5%で肯定率は 58.8%、「あまり思わない」が 10.8%、「思わない」が 4.8%で否定率は 15.6%となっています。

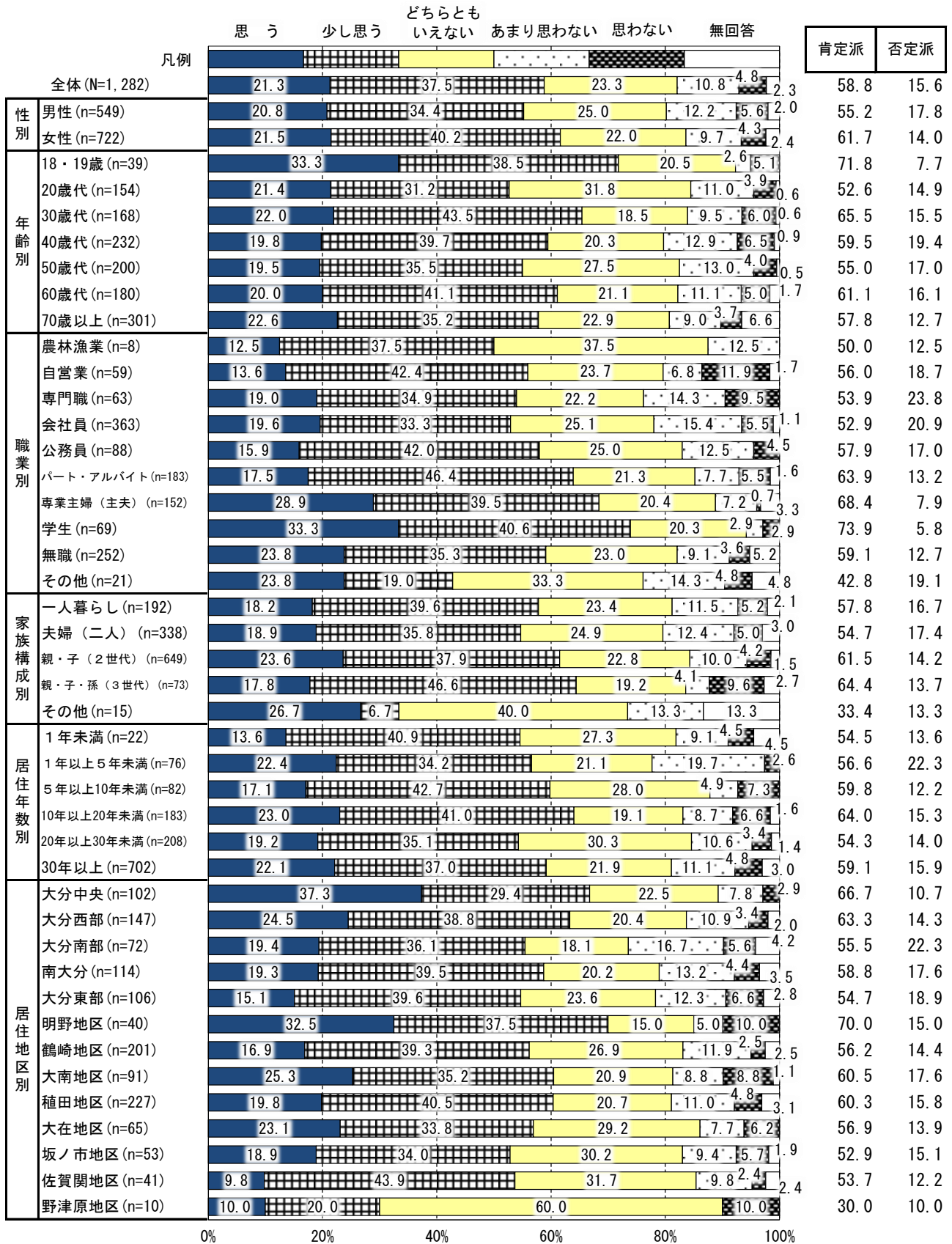
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「40 歳代」が最も高くなっています。

大分市内の文化施設は機能や施設数などが充実していると思うか（全体）



大分市内の文化施設は機能や施設数などが充実していると思うか（属性別）



②地域の歴史や文化遺産に親しむ機会があると感じているか

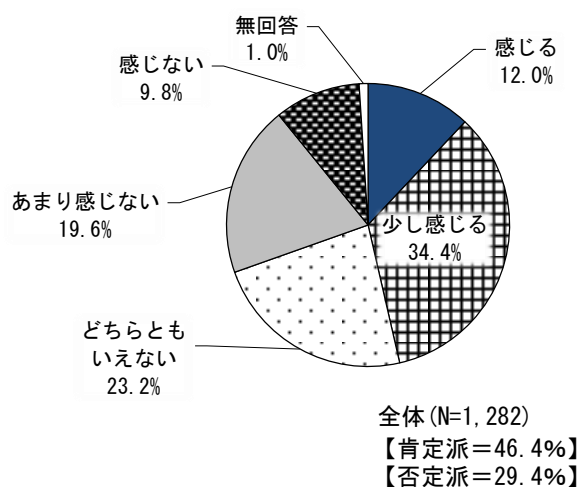
問 5 (13) イ 地域の歴史や文化資源に親しむ機会があると感じていますか。

地域の歴史や文化資源に親しむ機会があると感じていると思うかについて、「感じる」が 12.0%、「少し感じる」が 34.4%で肯定率は 46.4%、「あまり感じない」が 19.6%、「感じない」が 9.8%で否定率は 29.4%となっています。

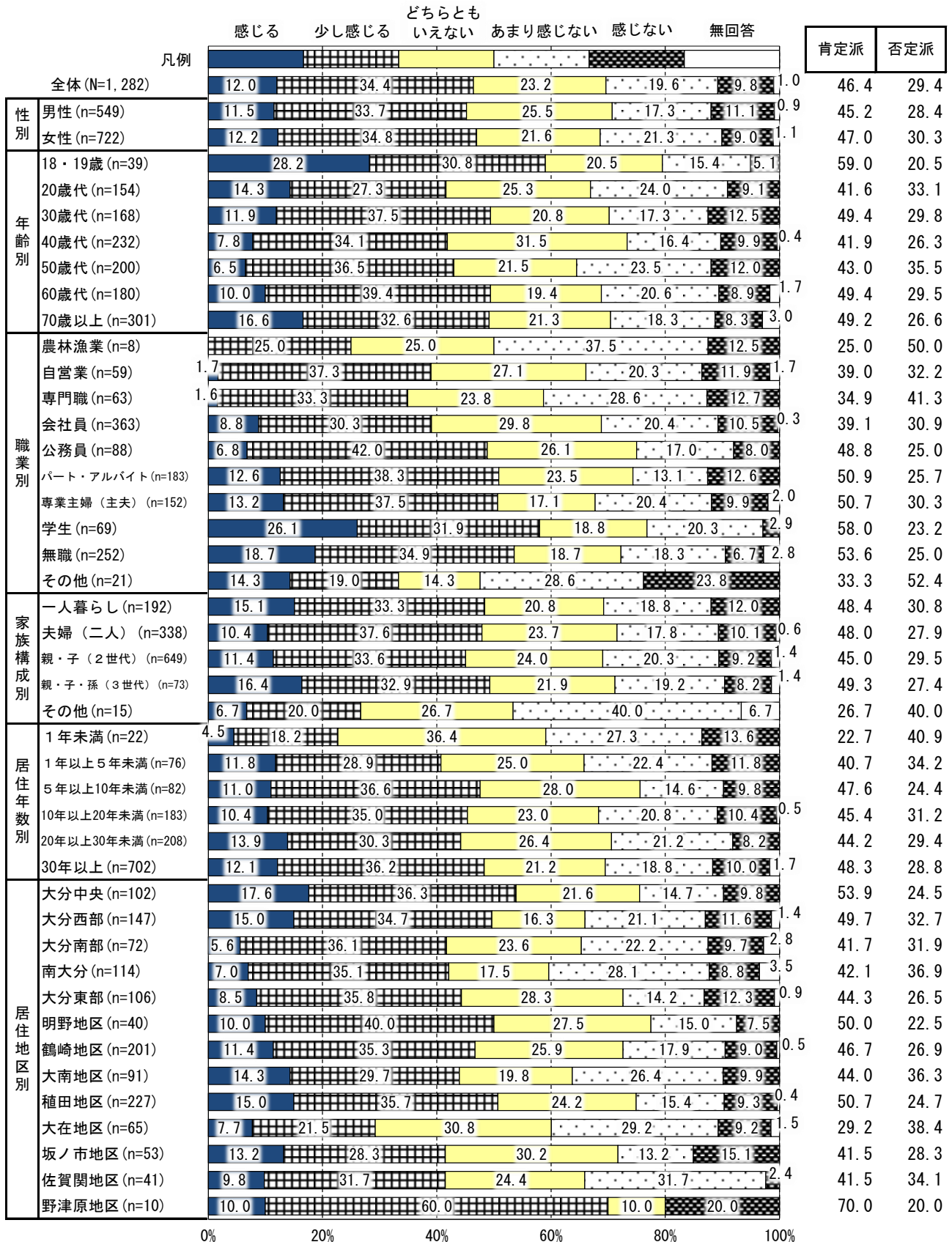
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「50 歳代」が最も高くなっています。

地域の歴史や文化遺産に親しむ機会があると感じているか（全体）



地域の歴史や文化遺産に親しむ機会があると感じているか（属性別）



③大分市は文化・芸術が盛んなまちだと思うか

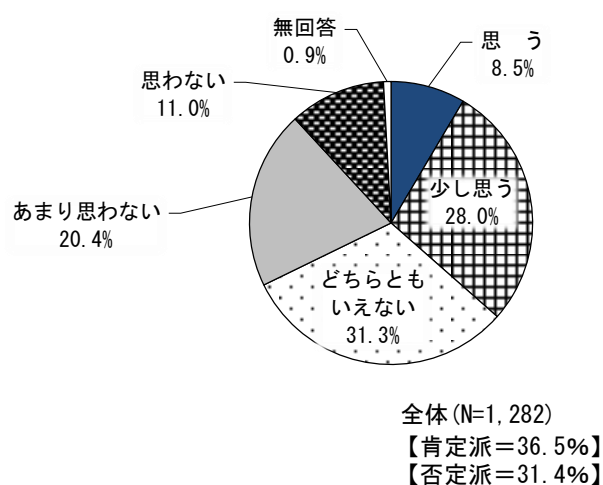
問 5 (13) ウ 大分市は文化・芸術が盛んなまちだと思いますか。

大分市は文化・芸術が盛んなまちだと思うかについて、「思う」が 8.5%、「少し思う」が 28.0%で肯定率は 36.5%、「あまり思わない」が 20.4%、「思わない」が 11.0%で否定率は 31.4%となっています。

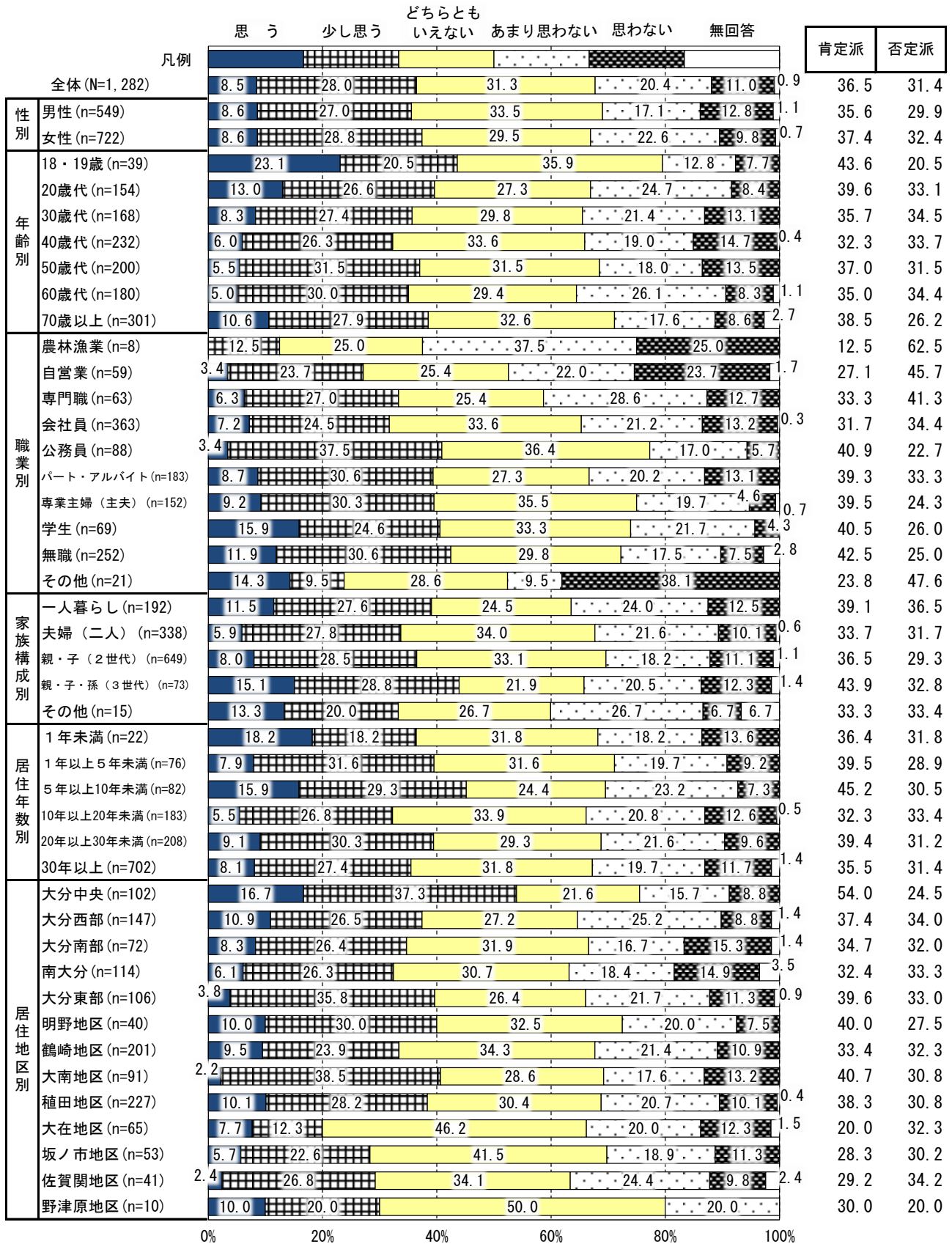
【属性別特徴】

- 年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「30 歳代」が最も高くなっています。

大分市は文化・芸術が盛んなまちだと思うか（全体）



大分市は文化・芸術が盛んなまちだと思うか（属性別）



(14) 大分市は若者が活躍しやすいまちかについて

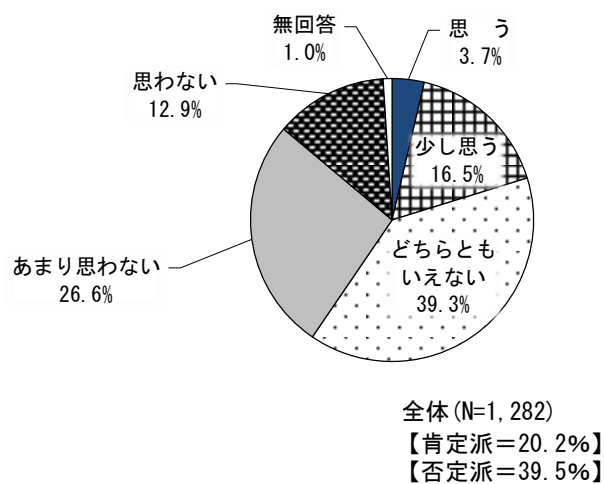
問 5 (14) 大分市は若者が活躍しやすいまちだと思いますか。

大分市は若者が活躍しやすいまちだと思うかについて、「思う」が 3.7%、「少し思う」が 16.5%で肯定率は 20.2%、「あまり思わない」が 26.6%、「思わない」が 12.9%で否定率は 39.5%となっています。

【属性別特徴】

●年齢別でみると、「肯定率」は「18・19 歳」が最も高く、「否定率」は「30 歳代」が最も高くなっています。

大分市は若者が活躍しやすいまちだと思うか（全体）



大分市は若者が活躍しやすいまちだと思うか（属性別）

